

Iwami Art Museum

平成29
[2017]
年度

年報

島根県立石見美術館

Annual Report April 2017- March 2018

目次 Contents

活動方針・活動内容	1
展覧会一覧	2
企画展	3
特別展	12
コレクション展	19
その他の展覧会	33
ミュージア	34
教育普及活動	38
ボランティア	39
連携事業	40
所蔵作品一覧	41
新収蔵作品一覧	56
所蔵作品貸出実績	57
入館者数一覧・ミュージアムパスポート会員数一覧	58
収支概要	59
鳥根県芸術文化センター条例	60
鳥根県立石見美術館管理規則	65
施設概要	68
運営組織体制	71
利用案内	72

島根県立石見美術館と島根県芸術文化センター

島根県芸術文化センターは、「島根県立石見美術館」と「島根県立いわみ芸術劇場」の複合施設です。この施設は、石見地域の芸術文化拠点として、美術や音楽、演劇などの分野が相互に協調し、誘発し合いながら、多様で質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供します。また、石見地域に育まれてきた文化を大切にしながら、新しい芸術文化の創造をめざします。

活動方針

- 1：芸術を身近に感じる仕組みづくり
- 2：芸術文化を通じたネットワークの支援・育成
- 3：非日常空間の提供
- 4：世界に目を向けた情報発信

島根県立石見美術館

- 1：幅広い視野で多彩な企画展を開催します。また、テーマ性をもった質の高い常設展示を行います。
- 2：地域や分野、年代にとらわれず、優れた国内外の作品を収集します。
- 3：美術作品の収集、および展示、保存、また教育普及に関する調査研究を行います。
- 4：美術に関する理解を深めるための講演会やワークショップなどの教育普及活動を行います。

島根県立いわみ芸術劇場

- 1：芸術文化を鑑賞する場として、また創造する場としての活動を行います。
- 2：優れた芸術文化に接することができるよう充実した自主事業を行います。
- 3：舞台芸術に関する研修機会を提供します。

展覧会一覧

	展示室	展覧会名	会期
企画展	展示室D	キャプテン・クック探検航海と『バンクス花譜集』展	平成29年 4月22日～6月26日
		没後70年 北野恒富展 妖艶、秀麗、はんなり—美人画の革新	平成29年 8月5日～9月18日
		石見の戦国武将 戦乱と交易の中世	平成29年 9月30日～11月13日
		エドワード・ゴリーの優雅な秘密	平成29年12月2日～ 平成30年2月5日
特別展	展示室A	森村泰昌「まね美」の世界／恒富・考と女優シリーズ	平成29年 8月3日～9月18日
	展示室A	弓浜絋	平成29年 9月23日～10月30日
	展示室B・C	COSMIC WONDER 充溢する光	平成29年11月11日～ 平成30年1月8日
	展示室C	没後20年 喜多村知の風景	平成30年 1月12日～3月12日
コレクション展	展示室A	花を描く、草を描く	平成29年 4月5日～5月15日
		ふしぎな人々	平成29年 5月17日～6月19日
		森鷗外の美術探訪	平成29年 6月21日～7月31日
		雪舟風—雲谷派を中心に	平成29年 11月1日～12月11日
		あなたはどよう見る?—よく見て話そう美術について	平成29年12月13日～ 平成30年2月12日
		理想郷を描く	平成30年 2月16日～4月2日
	展示室B	画家たちの冒険航海	平成29年 4月12日～5月29日
		粹—石見根付を愉しむ	平成29年 5月31日～8月7日
		東京の美人画	平成29年 8月9日～9月25日
		シャネルとヴィオネ	平成29年 9月27日～11月6日
		モノクロームの世界	平成29年11月10日～ 平成30年2月25日
		森英恵	平成30年 2月28日～5月7日
	展示室C	ロシア・アヴァンギャルド	平成29年 4月5日～5月15日
		草間彌生 ネットとドット	平成29年 5月17日～7月24日
		'20—'30s パリとウィーンのファッション	平成29年 7月26日～9月4日
シンプルという概念		平成29年 9月6日～11月6日	
おしゃれを描く—ファッションプレートにみる女性の装い		平成30年 3月16日～4月23日	
		第50回島根県総合美術展(県展)移動展	平成30年 2月15日～2月18日
		第36回益田市美術展	平成30年 2月22日～2月25日
		全島根小中学校図画作品展 益田展	平成30年 3月3日～3月5日

企画展 キャプテン・クック探検航海と『バンクス花譜集』展



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：キャプテン・クック探検航海と『バンクス花譜集』展

会 期：平成29年4月22日(土)～6月26日(月)

休 館 日：毎週火曜日(ただし5月2日は開館)

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

* ()内は20名以上の団体料金

*小中高生の学校利用は入場無料。

*障害者手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、日本海テレビ、中国新聞社

後 援：オーストラリア大使館、ニュージーランド大使館、ブリティッシュ・カウンシル、
芸術文化とふれあう協議会

協 力：オーストラリア国立植物園、オーストラリア国立海事博物館、ロンドン自然史博物館、
国立民族学博物館、カンタス航空、ヤマトロジスティクス株式会社

協 賛：English Tea Shop

企画協力：Bunkamuraザ・ミュージアム

内 容

キャプテン・クックの異名で知られる海洋探検家、ジェームズ・クック(1728-1779)の第1回太平洋航海に同行し、植物の採集を行ったジョセフ・バンクス(1743-1820)の、植物学的研究成果が収められた銅版画集『バンクス花譜集』を紹介する展覧会。厳選された120点の銅版画と、描かれた植物が採取されたオーストラリアやニュージーランドなど、太平洋地域の民俗資料、そして航海図や船の模型などクックの関連資料を併せて展示した。未知なる植物を追い求めたバンクスのプラント・ハンティングへの情熱や、冒険旅行に同行して植物の姿を描き留めた画家パーキンソン(1745頃-1771)の活躍など、クックの探検航海の知られざる一面を紹介する機会ともなった。

新聞、雑誌掲載

『美術の窓』2月号2月20日 展覧会紹介記事

中国新聞4月20日 展覧会紹介記事

山陰中央新報4月22日 開幕記事

中国新聞4月22日 開幕記事

中国新聞4月28日 鑑賞ガイド、関連イベント紹介記事

山陰中央新報5月5日 グラントワ・マルシェ取材記事

中国新聞5月4日 作品紹介 「神像・ティキ」

中国新聞5月9日 作品紹介 「バンクシア・セルラータ」(オーストラリア)

読売新聞5月9日 展覧会紹介記事

中国新聞5月11日 作品紹介 「クリアントゥス・プニケウス」(ニュージーランド)

毎日新聞5月12日 展覧会紹介記事

中国新聞5月12日 作品紹介 「エンデヴァー号(レプリカ)」

中国新聞5月13日 作品紹介 「クレロデンドルム・パニクラートゥム」(ジャワ)

中国新聞5月26日 展覧会紹介記事

山陰中央新報5月26日 ミュージア紹介記事「コラボ企画で相乗効果」

朝日新聞5月28日 展覧会紹介記事

中国新聞5月28日 関連イベント告知記事

いわみりびえ～る5月28日 展覧会紹介記事

中国新聞5月29日 関連イベント紹介記事

山陰中央新報6月2日 展覧会紹介記事

印 刷 物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4 2種

子どものための地図型鑑賞ガイド：B3地図折り

先行告知ツール：しおり

(デザイン:すべて氏デザイン)



会場



マルシェ



講演会



ドレスコードでプレゼント

関連事業

Museum×Theater：ミュージア vol.1

ロビーコンサート 「音楽でめぐる探検航海」

第1回 瞑想と躍動の音楽 ディジュリドゥ

日時：4月30日(日)

出演：松谷 将之(ディジュリドゥ)

第2回 星の音楽 ピアノ

日時：5月21日(日)

出演：志城 慶香(ピアノ)

第3回 旅の音楽 イギリス古楽器

日時：6月10日(土)

出演：中山 ゆき子(バロックヴァイオリン)、野田 祐子(バロックチェロ)、小林 紘子(チェンバロ)

第4回 祈りと祭りの音楽 ガムラン

日時：6月18日(日)

出演：インドネシア伝統芸能集団 HANA★JOSS(ガムラン)

各日14:00～(約45分)

会場：美術館ロビー

※詳細は「ミュージア」(34ページ)に記載

キャプテン・クックの旅するマルシェ

キャプテン・クックの航路をたどり、ニュージーランドやインドネシアなどの料理屋雑貨の販売、トークイベントなどを行った。

日時：5月3日(水・祝)10:30～15:00

会場：大ホールホワイエ・中庭広場

参加者：3,921名

スペシャルトーク

ニュージーランド出身で元島根県国際交流員、現在は隠岐郡・西ノ島観光協会で職員をしているニコラ・ジョーンズさんを招き、ニュージーランドの文化や自然を紹介いただいた。

出演：ニコラ・ジョーンズ(西ノ島観光協会)

日時：5月3日(水・祝)12:30～(約40分)

会場：美術館ロビー

聴講者：120名

講演会「ポリネシアの海と宇宙 —ポリネシア人のコスモロジーとスターナビゲーション—

バンクスが訪ねた当時太平洋地域に住まう人々が実践していた航海術、スターナビゲーションや彼らの暮らし、文化、宇宙観についてお話いただいた。

講師：後藤 明(南山大学人文学教授・人類学研究所所長)

日時：5月14日(日)14:00～15:30

会場：講義室

聴講者：22名

グラントワ tea ガーデン「遥々茶」

旅の始まり、一日の始まりをイメージし、イングリッシュ・ブレックファスト(紅茶)をミルクティーで提供した。

日時：6月3日(土)11:00～

会場：美術館ロビー

参加者：69名

ギャラリートーク

講師：当館学芸員

日時：4月22日(土)、5月3日(水・祝)、13日(土)、6月4日(日)、24日(土)
いずれも14:00～

会場：展示室D

こどもWEEK!

下記期間小中学生の観覧を無料とした。

期間：4月29日(土)～5月11日(木)

無料観覧者計：105名

ドレスコードでプレゼント!

『バンクス花譜集』にちなみ、はなの日(8と7がつく日)に、花やペイズリーなどの植物柄を着用し来場くださった方にプレゼントとしてオーガニック紅茶をプレゼントした。English Tea Shopに協賛いただき実現した。

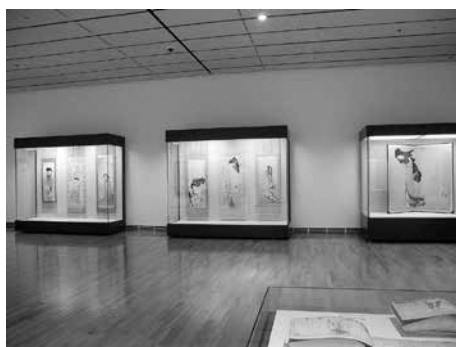
実施日：会期中の7日、8日、17日、18日、27日、28日

配布数：581個

企画展 没後70年 北野恒富 妖艶、秀麗、はんなり—美人画の革新



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 没後70年 北野恒富 妖艶、秀麗、はんなり—美人画の革新

会 期：平成29年8月5日(土)～9月18日(月)

休 館 日：毎週火曜日(ただし8月15日は開館)

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円

* ()内は20名以上の団体料金

* 障害者手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、BSS山陰放送、産経新聞社、中国新聞社

後 援：芸術文化とふれあう協議会

特別協力：大阪新美術館建設準備室、アートシステム

内 容

明治時代から昭和戦前・戦中期にかけ、個性的な女性像で注目を集めた大阪の日本画家、北野恒富の没後70年を記念した回顧展。橋爪節也教授(大阪大学大学院文学研究科)の監修、あべのハルカス美術館、千葉市美術館との共同企画。初期の写実的な作風から大正時代の妖艶な女性像、晩年の清澄な美人画までの日本画に加え、ポスターや挿絵の仕事までを紹介した。あわせて、恒富が育てた大阪の日本画家たちの作品も展示した。これまで島根では紹介されることの少なかった近代大阪画壇の作品が一堂に会するまたとない機会となった。また、島根県立美術館との初めてのタイアップ事業として「しまび× グラントワ 日本画をたのしむ夏」を開催。学芸員の交換講座や、スタンプラリーを行った。

新聞、雑誌掲載

『美術の窓』2月号2月20日 北川博子「近代大阪画壇の巨匠の生涯が今よみがえる!」

産経新聞5月31日 事業特集

読売新聞7月2日 井上 晋治「北野恒富 没後70年回顧展」

産経新聞8月5日 内覧会取材記事

山陰中央新報8月5日 内覧会取材記事

産経新聞8月6日 開幕記事

中国新聞8月9日～14日 川西 由里 作品紹介

山陰中央新報8月10日 川西 由里「没後70年 北野恒富展 女性の姿 表現に幅広さ」

読売新聞8月29日 展覧会紹介記事

中国新聞セレクト8月30日 若槻 真治「北野恒富と森村泰昌」

朝日新聞8月31日 展覧会紹介記事

中国新聞8月22日 ミュージア取材記事

産経新聞8月22日 ミュージア取材記事

中国新聞9月1日 事業ガイド

産経新聞9月2日 小林 宏之「ひと」 「石見美術館学芸員 川西由里さん」

産経新聞9月2日～6日 川西 由里 作品紹介

印 刷 物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4変形

子供のための鑑賞ガイド

(デザイン:すべて野村デザイン制作室)



お座敷あそび体験



講演会



ギャラリートーク

関連事業

しまび×グラントワ 日本画をたのしむ夏

■プレゼント企画「ふたつ見て、もらおう。」

島根県立美術館の「小茂田青樹展」とのタイアップ企画。各会場入口でもらえるスタンプを両方集めた方にグッズをプレゼントした。

参加者：295名(松江=61名、益田=234名)

■連続トーク「あなたもきっと、日本画好きになる!」

I 小茂田青樹の魅力

講師：田野 葉月(島根県立美術館主任学芸員)

日時：8月6日(日)14:00～15:00

会場：講義室

参加者：11名

II 北野恒富の魅力

講師：川西 由里(当館専門学芸員)

期日：8月13日(日)14:00～15:00

会場：講義室

参加者：15名

Museum×Theater：ミュージア vol.2

お座敷あそび体験「花街ってどんなところ?」

出演：谷川 恵(大阪南地お茶屋たに川若主人)、多佳(唄三味線 大阪南地芸妓)

日時：8月19日(土)17:00～18:45

※詳細は「ミュージア」(35ページ)に記載

森村泰昌特別講演会「森村泰昌の「まね美」術?恒富って誰?女優って何?」

講師：森村 泰昌(美術家)

日時：9月3日(日)17:00～18:30

会場：多目的ギャラリー

参加者：45名

特別展「森村泰昌「まね美」の世界／恒富・考と女優シリーズ」

日時：8月3日(木)～9月18日(月・祝)

※詳細は「特別展」(12ページ)に記載

グラントワ夏まつり「麦酒祭(ビールまつり)」

日時：8月11日(金・祝)

会場：グラントワ中庭広場

参加者：1,450名

グラントワ tea ガーデン「はんなり茶」

日時：9月10日(日)11:00～

会場：美術館ロビー

参加者：100人

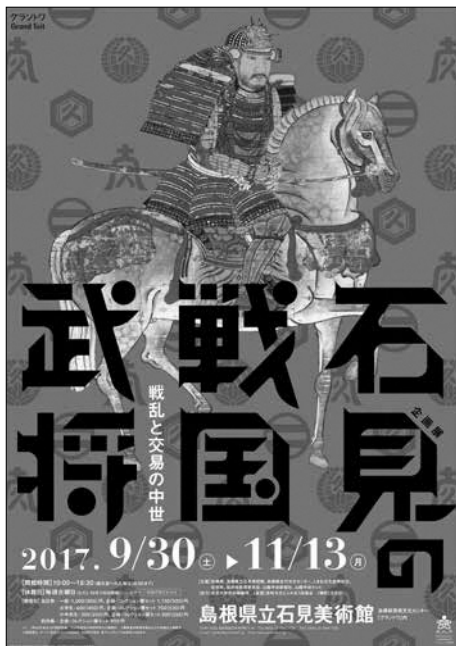
ギャラリートーク「彼女たちの事情」

講師：川西 由里(当館学芸員)

日時：8月5日(土)、12日(土)、9月10日(日)、18日(月・祝) いずれも14:00～

会場：展示室D

企画展 石見の戦国武将 戦乱と交易の中世



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 石見の戦国武将 戦乱と交易の中世

会 期：平成29年9月30日(土)～11月13日(月)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
 大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
 小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

* ()内は20名以上の団体料金

*小中高生の学校利用は入場無料

*障害者手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県、島根県立石見美術館、島根県古代文化センター、しまね文化振興財団、
 益田市、益田市教育委員会、山陰中央新報社、TSK山陰中央テレビ

協 力：東京大学史料編纂所

後 援：芸術文化とふれあう協議会

補 助：文化庁

内 容

中世の石見国に並び立っていた武将たちの歴史と文化を紹介した。武将たちの奮闘の様子を物語る古文書や、彼らの高い美意識をうかがわせる美術工芸品など国宝1点、重要文化財5点を含む約100点を展示した。島根県古代文化センターや益田市と連携することで、より広く展覧会を周知することができた。特に「益田氏の武将カード」を作成し、それらを集めながら益田氏に関わる6つの文化施設(益田市歴史民族資料館・益田市立雪舟の郷記念館・萬福寺・医光寺・萩市須佐歴史民族資料館・島根県立石見美術館)をまわる取り組みを実施したことで、益田市内の施設の入場者数は例年の倍以上となった。また関連イベントも講演会だけではなく、本展のための新作パフォーマンスを料理とともに味わう企画や、体験型のイベントを盛り込むことで、劇場と美術館との複合施設ならではの事業を行うことができた。

新聞、雑誌掲載

『美術の窓』2月号2月20日 展覧会紹介記事

山陰中央新報6月25日 講演会(中司 健一)取材記事

中国新聞7月15日 展覧会告知記事

山陰中央新報7月15日 展覧会告知記事

山陰中央新報8月11日 「ミュージア vol.4 よみがえる戦国の宴」準備取材記事

中国新聞8月31日 益田市長と石見美術館長から知事へのPR取材記事

読売新聞9月10日 展覧会告知記事

山陰中央新報9月15日 西田 友広 「中世初期の益田」寄稿

山陰中央新報9月22日 西田 友広 「材木の流通」寄稿

山陰中央新報9月21日 「益田氏の武将カード」紹介記事

中国新聞9月23日 「益田氏の武将カード」紹介記事

山陰中央新報9月29日 展覧会告知記事

中国新聞9月30日 展覧会告知記事

山陰中央新報9月30日 目次 謙一「石見の戦国武将―戦乱と交易の中世―」寄稿

山陰中央新報9月30日 展覧会告知記事

中国新聞10月2日 展覧会告知記事

山陰中央新報10月3日 中司 健一 作品紹介「中務大輔家久公御上京日記」

山陰中央新報10月4日 目次 謙一 作品紹介「福屋国兼契約状」

山陰中央新報10月6日 目次 謙一 作品紹介「陶製経筒五口」

山陰中央新報10月5日 展覧会告知記事

山陰中央新報10月5日 角野 広海 作品紹介「益田元祥像」

山陰中央新報10月7日 目次 謙一 作品紹介「刀 額銘来国光切付銘理忠磨上之」

中国新聞10月14日 「紙上再録 高橋 一清 あの人の言葉」

『広報ますだ』10月号 展覧会告知記事(表紙)

中国新聞10月16日 展覧会告知記事

中国新聞10月17日 「ミュージア vol.4 よみがえる戦国の宴」取材記事



模擬授業



茶の湯をたしなむ



能楽をたしなむ

山陰中央新報10月17日 「中世益田を題材とした模擬授業」取材記事
 中国新聞10月20日 中司 健一 展覧会紹介文(寄稿)
 中国新聞10月21日 「ミュージア vol.4 よみがえる戦国の宴」取材記事
 山陰中央新報10月21日 展覧会告知記事
 中国新聞10月25日 展覧会告知記事
 朝日新聞10月27日 角野 広海 石見美術館コレクション紹介文「益田元祥像」
 山陰中央新報10月30日 中司 健一取材記事
 山陰中央新報10月31日 石見の戦国武将の家紋グッズ取材記事
 山陰中央新報11月1日 展覧会告知記事
 朝日新聞11月4日 展覧会告知記事
 山陰中央新報11月4日 入館者数1万人達成記事
 中国新聞11月4日 入館者数1万人達成記事
 中国新聞11月5日 「茶の湯をたしなむ」取材記事
 山陰中央新報11月5日 特別講演会「益田家文書研究の可能性」取材記事
 山陰中央新報11月8日 「茶の湯をたしなむ」取材記事
 山陰中央新報11月10日 展覧会告知記事
 中国新聞11月11日 「紙上再録 高橋一清 あの人あの言葉」
 山陰中央新報11月17日 阿部 志朗「元和年間石見国絵図の価値～連載「中世の石見」
 を読んで」寄稿

印刷物

展覧会ポスター：B2
 展覧会チラシ：A3
 子どものための鑑賞ガイド
 先行告知ツール
 展覧会図録
 益田氏の武将カード
 (デザイン:すべて野村デザイン制作室)

関連事業

開催記念講演会「石見国衆連合と大名たちの室町戦国時代史」

講 師：岸田 裕之(広島大学名誉教授)
 日 時：10月1日(日)10:00～12:00
 会 場：グラントワ小ホール
 参加者：290名

特別講演会「益田家文書研究の可能性」

講 師：久留島 典子(東京大学副学長・東京大学史料編纂所教授)
 日 時：11月4日(土)10:00～11:45
 会 場：グラントワ小ホール
 参加者：151名

中世益田を題材とした模擬授業

講 師：山本 悦生(六日市中学校教諭)
 日 時：10月15日(日)13:30～15:00
 会 場：グラントワ講義室
 参加者：40名

石見の歴史講座

本展のもとになる研究事業に携わった研究者による、石見の歴史に関するリレー講座。

第1回 「石見国の周布氏とその歴史」

講 師：目次 謙一(島根県古代文化センター)
 日 時：10月22日(日)13:30～15:00
 会 場：浜田市周布公民館研修室 ⇒※選挙のため会場変更(長浜公民館)
 参加者：30名

第2回 「中世石見国三隅湊の景観と大賀氏」 参加者50名

講 師：中司 健一(益田市歴史文化研究センター)
 日 時：10月28日(土)13:30～15:00

会 場：浜田市三保公民館

参加者：50名

第3回 「2つの講座(各40分)と展示解説」

講座①「益田の湊と鉄づくり」

講 師：東山 信治(島根県古代文化センター)

講座②「戦国時代の日本海を行き交った人々～みたと浜田を中心に～」

講 師：倉恒 康一(島根県古代文化センター)

日 時：11月11日(土)14:00～16:00

参加者：40名

Museum×Theater：ミュージアvol.3

「よみがえる戦国の宴」

第1部 「戦国益田の祝い膳」を味わう

日 時：10月14日(土)17:30開演

第2部 芸能公演「海山のあいだ～石見益田市氏の祈り～」

日 時：10月14日(土)18:30開演

会 場：グラントワ大ホールホワイエ

出 演：古事変奏プロジェクトfeat.志人

※詳細は「ミュージア(36ページ)」に記載

戦国武将の‘たしなみ’体験

平成29年度文化庁地域の核となる美術館・博物館支援事業として実施。

①茶の湯をたしなむ

戦国武将、上田宗箇を祖とする武家茶の流派、上田宗箇流の茶道を体験した。

講 師：望月 宗悛(茶道上田宗箇流師範代)

日 時：11月4日(土)14:00～15:30

会 場：グラントワスタジオ1

参加者：40名

②能楽をたしなむ

戦国武将たちが愛し、時には自らも演じた能楽の動きや発声を体験した。

講 師：安田 登(下掛宝生流ワキ方)、槻宅 聡(森田流笛方)

日 時：11月5日(日)14:00～15:30

会 場：グラントワスタジオ1

参加者：20名

ギャラリートーク

日 時：9月30日(土)、10月8日(日)、21日(土)、11月3日(金・祝)、12日(日)

いずれも14:00～

会 場：展示室D

グラントワ tea ガーデン^{ものふ}「武士茶」

日 時：10月28日(土)11:00～

会 場：美術館ロビー

参加者：100名

グラントワ秋まつり「神楽酒」

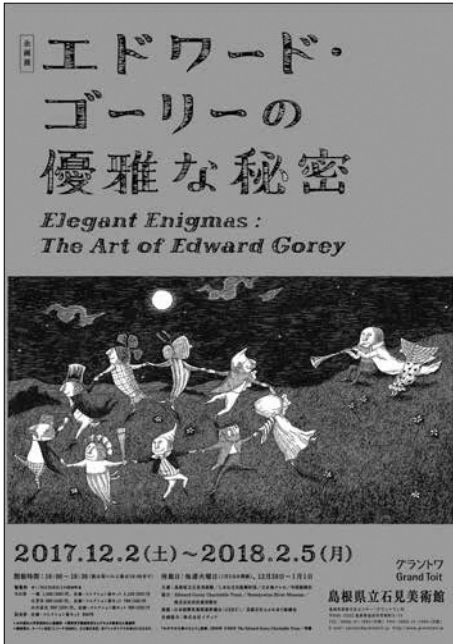
神楽酒実行委員会が主催となり、約1年ぶり5回目の開催となった。前日の10月28日(土)には、お燗酒セミナーを開催。また、美術館と連携し、美術館入館者先着300名と対象にお酒グッズが当たる抽選会を実施した。

日 時：10月29日(日)10:30～15:30

会 場：グラントワ中庭広場

参加者：3,000名

企画展 エドワード・ゴリーの優雅な秘密



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 エドワード・ゴリーの優雅な秘密

会 期：平成29年12月2日(土)～30年2月5日(月)

休 館 日：毎週火曜日（1月2日は開館）、12月28日～1月1日

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中学生／200円

*（ ）内は20名以上の団体料金

*小中高生の学校利用は入場無料

*障害者手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、日本海テレビ、中国新聞社

協 力：Edward Gorey Charitable Trust, Brandywine River Museum, 株式会社河出書房新社

後 援：日本国際児童図書評議会(JBBY)、芸術文化とふれあう協議会

企画協力：株式会社イデッフ

内 容

アメリカの絵本作家として知られるエドワード・ゴリーの絵本原画展。繊細緻密なイラストと、ユーモアと毒を含んだストーリーを組み合わせた独特の世界観から、世界中に熱心なファンがいることで知られている。日本初の大規模な個展となる本展では、貴重な絵本原画とともに書籍やポスターなど約350点を展示し、その幅広い仕事を紹介した。本展にあわせ、ゴリーの著作の翻訳者柴田元幸氏のレクチャーや、劇場と協働し、バレエ、音楽、朗読を組み合わせた新作パフォーマンスの上演などの関連プログラムを実施した。

新聞、雑誌掲載

山陰中央新報12月1日 パフォーマンス 紹介記事「バレエと音楽・朗読 融合 絵本作家の世界を表現」

山陰中央新報12月2日 内覧会取材記事「独特の世界いざなう 米の絵本作家 ゴーリー企画展」

中国新聞12月2日 内覧会取材記事「ゴーリー 魅惑の絵本世界」

中国新聞12月5日 作品紹介 南目 美輝《中国風オペリスク 四つ目のアルファベット》

中国新聞12月6日 作品紹介 南目 美輝《うろんな客》

中国新聞12月7日 作品紹介 南目 美輝《不幸な子供》

中国新聞12月8日 作品紹介 南目 美輝《揮ける鼻のどんぐ》

中国新聞12月9日 作品紹介 南目 美輝《華々しき鼻血》

読売新聞12月9日 展覧会紹介記事「ゴーリー 怪しい絵本原画」

中国新聞12月10日 パフォーマンス 取材記事「ゴーリーの世界 多彩に」

ウィークリープレスネット 12月21日展覧会紹介記事

中国新聞12月22日 展覧会紹介記事

印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4

子どものための鑑賞ガイド

(デザイン:すべて株式会社10)



記念講演会

関連事業

記念講演会「エドワード・ゴッリーを見る / 読む / 訳す楽しみ」

エドワード・ゴッリーの紹介とともに、その作品の魅力について、戦後アメリカの同時代の絵本等とも比較しつつお話いただいた。邦訳されていないゴッリーの絵本の朗読もあった。

講師：柴田 元幸(アメリカ文学研究者、翻訳家)

日時：12月3日(日)14:00～15:30

会場：多目的ギャラリー

参加者：76名

Museum×Theater：ミュージシアvol.4

「エドワード・ゴッリーの優雅ないたずら」

出演：田中 美礼(バレエ)、奥田 治義(ベース)、岸田 雅彦(ピアノ)、原田 雅史(朗読)

日時：12月9日(土)15:00～16:00

会場：グラントワ大ホール ステージ

参加者：151名

※詳細は「ミュージシア(37ページ)」に記載



スペシャルギャラリートーク

スペシャルギャラリートーク

ゴッリー作品のコレクターとして知られる濱中氏に、コレクターならではの視点から作品の魅力について解説いただいた。

講師：濱中 利信(本展出品者)

日時：12月16日(土)14:00～14:45

会場：展示室D

参加者：53名



WS絵封筒

ワークショップ「手紙を贈る。封筒で遊ぶ。」(絵封筒教室)

ゴッリーが母に宛てて絵封筒を送っていたことになみ、実際に郵送できる絵封筒を製作した。

講師：井村 恵美(郵政博物館 主席学芸員)

日時：1月13日(土)13:30～15:30

会場：講義室

対象：小学生以上(小学校3年以下は保護者同伴)

参加者：14名

グラントワ tea ガーデンI「福茶」

日時：1月2日(火)11:00～

会場：美術館ロビー

参加者：88名

グラントワ tea ガーデンII「Q.R.Tea」

ゴッリーが晩年愛飲していた紅茶に、ショウガなどのスパイスを加えたお茶を提供した。

タイトル「Q.R.Tea」はゴッリーの著作『Q.R.V.』になむ。

日時：2月3日(土)11:00～

会場：美術館ロビー

参加者：104名

ギャラリートーク

日時：12月2日(土)、1月3日(水)、2月4日(日) いずれも14:00～

会場：展示室D

特別展

展示室A 特別展 森村泰昌「まね美」の世界／恒富・考と女優シリーズ

会 期：平成29年8月3日(木)～9月18日(月・祝)

内 容：企画展「没後70年 北野恒富」の関連プログラム。森村泰昌が北野恒富のポスターを題材とした《北野恒富・考／考(恒富風桃山調アールデコ)》に加え、当館所蔵の森村泰昌《美に至る病 女優になった私》シリーズを展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	北野 恒富	ポスター(複製)：高島屋	オリジナルは	写真印刷	高島屋史料館
2	北野 恒富	ポスター原画：高島屋	昭和4年(1930)	絹本着色	高島屋史料館
3	森村 泰昌	北野恒富・考／考(恒富風アールデコ柄)	平成23年(2011)	和紙にビエゾグラフ	高島屋史料館
4	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ヘップバーンとしての私Ⅲ	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
5	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ヘップバーンとしての私Ⅰ	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
6	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／イワシタ・シマとしての私	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
7	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ガルボとしての私Ⅰ	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
8	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ジェーン・フォンダとしての私Ⅲ	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
9	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ドヌーヴとしての私Ⅲ	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
10	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／リズとしての私Ⅳ	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
11	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／リズとしての私Ⅲ	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
12	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／バルドーとしての私Ⅲ	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
13	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ガルボとしての私Ⅱ	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
14	森村 泰昌	光るセルフポートレート(女優)赤いマリリン	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
15	森村 泰昌	光るセルフポートレート(女優)黒いマリリン	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
16	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／バルドーとしての私Ⅰ	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
17	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／バルドーとしての私Ⅱ	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
18	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ヘップバーンとしての私Ⅱ	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
19	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ジョディー・フォスターとしての私Ⅱ	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
20	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ディートリッヒとしての私Ⅰ	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
21	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ジェーン・フォンダとしての私Ⅰ	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
22	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／フェイ・ダナウェーとしての私Ⅲ	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
23	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ジョディー・フォスターとしての私Ⅰ	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
24	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ディートリッヒとしての私Ⅲ	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
25	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ビビアン・リーとしての私Ⅱ	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館

印刷物

展覧会チラシ：A5版(デザイン:野村デザイン制作室)

関連事業

森村泰昌特別講演会「森村泰昌の「まね美」術?恒富って誰?女優って何?」

日 時：9月3日(日)17:00～18:30

※詳細は「企画展 没後70年 北野恒富」(6ページ)に記載

新聞、雑誌掲載

「新美術新聞」8月1・11日合併号 展覧会紹介

中国新聞8月4日 展覧会紹介記事

山陰中央新報9月8日 展覧会紹介記事



チラシ

展示室A 特別展 弓浜緋

会 期：平成29年9月23日(土・祝)～10月30日(月)

内 容：山陰を代表する織物、弓浜緋を紹介する初めての展覧会。弓浜緋は綿の生産が盛んであった鳥取県米子市の弓ヶ浜周辺にて、江戸中期以降、戦後にかけて制作された藍染めの綿織物で、「宝袋」、「鶴・亀」などの図柄を織り出す「絵緋」が多い点に特徴がある。同地で教員をしていたコレクター、村穂氏のコレクションを一括で拝借し展示した。

出品リスト

*製作者、制作年はすべて不詳

No.	作品名(文様名)	作家名	制作年	技法、材質	所蔵
プロローグ					
1	めでた尽くし(鯉、橘、宝珠、熨斗、寿、梅、竹、松、亀、鶴)(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
2	幾何学(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
3	幾何学(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
4	幾何学(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
5	幾何学(布団地)	不詳	不詳	藍と茶の化学染料にて先染めした綿糸を手で平織	個人蔵
6	幾何学(用途不明)	不詳	不詳	色の濃さを染め分けた藍染めの綿糸を手で平織	個人蔵
7	幾何学(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
8	幾何学(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
9	花唐草(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした綿糸を手で平織、花柄の絵緋や、幾何学、鈍色の綿布等たくさんの端切れにて修復	個人蔵
10	宝袋(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
11	幾何学(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
12	幾何学(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
13	幾何学(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸と、茶綿糸を手で平織	個人蔵
14	幾何学(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
15	宝袋(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
16	幾何学(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
17	幾何学(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
18	幾何学(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
19	幾何学(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
20	幾何学(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
21	幾何学(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
22	幾何学(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
23	幾何学(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
24	蟹牡丹と幾何学(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
25	海の幸づくし(海老、蟹、蛸)(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
26	幾何学(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
27	家紋(丸に橘、丸に) (用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
28	縦緋 琴柱(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
29	琴柱大柄(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
30	幾何学(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
31	矢羽(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
32	矢羽(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
33	幾何学(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
34	横緋 重ね菱(着物地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
35	宝袋(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
36	羅列幾何学(着物地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
37	幾何学(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
38	蝙蝠に小判(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
39	幾何学(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
40	幾何学(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
41	鶴(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
42	幾何学(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
43	市松(着物地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
44	縦横緋 幾何学(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
45	幾何学(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
46	幾何学(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
47	幾何学(着物地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
48	幾何学(着物地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
49	幾何学(着物地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
50	幾何学(着物地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
51	伯州綿 変わり縞に白格子	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
52	絵緋 宝袋と宝珠付扇子(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
53	宝袋(布団地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
54	宝袋(布団地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
55	宝袋(布団地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
56	六星に唐草柄宝袋(布団地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
57	熨斗に宝珠(布団地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
58	宝珠に鳳凰(布団地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
59	宝珠に九十九折市松(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
60	格子縞に海老宝珠(布団地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
61	飾り紐二本の扇面(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵

62		海老に梅文扇面(布団地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
63		梅文扇面(布団地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
64		花菱文扇面(布団地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
65		波に鯉(布団地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
66		鯉(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
67		川に泳ぎ鯉(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
68		水面に鯉(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
69		鯉(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
70		亀(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
71		蓑亀(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
72		鶴亀松(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
73		花鶴(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
74		鶴に幾何学(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
75		三階松に幾何学(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
76		福来雀に幾何学(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
77		蟹牡丹(布団地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
78		福来雀に幾何学竹(布団地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
79		枝葉付牡丹(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
80		松竹(布団地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
81		枝付蟹牡丹(布団地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
82		松竹梅(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
83		竹(着物地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
84		竹に虎(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
85		変り格子に花菱(布団地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
86		五七の桐(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
87		丸に花菱(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
88		丸に桜(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
89		丸に橘(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
90		蔓に四つ花菱(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
91		井桁に上り藤(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
92		変り蝶花に幾何学(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
93		松川菱に花(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
94		変り松川菱に蝶(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
95		根引き水仙に蝶(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
96		楓に岩に蝶(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
97		影麻の葉に花に鼓(着物地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
98		目出度づくし(打ち出の小槌に宝鑰に隠れ蓑)(着物地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
99		目出度づくし(金函に扇子に幾何学)(着物地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
99		浦島太郎(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
100		七夕文(短冊、柄杓、続き松川菱)(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
101		新春初夢文(一富士二鷹三茄子に雨)(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
102		楓に幾何学(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
103		矢と羽(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
104		蜘蛛の巣に蝶(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
105		太鼓に唐獅子(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
106		傘に雀(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
107		うずまきに雨(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
108		閑取(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
109	壁2	幾何学(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
110		幾何学(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした綿糸を手で平織、花柄の絵絣や、幾何学、鈍色の綿布等たくさんの端切れにて修復	個人蔵
111		幾何学(違い角?)(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
112		幾何学(格子交点に花)(布団地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
113		幾何学(重ね格子に久留須)(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
114		幾何学(市松菱に違い角?)(布団地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
115		幾何学(二本格子に市松に変わり格子)(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
116		幾何学(飛び石格子)(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
117		幾何学(格子の角持ちつなぎ)(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
118		幾何学(三柵に角持ち)(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
119	道具	型紙(扇)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
104		綿花の種(白綿、茶綿)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
105		種糸	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
106		種糸台	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
107		残糸つなぎ(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
108		残糸つなぎ(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
109		型紙一式	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
110		図案帖	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
111		白州木綿切本 壺(縞、絣)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
112	幾何絣	幾何学(隅入り平角に三筋格子)(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
113		幾何学(違い角つなぎ)(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
114		幾何学(変り格子)(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
115		幾何学(隅入り平角に久留須、筋繫ぎ)(着物地?)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
116		幾何学(三筋縞にvari井桁)(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
117		幾何学(四筋縞に大小角繫ぎ)(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
118		幾何学(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
119		幾何学(井桁に角持ちの市松散し)(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵

120		幾何学(二筋格子に井桁)(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
121		幾何学(三柙と井桁に角持ちつなぎ)(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
122		幾何学(柙久留須角持ちつなぎ)(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
123		幾何学(二筋格子に隅入り平角角持ち)(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
124		幾何学(大小角持ちで花)(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
125		幾何学(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
126		幾何学(二筋格子に隅入り平角角持ち)(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
127		幾何学(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
128		幾何学(用途不明)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
129		幾何学(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸と、茶綿糸を手で平織	個人蔵
130		麻の葉に寿(男性用着物)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
131		花菱と幾何学に花(女性用着物)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
132		傘に雪(外套(トンビ)をほどいた布地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
133		菊に唐草角持ち(布団地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
134		変り七筋格子(風呂敷)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
135		亀に幾何学(風呂敷)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
136	着物地	白花黒花(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
137		幾何学(久留須に雪)(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
138		幾何学(変り井桁に角持ち)(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
139		幾何学(二筋格子に角持ちと井桁)(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
140		朝顔(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
141		幾何学(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
142		幾何学(縮角持ちの市松)(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
143		梅に雷(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
144		幾何学(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
145		幾何学(沖縄絣風の文様)(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
146		雲に牡丹雪(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
147		井桁に橋と幾何学(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
148		松と角持ちと二筋角(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
149		幾何学(角持ちと筋で花)(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
150		厚輪に花の筋繫ぎ(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
151		幾何学(変り井桁に角持ち)(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
152		竹に雀(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
153		竹?(沖縄絣風の文様)(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
154		菊水(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
155		井桁に雲(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
156		幾何学(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
157		幾何学(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
158		幾何学(変り井桁)(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
159		幾何学(小井桁に雪)(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
160		幾何学(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
161		幾何学(小花)(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
162		幾何学(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
163		幾何学(花)(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵
164		幾何学(梅花に牡丹雪)(着物地)	不詳	不詳	藍で先染めした白綿糸を手で平織	個人蔵

印刷物

展覧会チラシ：12cm角三種(宝袋、幾何学、着物地集合)
 論考冊子：B2、折(デザイン:すべて畠山 尚デザイン制作室)
 南目 美輝「藍について―鳥取における藍の流通および生産の状況を中心に」
 廣田 理紗「弓浜絣について」

関連事業

スペシャル・ギャラリートーク
 日時：平成29年9月23日10:00～ 会場：展示室A
 講師：村穂 久美雄(本展出品者) 参加者：13名

新聞掲載

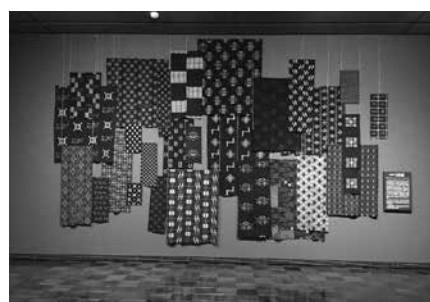
中国新聞9月24日 展覧会紹介記事 読売新聞9月27日 展覧会紹介記事



チラシA



チラシB



会場



論考冊子



チラシC

展示室C 特別展 COSMIC WONDER 充溢する光

会 期：平成29年11月11日(土)～平成30年1月8日(月・祝)

内 容：平成28年度に、石見地域の自然と歴史に取材したパフォーマンス「お水え」を執り行い、当地伝統の素材である石州和紙を用いた新作衣装を発表したコスミックワンダー。1997年より「精神に作用する波動」として衣服や美術品を制作し、書籍を発行するなど多彩でユニークな表現活動を行ってきた。その活動20周年の節目に企画した本展は、初めての回顧展となり、1999年から2009年にかけてパリで発表した作品を、ルックブックやコレクションを記録した写真、映像などの資料と併せて展覧する機会となった。

出品リスト

所蔵は、10-7 インスタレーション中の雑誌『Le Purple Journal No.1』は林央子、そのほかはすべてコスミックワンダー。

No.	コレクション名	作品名	作家名	発表会場、または方法	発表年
1	A Shadow Necessary for Windows			Palais de Tokyo	2002年
-1		カーテンドレス	コスミックワンダー		
-2		イメージブック	撮影：木村友紀		
-3		写真	撮影：木村友紀		
-4		写真	撮影：Philippe Munda		
2	The dress attachable a wall			書籍にて発表	1999年
		壁付きドレス	コスミックワンダー		
3	to sleep			Gallery Anne de Vilepoix	2002年
-1		インスタレーション	コスミックワンダー		
		チェスト	コスミックワンダー		
		ハンガー付きのコート	コスミックワンダー		
		ハンガー付きのシャツ	コスミックワンダー		
		ハンガー付きのジャケット	コスミックワンダー		
		ハンガー付きワンピース	コスミックワンダー		
		ハンガー付きワンピース	コスミックワンダー		
		ハンガー付きネックレス	コスミックワンダー		
-2		ハンガー・手鏡・キャンバスで構成されたバッグ	コスミックワンダー		
-3		写真	撮影：Philippe Munda		
4	Steamer			Pompidou Centre	2000年
-1		Steamer Doll の風船の入った箱	コスミックワンダー		
-2		ショー・インビテーション	コスミックワンダー		
-3		写真	撮影：林央子		
-4		写真(雑誌『DUNE』のために撮影)	撮影：木村友紀		
5	Conversation with Electrical Appliances - Broken Radio, Worn-out TV...			Menagerie de Verre	2001年
-1		壊れたラジオのためのドレス	コスミックワンダー		
		照明器具のためのドレス	コスミックワンダー		
		映らないテレビのためのドレス	コスミックワンダー		
-2		写真	撮影：木村友紀		
-3		ドレスのインナー・ウェア	コスミックワンダー		
-4		ルックブック	コスミックワンダー		
-5		イメージカード	コスミックワンダー ／写真撮影：木村友紀		
6	What invisible view should be ~ from some pictures			Cosmic Gallery	2003年
-1		襟付きの女性用セーターの断片服	コスミックワンダー		
		襟付きの男性用セーターの断片服	コスミックワンダー		
		フェイクファーの断片ジャケット	コスミックワンダー		
		チェックの断片シャツ	コスミックワンダー		
		カットソーとカーディガンの断片	コスミックワンダー		
-2		映像	撮影・編集：木村友紀		
-3		襟の外れた断片服、Tシャツとジャケット	コスミックワンダー		
-4		ファウンドフォトを配列したコンセプトポスター (発表当時コレクション会場にて配布)	コスミックワンダー		
-5		ボラロイド写真	撮影：前田征紀		
-6		写真	撮影：木村友紀		
7	COSMIC WONDER FREE PRESS			COSMIC WONDER FREE PRESS (Web版)にて公開	2017年
-1		「静寂の未知炉、新たに光を灯すよう」	著：林央子、前田征紀		
8	Light Garden			Arnhem Eusebius Church, Holland (第3回 アーネム・モード・ビエンナー レにて発表)	2009年
-1		インスタレーション	コスミックワンダー		
		光のポートレートとしての曼荼羅 金	コスミックワンダー		
		光のポートレートとしての曼荼羅 銀	コスミックワンダー		
9	paper and crystal			Espace Sevigne	2003年
-1		リサイクル紙のワンピースとロウ引きコットンの ジャケット	コスミックワンダー		
		リサイクル紙のスウェット	コスミックワンダー		
		リサイクル紙のコート	コスミックワンダー		
		リサイクル紙のドレス	コスミックワンダー		
		梱包用紙のシャツ	コスミックワンダー		
-2		リサイクル紙のアクセサリ	コスミックワンダー		
-3		ショー・インビテーション	コスミックワンダー		
-4		写真	撮影：木村友紀、Shoji Fujii		

	-5	Libération(フランスの日刊紙)			2003年 10月8日 発行
	-6	コレクションコンセプトを印刷したショッピングバッグ	コスミックワンダー		
	-7	映像	撮影・編集：木村友紀		
10	Forest Heights	Lodge COSMIC WONDER		Cosmic Gallery	2004年
	-1	White magic テキスト	著：前田征紀		
	-2	パフォーマンス・インビテーション	コスミックワンダー		
	-3	印刷物(再生紙にコラージュイメージ)	コスミックワンダー		
	-4	新聞(詳細不明)			
	-5	写真	撮影：木村友紀		
	-6	寝間着ドレス	コスミックワンダー		
		寝間着トレーナー	コスミックワンダー		
	-7	インスタレーション	コスミックワンダー		
		寝袋	コスミックワンダー		
		ルームシューズ	コスミックワンダー		
		枕	コスミックワンダー		
		ヨガマット	コスミックワンダー		
		雑誌『Le Purple Journal No.1』	所蔵：林央子		
	-8	映像	撮影・編集：木村友紀		
11	Eclipse			Gallery Anne de Villepoix	2005年
	-1	イメージブック	コスミックワンダー		
	-2	イメージソースとなったパリの蚤の市で見つけた写真	ファウンドフォト：前田征紀		
	-3	写真	撮影：前田征紀		
	-4	パフォーマンス・インビテーション	コスミックワンダー		
	-5	写真	撮影：Angela Hill		
	-6	花柄布の岩	コスミックワンダー		
	-7	花と呪術柄のマント	コスミックワンダー		
12	Magic Village			Palais de Tokyo	2004年
	-1	ポスター	コスミックワンダー		
	-2	造葉と水晶のアクセサリー	コスミックワンダー		
	-3	パフォーマンス・インビテーション	コスミックワンダー		
	-4	イメージブック	コスミックワンダー		
	-5	写真	撮影：木村友紀		
	-6	ドレス	コスミックワンダー		
	-7	インスタレーション	コスミックワンダー		
		テント	コスミックワンダー		
		敷物	コスミックワンダー		
		木	コスミックワンダー		
		造花	コスミックワンダー		
		ドレスタープ(ドレス、紐、FRP丸太)	コスミックワンダー		
	-8	映像	撮影・編集：木村友紀		
13	スライドショー				
	-1	A Shadow Necessary for Windows	撮影：木村友紀		2002年
	-2	to sleep	撮影：Philippe Munda、 前田征紀		2002年
	-3	Conversation with Electrical Appliances — Broken Radio, Worn-out TV....	撮影：木村友紀		2001年
	-4	paper and crystal	撮影：木村友紀、 Shoji Fujii		2003年
	-5	Forest Heights Lodge COSMIC WONDER	撮影：木村友紀		2004年
	-6	Eclipse	撮影：Angela Hill、 前田征紀		2005年

印刷物

展覧会チラシ：A4

展覧会ポスター：B2(デザインはすべて服部一成)

関連事業

オープニングトーク 「COSMIC WONDER 東西古今 | East meets West」

出演：前田 征紀(COSMIC WONDER主宰)、

林 央子(『here and there』発行人/ジャーナリスト)

日時：平成29年11月11日14:30～

会場：グラントワ 大ホールホワイエ

参加者：61名

メディア掲載

『月刊ブレン』Vol.690 1月1日 展覧会紹介記事

『美術手帖』web 展覧会紹介記事

Fashion Snap.com(Web)7月20日 展覧会紹介記事



チラシ

展示室C 特別展「没後20年 喜多村知の風景」

会 期：平成30年1月12日(金)～3月12日(月)

内 容：島根県にゆかりの深い洋画家・喜多村知(1907-1997)の没後20年を記念して、島根県立美術館との共催で開催した特別展。喜多村は戦前から帝展や新文展、国展等で活躍し、1941年には新文展特選および国展F夫人賞を受賞。戦時中の1945年に津和野に疎開し、島根県立津和野高等女学校(現・島根県立津和野高等学校)で美術教師を務め、戦後は1946年に創立された島根洋画会に創立会員として参加するなど、本県に重要な足跡を残した。1963年のヨーロッパ遊学以後、美術評論家で画廊主の洲之内徹に見出され、1976年から同氏が経営する現代画廊で個展を開催した。本展では洲之内徹に評価された1970年代の風景画を中心に、約30点の作品を一堂に展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	喜多村 知	海浜	1940年	油彩、カンヴァス	個人蔵
2	喜多村 知	オーヴェル＝シュル＝オワーズ	1964年代	油彩、カンヴァス	個人蔵
3	喜多村 知	バリ	1969年	油彩、カンヴァス	あざかみ美術館
4	喜多村 知	裏街	1966年	油彩、カンヴァス	個人蔵
5	喜多村 知	バリ	1969年	油彩、カンヴァス	個人蔵
6	喜多村 知	マドリッド	1964年	油彩、カンヴァス	個人蔵
7	喜多村 知	漁村	1971年	油彩、カンヴァス	個人蔵
8	喜多村 知	滞船	1972年	油彩、カンヴァス	個人蔵
9	喜多村 知	漁村	1973年	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
10	喜多村 知	海沿いの家	1973年	油彩、カンヴァス	個人蔵
11	喜多村 知	北国海辺	1973年	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
12	喜多村 知	北国海辺	1973年	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
13	喜多村 知	北国の家	1975年	油彩、カンヴァス	個人蔵
14	喜多村 知	北溟随感	1977年	油彩、カンヴァス	個人蔵
15	喜多村 知	北国の家(北溟随感)	1977年	油彩、カンヴァス	個人蔵
16	喜多村 知	ワルシャワ	1981年	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
17	喜多村 知	ドナウ河	1982年	油彩、カンヴァス	あざかみ美術館
18	喜多村 知	武蔵野の夕暮	1983年	油彩、カンヴァス	個人蔵
19	喜多村 知	暮春	1983年	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
20	喜多村 知	銚子漁港	1985年	油彩、カンヴァス	個人蔵
21	喜多村 知	白い舟	1990年	油彩、カンヴァス	個人蔵
22	喜多村 知	舟	1991年	油彩、カンヴァス	あざかみ美術館
23	喜多村 知	能生港	1985年	油彩、カンヴァス	あざかみ美術館
24	喜多村 知	能生港	1986年	油彩、カンヴァス	個人蔵
25	喜多村 知	能生	1988年	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
26	喜多村 知	製氷所附近	1986年	油彩、カンヴァス	下関市立美術館
27	喜多村 知	製氷所附近	1986年	油彩、カンヴァス	個人蔵
28	喜多村 知	製氷所附近	1993年	油彩、カンヴァス	あざかみ美術館
29	喜多村 知	帰路	1994年	油彩、カンヴァス	個人蔵
30	喜多村 知	群像	1996年	油彩、カンヴァス	個人蔵
31	喜多村 知	花(絶筆)	1997年	油彩、カンヴァス	個人蔵
32	喜多村 知	津和野雪景色	1946年代	水彩、鉛筆、紙	個人蔵
33	喜多村 知	デッサン(スケッチブック)		鉛筆、色鉛筆、パステルなど、紙	個人蔵
34	喜多村 知	画材類(パレット・絵具・筆)			個人蔵

印刷物

展示会チラシ：A4(デザイン:有限会社松陽印刷所)

関連事業

スペシャルギャラリートーク

ゲスト：喜多村 良夫(作家長男)

日 時：平成30年2月24日(土) 14:00～(約1時間)

会 場：展示室C

参加者：20名

新聞掲載

新美術新聞1月21日 展示会記事

読売新聞2月11日 展示会紹介記事



チラシ

コレクション展

展示室A 花を描く、草を描く

会 期：平成29年4月5日(水)～5月15日(月)

内 容：バンクス展に併せて開催する本展では、草花を描いた作品約20点を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	杉浦 非水	非水百花譜	1920～1925年頃	木版、紙	島根県立石見美術館
2	中林 竹洞	秋卉鴛鴦図	1831年	絹本着色	島根県立石見美術館
3	中林 竹溪	秋草群雀図	19世紀後半	絹本着色	島根県立石見美術館
4	今尾 景年	花鳥図屏風	19世紀後半(明治～大正時代)	絹本着色	島根県立石見美術館
5	西 晴雲	四季花木図	1920～1925年頃	紙本着色	島根県立石見美術館
6	宮 芳平	黒百合	1934年	エッチング、紙	島根県立石見美術館
7	宮 芳平	コスモス	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
8	宮 芳平	枯野	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
9	宮 芳平	庭の花(すみれ)	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
10	宮 芳平	庭の花(桜草)	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
11	宮 芳平	庭の花(くりん草)	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
12	宮 芳平	茄子の木	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
13	大下 藤次郎	秋海棠	1907～1911年	水彩、紙	島根県立石見美術館
14	大下 藤次郎	紫陽花	不詳	水彩、紙	島根県立石見美術館
15		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-26	1928年	紙 全74点	島根県立石見美術館
16	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「蝶々と花」	1912～1928年	紙にグアッシュ	島根県立石見美術館
17	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「すみれの花」	1912～1928年	紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
18	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「マーガレット、赤いバラ、谷の百合」	1912～1928年	紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
19	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「四角の中のとらもろこし、マーガレット、ケシの花」	1912～1928年	墨一色で紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
20	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「パステル色の花」	1912～1928年	黒地、紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
21	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「パステル色の花」	1912～1928年	白地、紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
22	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「バラと花々」	1912～1928年	紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
23	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「鳥、異国の果物と花」	1912～1928年	紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館

新聞掲載

中国新聞4月13日 展覧会紹介記事

山陰中央新報5月2日 展覧会紹介記事

展示室A ふしぎな人々

会 期：平成29年5月17日(水)～6月19日(月)

内 容：日本では古来より、俗世間を離れた人や優れた詩歌人などが描かれてきましたが、中には風変りな姿かたちで表され、なぜこのように描かれるのか、不思議に思われる絵も数多くある。本展では、当館のコレクションより「ふしぎな人々」が描かれた作品を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	岡野 洞山	竹林七賢、商山四皓屏風	嘉永元年(1848)	紙本墨画淡彩、六曲一双	島根県立石見美術館
2	周恵	達磨図	室町時代後期	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
3	曾我 宗文	面壁達磨図	室町時代後期	絹本墨画、軸	島根県立石見美術館
4	海北 友松	祖師図	桃山時代	紙本墨画、軸、対幅	島根県立石見美術館
5	曾田 友栢	達磨図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
6	山本 栞谷	瀧見観音図	江戸時代末期	紙本墨画淡彩、軸	島根県立石見美術館
7	啓孫	騎驢人物図	室町時代後期	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
8	近衛 信尹	渡唐天神像	桃山時代	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
9	円山 応挙	柿本人麻呂像	明和2年(1765)頃	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
10	作者不詳	人麻呂図屏風	江戸時代、17～18世紀	紙本金地着色、六曲一隻	島根県立石見美術館
11	田中 頼璋	林名靖愛鶴図	昭和10年(1935)頃	絹本着色、軸	島根県立石見美術館

展示室A 森鷗外の美術探訪

会 期：平成29年6月21日(水)～7月31日(月)

内 容：「学問の自由研究と芸術の自由発展とを妨げる国は栄えるはずがない」—1911年、「文芸の主義」でこう唱えた明治の文豪・森鷗外(1862～1922)。鷗外は近代化に向けて様々に変容する世の中で、学問と芸術の重要性を説き、美術界の発展に大きな影響を与えた。本展では森鷗外の著作の挿絵を担当した当時の美術界を牽引する人気の画家たちを中心に、明治・大正時代を彩った彼らの画業を紹介し、鷗外をめぐる美術の世界を探訪した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	原田 直次郎	男児図	明治20～31年(1887～98)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	19世紀末～20世紀初頭	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	和田 英作	風景	大正3年(1914)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	大下 藤次郎	下駄屋の店先	明治25年(1892)	水彩、紙	島根県立石見美術館
5	大下 藤次郎	貸家の裏口	明治25年(1892)	水彩、紙	島根県立石見美術館
6	原田 直次郎 (画)	「於母影」挿画 『国民之友』 第58号附録	明治22年(1889)	書籍	島根県立石見美術館
7	大下 藤次郎	『水彩画の菜』	明治34年(1901)	書籍	島根県立石見美術館
8	大下 藤次郎	『水彩写生旅行』	明治44年(1911)	単行本	島根県立石見美術館
9	大下 藤次郎	手記「ぬれきぬ」	明治23年(1890)	墨、紙	島根県立石見美術館
10	森 鷗外	『水彩画の菜』題言	明治34年(1901)	墨、紙	島根県立石見美術館
11	原田 直次郎 (画)	『新著百種』第12号・表紙、 挿画	明治24年(1891)	書籍	島根県立石見美術館
12	長原 孝太郎 (画)	『玉匣両浦島』	明治35年(1902)	書籍	島根県立石見美術館
13	中村 不折 (装丁)	『人の一生、飛行機』	明治44年(1911)	書籍	島根県立石見美術館
14	藤島 武二 (装丁)	『寂しき人々』	明治44年(1911)	書籍	島根県立石見美術館
15	橋口 五葉 (装丁)	『青年』	大正2年(1913)	書籍	島根県立石見美術館
16	長原 孝太郎 (止水)(画)	『謎』	大正3年(1914)	書籍	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
17	木下 奎太郎 (装丁)、 和田 英作 (挿画)	『ギョッツ』	大正5年(1916)	書籍	島根県立石見美術館
18	藤島 武二 (装丁)	『蛙』	大正8年(1919)	書籍	島根県立石見美術館
19	平福 百穂	七面鳥・鴨	大正3年(1914)	紙本著色	島根県立石見美術館
20	松本 楓湖	八岐大蛇	明治42年(1909)	絹本著色	島根県立石見美術館
21	寺崎 広業	竹裡館観月	明治後期～大正初期	絹本著色	島根県立石見美術館
22	蘆原 緑子(画)、 久保田 米斎 (画)、 寺崎 広業(画)	『うた日記』	明治40年(1907)	書籍	島根県立石見美術館
23	蘆原 緑子	『ゴルフ漫画』	昭和3年(1928)	書籍	島根県立石見美術館
24	橋本 青雨(著) 蘆原 緑子(画)	『ほし草』	明治35年(1902)	書籍	島根県立石見美術館
25	長原 孝太郎	風景	大正10年(1921)	油彩、板	島根県立石見美術館
26	中村 不折	裸婦	明治末～大正初期頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
27	黒田 清輝	裸体	明治22年(1889)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
28	満谷 国四郎	風景	大正時代中期	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
29	中川 八郎	初秋の夕	大正8年(1919)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
30	鹿子木 孟郎	加茂ノ森	大正12年(1923)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
31	宮 芳平	はげのある風景	昭和3年(1928)	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
32	宮 芳平	樹木	昭和29年(1954)	コンテ、紙	島根県立石見美術館
33	宮 芳平	村里	昭和8年(1933)	コンテ、紙	島根県立石見美術館

展示室A 雪舟風—雲谷派を中心に—

会 期：平成29年11月1日(水)～12月11日(月)

内 容：室町時代の画僧、雪舟の画風はその後の多くの絵師に受け継がれた。本展では、雲谷等顔の祖とし雪舟の正系を名乗った雲谷派の作品を中心に、「雪舟風」で描かれた作品を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	雲谷 等顔	山水人物花鳥図押絵貼屏風	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩、六曲 一双	島根県立石見美術館
2	雲谷派	耕作図屏風	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩、六曲 一隻	島根県立石見美術館
3	雲谷派	四季山水図屏風	元和年間(1615～24)頃	紙本墨画淡彩、八曲 一双	島根県立石見美術館
4	雲谷 等益	山水図屏風	寛永(1624～45)中期頃	紙本墨画淡彩、六曲 一双	島根県立石見美術館
5	雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
6	斎藤 等室	山水図	江戸時代前期	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
7	等碩	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩、軸	島根県立石見美術館
8	曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画、軸	島根県立石見美術館
9	狩野 荣信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本墨画、軸	島根県立石見美術館

展示室A あなたはどう見る?—よく見て話そう美術について

会 期：平成29年12月13日(水)～平成30年2月12日(月)

内 容：キャプションや解説をつけずに作品を展示することで、鑑賞者に作品素意のものをじっくり見てもらおうという試み。会期中には県内の教員による鑑賞教育の研究グループ「みるみるの会」のナビゲートで意見交換をしながら作品を鑑賞する「みるみると見てみる?」を開催した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	藪内 佐斗司	どこかものたりない不思議な人物たち	昭和57年(1982)	檜	島根県立石見美術館
2	中村 不折	裸体	明治36～37年(1903～04)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	黒田 清輝	裸体	明治22年(1889)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	原型制作 山下 美代子／ 改造担当： 不詳	マネキン (MINT / ヴィヴィアン・ウエストウッドの衣装用に改造)	平成13年(2001) 改造：平成17年(2005)	FRP、ラッカー塗装	島根県立石見美術館
5	原型制作 山下 美代子	マネキン(MINT)	平成13年(2001)	FRP、ラッカー塗装	島根県立石見美術館
6	原型制作 山下 美代子	マネキン(MINT)	平成13年(2001)	FRP、ラッカー塗装	島根県立石見美術館
		参考資料：ドレス		ベージュのシルクのプリーツドレス	島根県立石見美術館
7	澄川 喜一	MASK	昭和60年(1985)	樟	個人蔵
8	澄川 喜一	S君	昭和34年(1959)	ブロンズ	個人蔵
9	ラウル・デュフィ	鳥、異国の果物と花(ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイルデザイン)	1912～28年	紙、木版	島根県立石見美術館
10	ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	紙、木版	島根県立石見美術館
11	ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	紙、木版	島根県立石見美術館
12	笹島 喜平	不動明王No.90	不詳	紙、木版	島根県立石見美術館
13	岩本 拓郎	無題	昭和50年(1975)	紙、銅版(ドライポイント)	個人蔵
14	有元 利夫	1983年展覧会ポスター	昭和58年(1983)	紙、銅版	島根県立石見美術館
15	巖嘸	鳳凰 I	昭和58年(1983)	紙、シルクスクリーン	島根県立石見美術館
16	畦地 梅太郎	鳥と山男	昭和58年(1983)	紙、木版	島根県立石見美術館
17	畦地 梅太郎	火の山	昭和48年(1973)	紙、木版	島根県立石見美術館
18	畦地 梅太郎	ささやき	昭和53年(1978)	紙、木版	島根県立石見美術館
19	畦地 梅太郎		昭和42年(1967)	紙、木版	島根県立石見美術館
20	岩本 拓郎	無題	昭和50年(1975)	紙、銅版(ドライポイント)	個人蔵
21	岩本 拓郎	無題	昭和50年(1975)	紙、銅版(ドライポイント)	個人蔵
22	岩本 拓郎	無題	昭和50年(1975)	紙、銅版(ドライポイント)	個人蔵
23	岩本 拓郎	無題	昭和50年(1975)	紙、銅版(ドライポイント)	個人蔵
24	岩本 拓郎	無題	昭和50年(1975)	紙、銅版(ドライポイント)	個人蔵
25	岩本 拓郎	無題	昭和50年(1975)	紙、銅版(ドライポイント)	個人蔵
26	殿敷 侃	釘	不詳	紙、銅版	島根県立石見美術館

関連事業

みるみるとみて見る?

日 時：12月17日(日)、1月21日(日)、27日(土)、2月10日(土) 各日14:00-

会 場：展示室A

新聞掲載

山陰中央新報12月23日 展覧会紹介記事

山陰中央新報1月27日 対話型鑑賞取材記事

展示室A 理想郷を描く

会 期：平成30年2月16日(金)～4月2日(月)

内 容：画家はしばしば、実在しない理想の風景を描き出してきた。一方で、身近な景色に作者の理想を反映させた風景を描くこともある。本展では当館のコレクションより、江戸時代から現代にかけての「理想郷」が描かれた作品を展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期、17世紀	紙本墨画淡彩、軸、3幅対	島根県立石見美術館
2	中林 竹洞	湖山清遠図	江戸時代後期、19世紀前半	絹本墨画、軸、1幅	島根県立石見美術館
3	山本 梅逸	山水図	江戸時代後期、19世紀前半	紙本墨画、軸、1幅	島根県立石見美術館
4	富岡 鉄斎	江山招隠図	明治40年(1907)	絹本着色、軸、1幅	島根県立石見美術館
5	西 晴雲	湖南漁舟・緑陰仙居図屏風	昭和3年(1928)	紙本着色、6曲1双	島根県立石見美術館
6	田中 頼璋	白雲紅樹図	昭和9年(1934)	絹本着色、額装	島根県立石見美術館
7	川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正～昭和初期	油彩、絹本	島根県立石見美術館
8	満谷 国四郎	風景	大正8年(1919)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
9	山崎 修二	初冬	昭和11年(1936)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館

展示室B 画家たちの冒険航海

会 期：平成29年4月12日(水)～5月29日(月)

内 容：企画展「キャプテン・クック探検航海と『バンクス花譜集』展」に併せて開催。海外渡航をした画家たちが現地で描いた作品を紹介。あわせて、大下藤次郎が欧米旅行をした際のかばんや、旅先で収集したホテルのカードや乗船券などを展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	大下 藤次郎	モートン岬、クイーンズランド	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
2	大下 藤次郎	サンドゲート、クイーンズランド	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
3	大下 藤次郎	プリズバーン河	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
4	大下 藤次郎	プリズバーン河	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
5	大下 藤次郎	サウスヘッド、シドニー	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
6	大下 藤次郎	サーキュラーキー、シドニー	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
7	大下 藤次郎	シドニー	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
8	大下 藤次郎	シドニー、N.S.W.	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
9	大下 藤次郎	ロイヤルパーク、メルボルン	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
10	大下 藤次郎	メルボルン港	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
11	大下 藤次郎	金剛甲板にて	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
12	大下 藤次郎	軍艦金剛にて(全15点)	明治31年(1898)	鉛筆・水彩、紙	島根県立石見美術館
13	大下 藤次郎	スケッチブック	明治31年(1898)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
14	大下 藤次郎	『曙日記』	明治31年(1898)	墨、紙	島根県立石見美術館
15	大下 藤次郎	日記『明治三十一年之記』	明治32年(1899)	墨、紙	島根県立石見美術館
16	ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
17	黒田 清輝	裸体	明治22年(1889)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
18	黒田 清輝	ポプラの黄葉	明治24年(1891)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
19	小林 萬吾	スペイン・グラナダ・アルハンブラ	大正時代初期	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
20	香月 泰男	ヴァンドーム広場	昭和48年(1973)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
21	三宅 克己	オランダ	制作年不詳	コンテ、紙	島根県立石見美術館
22		大下藤次郎 旅行かばん			島根県立石見美術館
23		大下藤次郎 欧米旅行記念品			島根県立石見美術館

新聞掲載

中国新聞4月13日 展覧会紹介記事

展示室B 粹一石見根付を愉しむ

会 期：平成29年5月31日(水)～8月7日(月)

内 容：今から約400年前、江戸時代の人々は、普段身につける、ちょっとした小物にもお洒落心を発揮し、「粹」な遊び心を競い合った。なかでも根付は、掌におさまるほどの小さなサイズで派手さはないものの、ちらりと見えて持ち主のセンスの良さをうかがわせるには最適であった。本展では、精緻な石見根付を紹介し、題材ごとの意味と表現に着目した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	中村松間齋	猛禽図印籠	19世紀	高時絵	島根県立石見美術館
2	巖水	トンコツ(煙草入れ)	19世紀	竹	江津市(七田真コレクション)
3	臥農	香入提物	18～19世紀	黒檀	江津市(七田真コレクション)
4	白龍	蓮葉に蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
5	作者不詳	蓮葉に蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
6	葛刈	蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
7	富春	亀	18世紀	水牛の角	江津市(七田真コレクション)
8	可専	亀	18～19世紀	黒檀	江津市(七田真コレクション)
9	富春	亀	18～19世紀	黒檀	島根県立石見美術館
10	富春	蓮葉に蓑亀	寛政4年(1792)	鯨齒	島根県立石見美術館
11	直人	蟬	18世紀	水牛の角	江津市(七田真コレクション)
12	作者不詳	枝に蟬	18～19世紀	黒檀	江津市(七田真コレクション)
13	龍水	牛	18～19世紀	黒檀	島根県立石見美術館
14	貫満	稲穂に鼠	19世紀	海松	江津市(七田真コレクション)
15	伝文章	猪牙に鼠	18～19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
16	伝富春	葡萄に栗鼠	18～19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
17	素龍	猪牙に忍草と蜘蛛	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
18	文章	猪牙に忍草と蜘蛛	文政12年(1829)	猪牙	江津市(七田真コレクション)
19	文章	流木に蜘蛛	18～19世紀	黒柿	江津市(七田真コレクション)
20	富永	猪牙に蜘蛛	19世紀	猪牙	島根県立石見美術館
21	作者不詳	猪牙に蜘蛛	18～19世紀	猪牙	島根県立石見美術館
22	富明	猪牙に蜘蛛	18世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
23	文章	鮑に蟹	18～19世紀	黒檀	江津市(七田真コレクション)
24	作者不詳	流木に蟹	18世紀	黒柿	江津市(七田真コレクション)
25	富春	鮑に蟹	寛政7年(1795)	象牙	島根県立石見美術館
26	我補	猪牙に蟹	文化13年(1816)	猪牙	江津市(七田真コレクション)
27	文章	猪牙に百足	18～19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
28	利治	竹に蝸牛	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
29	作者不詳	猪牙に山水図	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
30	巖水	忍草に蜘蛛	19世紀	象牙	江津市(七田真コレクション)
31	巖水	雪松に鹿	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
32	作者不詳	堅田落雁	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
33	富永	和歌に南天	19世紀	象牙	江津市(七田真コレクション)
34	巖水	扇面に忍草	19世紀	象牙	島根県立石見美術館

展示室B 東京の美人画

会 期：平成29年8月9日(水)～9月25日(月)

内 容：企画展「没後70年 北野恒富展」に併せて開催。恒富やその弟子たちと同時代に活躍した東京の画家たちが描いた美人画を展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	岡田 三郎助	黒き帯	大正4年(1915)	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
2	鍋木 清方	花見幕	昭和10年代	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
3	小早川 清	旗亭涼宵	昭和8年(1933)	絹本着色、額	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
4	池田 輝方	絵師多賀朝潮流さる	大正前期	絹本着色、六曲一双	島根県立石見美術館
5	小早川 清	宵	昭和11年(1936)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
6	榎本 千花俊	揚々戯	昭和8年(1933)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
7	山田 喜作	真夏の港	昭和7年(1932)	絹本着色、額	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報9月19日 展覧会紹介記事

展示室B シャネルとヴィオネ

会 期：平成29年9月27日(水)～11月6日(月)

内 容：1920～30年代を代表する二人の女性デザイナー、ガブリエル・シャネルとマドレーヌ・ヴィオネの仕事を特集し、紹介した。衣装そのものではなく着用者の美しさを引き出そうとする二人の共通点と、その時代的背景に注目する内容だった。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1920年代後半	黒い絹クレープ・デ・シンにシャンティイレース地を重ねたワンピース・ドレス。サテン地のリボン。	島根県立石見美術館
2	ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1927頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレス、バイアスカット、黒の絹のスリッパ。	島根県立石見美術館
3		フェミナ1923年4月号	1923年	雑誌	島根県立石見美術館
4		フェミナ1926年4月号	1926年	雑誌	島根県立石見美術館
5		フェミナ1927年1月号	1927年	雑誌	島根県立石見美術館
6		フェミナ1927年2月号	1927年	雑誌	島根県立石見美術館
7		フェミナ1928年3月号	1928年	雑誌	島根県立石見美術館
8		フェミナ1925年11月号	1925年	雑誌	島根県立石見美術館
9	エルネスト・タヤート	「モデル」の時間ヴィオネの店で『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1922年	オフセット印刷、ポショワール版画、紙	島根県立石見美術館
10	エルネスト・タヤート	たばこヴィオネのドレス 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1922年	オフセット印刷、ポショワール版画、紙	島根県立石見美術館
11	エルネスト・タヤート	ローマの復活祭の土産ヴィオネの午後のドレス 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1922年	オフセット印刷、ポショワール版画、紙	島根県立石見美術館
12	エルネスト・タヤート	パリでの仮縫いヴィオネの飛行機旅行のためのドレス 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1922年	オフセット印刷、ポショワール版画、紙	島根県立石見美術館
13	エルネスト・タヤート	ヴィオネの夜のドレス 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1923年	オフセット印刷、紙	島根県立石見美術館
14	エルネスト・タヤート	ヴィオネのケープ 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1922年	オフセット印刷、紙	島根県立石見美術館
15	エルネスト・タヤート	ヴィオネのコート 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1922年	オフセット印刷、紙	島根県立石見美術館
16	エルネスト・タヤート	ヴィオネのドレス 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1922年	オフセット印刷、紙	島根県立石見美術館
17	マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス	1938年	ドレスとアンダードレスの2ピース。ピンクのシルク・シフォン地のオーバードレス、シフォンと絹地のアンダードレス。	島根県立石見美術館
18	マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1934年頃	赤緋色のクレープ。ワンピース・ドレス。バイアス・カット。	島根県立石見美術館
19	マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1920年代	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。ポートネック、ラグランスリーブ、ブリーツスカート。	島根県立石見美術館
20	エルネスト・タヤート	嵐ヴィオネのドレス 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1923年	オフセット印刷、紙	島根県立石見美術館
21	エルネスト・タヤート	波ヴィオネの水着 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1923年	オフセット印刷、紙	島根県立石見美術館
22	エルネスト・タヤート	秋ヴィオネのスーツ 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1923年	オフセット印刷、ポショワール版画、紙	島根県立石見美術館
23	エルネスト・タヤート	黒百合ヴィオネの夜のドレス 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1923年	オフセット印刷、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
24	エルネスト・タヤート	ゴルフのためにヴィオネのゴルフウェア 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924年	オフセット印刷、ポシヨワール版画、紙	島根県立石見美術館
25	エルネスト・タヤート	劇場にてヴィオネのミンクのコート 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924年	オフセット印刷、紙	島根県立石見美術館
26	エルネスト・タヤート	ピアリッツ、ヴィオネの店 『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1924～25年	オフセット印刷、ポシヨワール版画、紙	島根県立石見美術館
27	ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ヴィオネ	1939年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
28	マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス、ストール	1938年	黒いチュール地に金色のぶどうのモチーフ。サーキュラー・スカート。ホルター・ネック。ストールは黒いチュール。	島根県立石見美術館

展示室B モノクロームの世界

会 期：平成30年1月10日(水)～2月25日(日)

内 容：モノクロームとは単色で表現されたものをさし、地になる基本の単色にもう一色を加えて、2色間の階調によって図像を結ぶことで成りたつ。単色の濃淡はカラーとはまた趣の異なる深みをもたらす、光による極端な差が画面に劇的な効果を与えるなど、モノクロームならではの魅力がある。本展では幅広い分野からその魅力を探った。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会『ハーバース・バザー』1938年9月号	1938年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
2	マーティン・ムンカッチ	『ハーバース・バザー』1936年6月号	1936年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
3	リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
4	横山 大観	水温む	1954年	紙本墨画	島根県立石見美術館
5	尊俊	竜虎図	室町時代後期	紙本墨画	島根県立石見美術館
6	和田 英作	海神	1918年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	ヴィヴィアン・ウエストウッド	「サロン」ショール付イブニングドレス	1992年	透けた黒のストレッチ素材。共布のショール	島根県立石見美術館
8	クリスチャン・ディオール	カクテルドレス	1956年	茶の絹タフタ。ウエストにベルト	島根県立石見美術館
9	クリストバル・バレンシアガ	ケープ	1946年	黒の絹ファイユ地にホースヘア。銀のスパンコール。人造宝石の刺繍	島根県立石見美術館
10	メーン・ルソー・ブーシェ	イブニングドレス(ケープの下に着用のドレス)	1940年代	黒の絹クレープ。背中に深いVカット。ラグランスリーブ	島根県立石見美術館
11	ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
12	ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
13	ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち、パリ	1965年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
14	ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963年	ゼラチン・シルバー・プリント	島根県立石見美術館
15	宮 芳平	自画像(眼を病める)	1935年	エッチング、紙	島根県立石見美術館
16	宮 芳平	水辺	1935年頃	エッチング、紙	島根県立石見美術館
17	宮 芳平	もろこしとトマト	1935年	エッチング、紙	島根県立石見美術館
18	宮 芳平	コーヒーわかし	1935年	エッチング、紙	島根県立石見美術館

展示室B 森英恵

会 期：平成30年2月28日(水)～平成30年5月7日(月)

内 容：「マダム・バタフライ」とも呼ばれる森英恵の、蝶を扱った作品を特集展示した。日本女性の優美さと気品を表現するものとして、またその華やかで儂い姿からファッションそのものを表すモチーフとして、森が重視してきた蝶の様々な表現を見せる展示となった。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	森 英恵	イブニングドレス「赤い蝶のドレス」	1990年	赤い絹クレープのワンピースドレス。胸に蝶のモチーフをかたどった装飾。	島根県立石見美術館
2	森 英恵	ドレス	1976年春夏	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。	島根県立石見美術館
3	森 英恵	イブニングコート、ショートドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のイブニングコート。純金帯地(西陣織)のスカートと絹サテンと帯地のトップスで出来たショートドレス。	島根県立石見美術館
4	森 英恵	イブニングドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996年	ピンク色の絹ベルベットのワンピースドレス。	島根県立石見美術館
5	森 英恵	イブニングドレス	1976年春夏	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。ネックにビーズ刺しゅう。	島根県立石見美術館
6	ファッションハウス 森英恵 刊行	森英恵流行通信第37号	1967年10月10日	冊子	島根県立石見美術館
7	ファッションハウス 森英恵 刊行	森英恵流行通信第49号	1968年5月10日	冊子	島根県立石見美術館
8	森 英恵	スカーフ	2015年	絹にプリント	島根県立石見美術館
9	森 英恵	ポーチ	2015年	ミクストメディア、蝶のチャーム	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報2月27日 展覧会記事

展示室C ロシア・アヴァンギャルド

会 期：平成29年4月5日(水)～5月15日(月)

内 容：ロシア・アヴァンギャルドとは、20世紀初めのロシアで起きた前衛的な芸術運動のこと。1920年代後半から1930年代の初めにかけて、制作されたロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイルと、そのデザイン画を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 4-1	1930年	紙	島根県立石見美術館
2		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 4-6	1929年	紙	島根県立石見美術館
3		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 4-10	1930年	紙	島根県立石見美術館
4		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 4-11	1929年	紙	島根県立石見美術館
5		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-11		紙	島根県立石見美術館
6		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-10		紙	島根県立石見美術館
7		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-13	1927年	紙	島根県立石見美術館
8		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-15	1927年	紙	島根県立石見美術館
9		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-20		紙	島根県立石見美術館
10		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-21		紙	島根県立石見美術館
11		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 5-23		紙	島根県立石見美術館
12		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-1		紙	島根県立石見美術館
13		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-2		紙	島根県立石見美術館
14		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-3		紙	島根県立石見美術館
15		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-4	1922年	紙	島根県立石見美術館
16		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-5		紙	島根県立石見美術館
17		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-6		紙	島根県立石見美術館
18		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-7	1922年	紙	島根県立石見美術館
19		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-8	1922年	紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
20	S.ストラスピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-10		紙	島根県立石見美術館
21	セルゲイ・ブーリン	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-13		紙	島根県立石見美術館
22	S.ストラスピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-15		紙	島根県立石見美術館
23	S.ストラスピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-16		紙	島根県立石見美術館
24	マリア・アノーリエバ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-19		紙	島根県立石見美術館
25	ジナイダ・ベレピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-22		紙	島根県立石見美術館
26	ジナイダ・ベレピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-23		紙	島根県立石見美術館
27		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-27		紙	島根県立石見美術館
28		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-28		紙	島根県立石見美術館
29		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-31		紙	島根県立石見美術館
30	アナスタシヤ・シュイキナ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-34		紙	島根県立石見美術館
31		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画 6-35		紙	島根県立石見美術館
32		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-1	1927～30年	綿、プリント	島根県立石見美術館
33	リュボフ・シリック	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-2	1920～30年	綿、プリント	島根県立石見美術館
34	リヤ・レイサー	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-3	1929年	綿、プリント	島根県立石見美術館
35		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-4		綿、プリント	島根県立石見美術館
36		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-5	1930～35年	絹クレープ、プリント	島根県立石見美術館
37	ペロゼンツェーヴァ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-6	1930年	綿、プリント	島根県立石見美術館
38	セルゲイ・ブーリン	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-7	1930年	綿、プリント	島根県立石見美術館
39		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 7-13	1927～30年	綿、プリント	島根県立石見美術館
40	ヴェラ・ロトニーナ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 8-1	1929～30年	綿、プリント	島根県立石見美術館

展示室C 草間彌生 ネットとドット

会 期：平成29年5月17日(水)～7月24日(月)

内 容：日本を代表する美術家、草間彌生。「ネットとドット」、網目と水玉を用いた独特の世界を、美術家として活動を始めた初期から一貫して表現してきた草間ワールドに触れる作品を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	草間 彌生	「銀色の希死」より シルバーシューズ	1976年	靴、詰め物をした縫製布、彩色	島根県立石見美術館
2	草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	島根県立石見美術館
3	草間 彌生	かぼちゃ	1998年	F.R.P.(強化プラスチック)	島根県立石見美術館
4	草間 彌生	ドレス	1968年(1998年再制作)	ドレスに彩色(5点とも)	島根県立石見美術館
5	草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
6	草間 彌生	HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
7	草間 彌生	No.235.Q.2	1953年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
8	草間 彌生	(18J)	1954年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
9	草間 彌生	(18D)	1956年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
10	草間 彌生	(18Q)	1956年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
11	草間 彌生	(18L)	1957年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
12	草間 彌生	(18M)	1957年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
13	草間 彌生	(18C)	1958年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
14	草間 彌生	帽子	1975年	フォトコラージュ、水彩、パステル、紙	島根県立石見美術館

新聞掲載

読売新聞5月23日 展覧会紹介記事

山陰中央新報6月2日 展覧会紹介記事

中国新聞6月10日 展覧会紹介記事

展示室C '20-'30s パリとウィーンのパファッション

会 期：平成29年7月26日(水)～9月4日(月)

内 容：北野恒富展に併せて開催。恒富の活躍した時代(1910～1945年頃)とほぼ同時期のパリとウィーンのパファッションの動向を、衣装や、流行のスタイルを描いた版画、雑誌などにより紹介した。

出品リスト

パリのファッション

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ポール・ポワレ	ディ・ドレス「ブルトンヌ」	1921年	紺色のウールと青緑色のベルベット地のワンピースドレス。中国風の刺繍が施された長い袖、ボディスの中央にフックファスナー、ウエスト前部にゴム。	島根県立石見美術館
2	スザンヌ・タルボット	イブニングコート	1925年頃	黒い絹の筒型コート。椰子の葉と花々を刺繍したテキスタイル。黒の毛皮のトリミング。裏地は黒のベルベット。	島根県立石見美術館
3	アンドレ・マルティ	アンナン人(ヴェトナム中部地方)の女中 ドウイエの夜会服とリボン	1920年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
4	エルネスト・タヤート	ヴィオネの織り地のドレス	1924～25年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
5	エルネスト・タヤート	ヴィオネの夜のドレス	1924年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
6	エルネスト・タヤート	ヴィオネの旅行着	1924年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
7	ジョルジュ・ルパップ	バラを贈る ジャンヌ・ランパンのアフタヌーン・ドレスと子ども服	1924～25年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
8	ジョルジュ・ルパップ	訪問 ジャンヌ・ランパンのドレスとマント	1924～25年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
9	ジョルジュ・ルパップ	楽譜入れ ジャンヌ・ランパンのアフタヌーン・ドレスと少女服	1924～25年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
10	ジョルジュ・ルパップ	急ごしらえのキャディ ジャンヌ・ランパンのゴルフウェアと少女服	1924～25年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
11	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 Pl. 1	1923年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
12	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 Pl. 13	1924～25年	ボショワール、紙	島根県立石見美術館
13	ジャンヌ・ランパン	ドレス	1936年	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。袖に白いフェルト地のアププリケワーク。バイアスカット。	島根県立石見美術館
14		『フェミナ』 1927年3月号	1927年		島根県立石見美術館
15		『フェミナ』 1929年3月号	1929年		島根県立石見美術館
16		『フェミナ』 1934年3月号	1934年		島根県立石見美術館
17		『フェミナ』 1935年3月号	1935年		島根県立石見美術館

ウィーンのパファッション

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ダゴベルト・ベッヒエ	カフタン	1919年頃	絹にプリント。絹に色を濃淡にぼかした縞模様プリント「レインボー」。	島根県立石見美術館
2		ネックレス	1920年頃	ピンク、緑、銀色のストライプと小花模様のビーズ・ワーク。両端にタッセルの飾り。	島根県立石見美術館
3	ダゴベルト・ベッヒエ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ	島根県立石見美術館
4	ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙(彫彫)	島根県立石見美術館
5		ブレスレット	1930年頃	銀	島根県立石見美術館
6	マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ	島根県立石見美術館
7	マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「エロス」	1926年頃	絹にプリント。襟元にヒダ飾りのついたスクエアのネックライン。伸縮性のある袖口。二つのポケット。	島根県立石見美術館
8	マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「バイエル」	1928年頃	絹にプリント。ウエストに二つのポケット。黒の絹の縁。	島根県立石見美術館
9	マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「ゼレニカ」	1929年	絹にプリント。濃い青の絹で縁取られたウエストまで届くV字の襟。袖も青の絹で縁取り。	島根県立石見美術館

展示室C シンプルという概念

会 期：平成29年9月6日(水)～11月6日(月)

内 容：「シンプル」という言葉は、一般に「飾り気や無駄をはぶいた簡素なさま」をさす。対象の本質のみを表現しようとするシンプルな志向性に着目し、絵画や彫刻から、様々なシンプルな形を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	永瀬 義郎	祈り	昭和31年(1956)	木版、紙(紺紙金刷)	島根県立石見美術館
2	岸田 劉生	静物	大正9年(1920)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	椿 貞雄	冬瓜南瓜図	昭和22年(1947)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	澄川 喜一	MASK	昭和57年(1982)	樟、カランタス	個人蔵
5	澄川 喜一	そりのあるかたち02-3	平成14年(2002)	樺、檜	個人蔵
6	小堀 鞆音	舞楽図屏風	明治末～昭和初期	紙本金地著色	島根県立石見美術館
7	澄川 喜一	そりのあるかたち05	平成17年(2005)	神代樺、樺、檜	個人蔵
8	澄川 喜一	そりのあるかたちF	平成24年(2012)	樺、桂	個人蔵
9	澄川 喜一	お月さま	平成7年(1995)	樺、チーク	個人蔵
10	澄川 喜一	そりのあるかたちA	平成23年(2011)	樺	個人蔵
11	澄川 喜一	そりのあるかたち97-3	平成9年(1997)	樺、一位、ステンレス	個人蔵
12	澄川 喜一	そりのあるかたちB	平成24年(2012)	樺	個人蔵

展示室C おしゃれを描くーファッションプレートにみる女性の装い

会 期：平成30年3月16日(金)～4月23日(月)

内 容：ファッションプレートとは、現在のファッション誌のグラビアページの役割を果たすもので、当時の流行の、ないしは先端のファッションを知ることのできる貴重な資料である。本展では、室内、外出、スポーツ、夜会と様々なシーンに分けて展示し、あわせて当時の最新流行のアクセサリも紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ジョルジュ・バルビエ	早起きの美人『モード・エ・マニエル・ドールジュルデュイ』Pl.1	1914年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
2	フェルナン・シメオン	裾の縁取りが毛皮で、ドレープがゆったりした藤色のシルク・モスリンの部屋着、黒の型押しベルベットの婦人用上衣『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.26	1912年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
3	ピエール・エルグラン	部屋着『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.65	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
4	シャルル・マルタン	午前の部屋着『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.45	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
5	mfn	黄色いモスリンのナイト・ウェアとキャップ『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.180	1914年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
6	ジョルジュ・バルビエ	前が大きく開いたシルク・プロケードの部屋着に、寒冷紗の内着『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.61	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
7	アルマンド・ヴァレ	室内のローブ『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.125	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
8	ジョルジュ・ルパップ	ベネロベ 部屋着『ガゼット・デュ・ボン・トン』Pl.2	1912年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
9	ルイ・ストランプル	壊れた花瓶 部屋着『ガゼット・デュ・ボン・トン』Pl.12	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
10	mfn	飾りベルトや襟に黄色とグレーのチェックのタフタをあしらった、グリーン・グレーのウールの午前のテーラード・スーツ『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.58	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
11	B.B.ドゥ・モンヴェル	午前のプティ・テーラード・スーツ『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.151	1914年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
12	mfn	旅行用の古代ブルーのケーブ型マントー、黒いタフタのローブ『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.100	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
13	アルマンド・ヴァレ	遠出の服装『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.166	1914年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
14	アルマンド・ヴァレ	散歩服『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.119	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
15	ジョルジュ・バルビエ	ヨットの服装、ラシャのベストに、トワルのスカート、革の帽子『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.164	1914年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
16	シャルル・マルタン	リンゴの唇 レドファンの異性服『ガゼット・デュ・ボン・トン』Pl.6	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
17	ルイ・ストランプル	にわか雨 ドウイエのアフタヌーン・ドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』Pl.7	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
18	モーリス・タキ	ボロ ウォルトの午後のドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』Pl.10	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
19	ジョルジュ・バルビエ	ラグビー レドファンのテーラード・スーツ『ガゼット・デュ・ボン・トン』Pl.39	1914年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
20	フランシスコ・ハビエル・ゴゼ	最初の薔薇 午前中のテーラード・スーツ『ガゼット・デュ・ボン・トン』Pl.2	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
21	ロベール・ダミー	疾風 ドウーセの散歩服『ガゼット・デュ・ボン・トン』Pl.4	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
22	アンドレ・マルティ	ゴルフ『モード・エ・マニエル・ドージュルデュイ』Pl.4	1919年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
23	G.ベクード	玉虫色のタフタの海水浴着『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』pl.14	1912年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
24	ジョルジュ・バルビエ	海水浴着『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.101	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
25	B.B.ドウ・モンヴェル	タックが入ったカーキ色トワルのブラウス、ベージュのラシャの長いゲートル『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.16	1912年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
26	I.M.スミス	テニスの服装『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.85	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
27	モーリス・タキ	スコットランド・ウールのチェックの狩猟服『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.22	1912年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
28	モーリス・タキ	狩猟の服装、ねずみ色ラシャのオーバーコート『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.27	1912年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
29	mfn	緑のサージとチェックの狩猟服『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.109	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
30	B.B.ドウ・モンヴェル	婦人乗馬服『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.126	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
31	B.B.ドウ・モンヴェル	秋の狩猟 狩猟用のスーツ『ガゼット・デュ・ボン・トン』Pl.4	1912年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
32	モーリス・ルロワ	悔い 狩猟服『ガゼット・デュ・ボン・トン』Pl.41	1920年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
33	フェルナン・シメオン	あなたは見ましたか?この小さな女の子 ロディエのウェディング・ドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』Pl.24	1920年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
34	B.B.ドウ・モンヴェル	若い騎手 C・ジャクリンの肖像『ガゼット・デュ・ボン・トン』Pl.2	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
35	モーリス・ルロワ	雪 ロディエのウィンタースポーツのための子羊の毛皮のスーツ『ガゼット・デュ・ボン・トン』Pl.65	1920年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
36	リュック	スケート場 マドレーヌ・ヴィオネのウィンタースポーツのためのコート『ガゼット・デュ・ボン・トン』Pl.38	1924～25年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
37	ジョルジュ・バルビエ	ダンス『モード・エ・マニエル・ドージュルデュイ』Pl.11	1914年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
38	ジョルジュ・バルビエ	黒のサテンと、緑にダイヤをあしらったチュールの夜会用のローブ『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.46	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
39	ジョルジュ・バルビエ	夜会用盛装、肌色モスリンのブラウス『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.69	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
40	ジョルジュ・バルビエ	劇場用のマントー『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.71	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
41	ジョルジュ・バルビエ	チュールとサテンの夜会用盛装、パールの房飾り付きベルベットの懸章『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.84	1913年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
42	ロベール・ダミー	薄絹のひだ飾り付き珊瑚色タフタの舞踏会用ローブ『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.149	1914年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
43	ジョルジュ・バルビエ	銀のブロケード入りの夜会用盛装、ブルーの髪飾りと羽飾り『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』Pl.168	1914年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
44	ジョルジュ・バルビエ	貝殻の噴水 バキャンの夜会用ドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』Pl.27	1914年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
45	ジョルジュ・バルビエ	コロマンデル 夜会用のマントー『ガゼット・デュ・ボン・トン』Pl.12	1914年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
46	ルイ・ストランプル	コート・ダジュール、テラスでの宴『ガゼット・デュ・ボン・トン』Pl.16	1915年	ポショワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
47	アンドレ・マルティ	ボナベティ婦人 ポール・ボワレの夜会用のマント『ガゼット・デュ・ボン・トン』PI.15	1923年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
48	ジョルジュ・バルビエ	堂々たる人 ウォルトの夜会用のドレスとマント『ガゼット・デュ・ボン・トン』PI.35	1924～25年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
49		『ガゼット・デュ・ボン・トン』No.9	1922年発行	印刷、紙	島根県立石見美術館
50	ピエール・ムールグ	ペルージャで、もしくは流行のシューメーカー『ガゼット・デュ・ボン・トン』PI.24	1924年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
51	ピエール・ムールグ	相談 ペルージャの靴『ガゼット・デュ・ボン・トン』PI.46	1924～25年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
52	作家不明	新しいパラソル『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』PI.9	1912年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
53	作家不明	モルガンのダイヤモンドをちりばめた蝶『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』PI.88	1913年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
54	シャルル・マルタン	マダム・マルセル・デュマイのモデル、季節の帽子『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』PI.12	1912年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
55	シャルル・マルタン	マダム・マルセル・デュマイのモデル、秋の帽子『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』PI.19	1912年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
56	作家不明	ヴェヴェールのジュエリー、宝石と半透明エナメルのパendant、エナメルとダイヤモンドで飾ったトンボのプレスレット『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』PI.37	1912年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
57	作家不明	モルガンのエイグレットとしなやかな指輪『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』PI.78	1913年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
58	ポール・イリーブ ジョルジュ・バルビエ	バルビエとポール・イリーブによるパキヤンの扇『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』PI.42	1912年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
59	作家不明	スエードや光沢のあるキッドの手袋『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』PI.92	1913年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
60	B.ベルティ	マダム・マルセル・デュマイのモデル、秋の帽子『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』PI.68	1913年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館
61	エイジェル	アルレット・カールの帽子『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』PI.171	1914年	ポシヨワール、オフセット、紙	島根県立石見美術館

第50回 島根県総合美術展(県展)移動展

会 期：平成30年2月15日(木)～2月18日(日)
会 場：展示室D
主 催：島根県、島根県文化団体連合会、美術関係諸団体

第36回 益田市美術展

会 期：平成30年2月22日(木)～2月25日(日)
会 場：展示室D
主 催：益田市美術展実行委員会

全島根小中学校図画作品展 益田展

会 期：平成30年3月3日(土)～3月5日(月)
会 場：展示室D
主 催：島根県造形教育研究会、島根県立石見美術館



チラシ表紙



ディジュリドゥ



ピアノ



イギリス古楽器



ガムラン

ミュージア

平成29年度より、島根県立いわみ芸術劇場とともに島根県芸術文化センター「グラントワ」を形成する当館の持ち味をいかす事業として、「Museum×Theater:ミュージア」と題した、劇場と美術館との連携事業を開始した。

初年度の事業としては、以下の4つを開催した。

Museum×Theater: ミュージア vol.1

ロビーコンサート「音楽でめぐる探検航海」

企画展「キャプテン・クック探検航海と『バンクス花譜集』」の関連プログラムとして実施。『バンクス花譜集』が、ジェームズ・クックの1768年からの第1回太平洋航海に同行した、ジョゼフ・バンクスの植物学的調査の成果であることにちなみ、その時代や、航海での訪問国にちなむ音楽を通して、展示会とは違う角度から作品世界に親しんでもらおうと企画した。4回シリーズで会期を通して開催することができ、にぎわいを生み出せたほか、美術館と同じ建物内にある劇場の客層を美術館に取り込む契機ともなった。

第1回 瞑想と躍動の音楽

日時: 4月30日(日) 14:00 ~ 15:00

会場: 美術館ロビー

出演: 松谷 将之(ディジュリドゥ)

参加者: 80名

第2回 星の音楽

日時: 5月21日(日) 14:00 ~ 15:00

会場: 美術館ロビー

出演: 志城 慶香(ピアノ)

参加者: 81名

第3回 旅の音楽

日時: 6月10日(土) 14:00 ~ 15:00

会場: 美術館ロビー

出演: 中山 ゆき子(バロックヴァイオリン)、野田 祐子(バロックチェロ)、小林 紘子(チェンバロ)

参加者: 87名

第4回 祈りと祭りの音楽

日時: 6月18日(日) 14:00 ~ 15:00

会場: 美術館ロビー

出演: インドネシア伝統芸能団 HANA★JOSS(ガムラン)

参加者: 122名

新聞掲載

山陰中央新報5月26日 取材記事「コラボ企画で相乗効果」



恒富作品(スライド)にちなんだ三味線演奏



お座敷あそび体験

Museum×Theater : ミュージアムvol.2

お座敷あそび体験「花街ってどんなところ？」

企画展「没後70年 北野恒富 妖艶、秀麗、はんなり—美人画の革新」の関連プログラムとして実施。北野恒富が愛し、描いた大阪の花街の文化についてのレクチャーを聴いた後、恒富作品から連想した曲を芸妓による唄・三味線の演奏で味わい、最後は観客も参加して典型的なお座敷あそびである「こんびらふねふね」や「とらとら」の体験をした。

日 時：8月19日(土) 17:00～18:45

会 場：多目的ギャラリー

出 演：谷川 恵(大阪南地お茶屋たに川若主人)、多佳(唄三味線 大阪南地芸妓)

参加者：52名

新聞掲載

中国新聞8月22日 取材記事

産経新聞8月22日 取材記事



ポスター



第1部



第1部で提供された料理



第2部

Museum×Theater: ミュージア vol.3

よみがえる戦国の宴

第1部: 「戦国益田の祝い膳」を味わう 17時30分開演

第2部: 芸能公演「海山のあいだ〜石見益田氏の祈り」 18時30分開演

企画展「石見の戦国武将―戦乱と交易の中世―」の関連プログラムとして実施。第1部は、企画展にも出品した「益田家文書」に記された、益田家が毛利家をもてなした饗宴のメニューを再現した料理を、40名限定で提供した。第2部では、企画展の内容にあわせ、益田家や石見の歴史・風土を題材とした音楽と語りによる舞台を上演した。制作にあたってはアーティストが益田の史跡取材し、地域の人からも協力を得るなど、地域密着型の公演となった。平成29年度 文化庁 地域の核となる美術館・博物館支援事業として実施。

日 時: 10月14日(土)

第1部 17:30～18:00 / 第2部 18:30～20:30

会 場: グラントワ大ホール ホワイエ

出 演: 第1部 益田「中世の食」再現プロジェクト

第2部 古事変奏プロジェクトfeat.志人

志人(語り)、チェ・ジェ Chol(チャンゴ)、塩高 和之(琵琶)、小泉 なおみ(篠笛、能管)、鈴木 広志(サクソ)、大口 俊輔(アコーディオン)、喜羽 美帆(二十五絃箏)、福原 千鶴(鼓、締太鼓)、東保 光(作、演出、舞)

作・演出: 東保 光

語りテキスト: 志人

面 製 作: 渡辺 貴

衣 装 賛 助: 畑 久美子、ななおてづくり鎧かぶと工房

石見弁指導: 宮崎 泰己、渡辺 綾子、村上 勇、村上 万理、木原 義博

主 催: アートで楽しむ益田の歴史プロジェクト実行委員会(島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場、中世の食再現プロジェクト、益田市、益田市教育委員会)

参加者: 第1部・第2部通し=40名、第2部のみ=30名

新聞掲載

中国新聞10月17日 取材記事

中国新聞10月21日 取材記事

山陰中央新報11月23日 川西由里「客人と創る新しい芸能」



第2部



新作パフォーマンス公演

Museum×Theater : ミュージア vol.4 エドワード・ゴリーの優雅ないたずら

企画展「エドワード・ゴリーの優雅な秘密」の関連プログラムとして実施。エドワード・ゴリーがクラシックバレエのファンであったことちなみ、バレエに音楽と朗読を組み合わせた新作パフォーマンスを上演した。中国地方を中心に活躍するアーティストにより、ゴリーの独特の世界観を舞台で表現した。

日 時：12月9日(土)15:00～16:00

会 場：グラントワ大ホール ステージ

出 演：田中 美礼(バレエ)、原田 雅史(朗読)、奥田 治義(フレットレス・ベース)、
岸田 雅彦(ピアノ)

作・演出：田中 美礼

参加者：151名

新聞掲載

中国新聞12月10日 取材記事



同公演カーテンコール

【講座・講演など】

出張授業「アートカードを用いた「対話による鑑賞」の授業について」

日 時：平成29年6月7日(水)
 講 師：廣田 理紗
 会 場：江津市立青陵中学校
 対 象：江津市立青陵中学校 1年生全生徒

講座「森鷗外ゆかりの美術家たち」

日 時：平成29年7月14日(金) 10:00～12:00
 講 師：川西 由里
 会 場：いわみーる
 参加者：シマネスクくびき学園西部校2年生(14名)

島根県造形教育研究会 夏季研修会

講座「アートカードを用いた「対話による鑑賞」の授業について」

日 時：平成29年8月18日(金)
 講 師：廣田 理紗
 会 場：島根県立美術館 講義室
 参加者：島根県造形教育研究会会員23名

【非常勤講師としての授業】

平成27年度より島根県立石見高等看護学院での芸術(美術)の授業を一コマ担当している。当館学芸員によるリレー形式の授業。共通テーマは「地域の美術とその鑑賞」。

第1回 講義：「石見美術館の概要とファッションコレクション」

日 時：平成29年9月15日(金) 15:00～16:30
 講 師：南目 美輝
 会 場：島根県立石見高等看護学院

第2回 講義：「石見の仏像」

日 時：平成29年9月25日(月) 14:50～16:20
 講 師：椋木 賢治(島根県立美術館学芸課長)
 会 場：島根県立石見高等看護学院

第3回 講義：「美術館と地域のかかわり」

日 時：平成29年10月20日(金) 14:50～16:20
 講 師：川西 由里
 会 場：島根県立石見高等看護学院

第4回 実習：「造形とは」

日 時：平成29年10月27日(金) 14:50～16:20
 講 師：左近充 直美
 会 場：島根県立石見高等看護学院

第5回 鑑賞：「石見の戦国武将」

日 時：平成29年11月2日(木) 14:50～16:20
 講 師：目次 謙一、角野 広海
 会 場：島根県立石見美術館 展示室D

第6回 講義：「美少女の美術史」

日 時：平成29年12月5日(火) 14:50～16:20
 講 師：川西 由里
 会 場：島根県立石見高等看護学院

第7回 演習：「対話による鑑賞、アートカードゲーム」

日 時：平成29年12月7日(木) 13:10～15:35(休憩含)
 講 師：廣田 理紗
 会 場：島根県立石見美術館 講義室



ワークショップボランティア

当館では開館以前から、市民がボランティアとして積極的に事業に参加してきた。現在のボランティア全体のボランティア会の組織は、映画、イベント、ワークショップ、放送、劇場フロント、ギャラリートーク、発送、クリーンアップ、生け花、情報発信の10のグループからなっている。そのうち美術館では「ワークショップグループ」と「ギャラリートーク」のグループが活動している。

【ギャラリートークボランティア】

コレクション展の会場で、会期中の土曜日、日曜日、祝日の午前(10:00～12:00)と午後(13:00～15:00)に実施している。当番制ではなく、各自が活動できる日に来館して行っている。ボランティアは展示室で待機して来場者に声をかけ、希望者に対してトークを行う。各展覧会のトーク実施前には、担当学芸員によるギャラリートーク講習を行っている。

活動記録

4月12日～5月29日 コレクション展「画家たちの冒険航海」

11月1日～12月22日 コレクション展「雪舟風一雲谷派を中心に」

【ワークショップボランティア】

美術館で開催するワークショップをはじめとする教育普及事業では、ボランティアスタッフがアシスタントとして参加をしている。また、主に服飾に関する展示の準備に参加することもある。

活動記録

特別展「弓浜絋」、特別展「コズミック・ワンダー充溢する光」の展示準備において、作品のアイロンがけなどを行った。

1. いわみ美術回廊

平成14年4月1日 いわみ美術回廊がスタート

参加館：津和野町立安野光雅美術館、三隅町立石正美術館、浜田市世界子ども美術館、葛飾北斎美術館、杜塾美術館、益田市立雪舟の郷記念館、今井美術館（以上7館）

活動内容：①情報コーナーの各館設置②ポスター製作③チラシ製作④加盟館各館の諸催し物の情報をPR誌等へ掲載⑤サービスカードの発行と加盟館全館観覧終了者に記念品（7館グッズ詰め合わせ）贈呈⑥情報交換会の開催

平成17年10月 島根県立石見美術館が加盟し、8館体制となる。

平成27年4月 葛飾北斎美術館が閉館、7館体制となる。

2. 萩・益田・津和野美術回廊

平成17年度スタート

参加館：山口県立萩美術館・浦上記念館、益田市立雪舟の郷記念館、津和野町立安野光雅美術館、森鷗外記念館、島根県立石見美術館（以上5館）

活動内容：半券等の提示による相互割引制度

3. 「雪舟さん」および「雪舟小僧さん」

年間パスポート「雪舟さん」 2,000円

○加入施設(4施設)

医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発行の日から1年間、上記4施設に何回でも入館・入園可能

購入者に同行する4名までは、団体料金扱いで入館・入園可能

○下記施設には割引料金で入館

・島根県立石見美術館(コレクション展・企画展)、浜田市立石正美術館、浜田市世界子ども美術館(館主催の展示のみ)

益田散策チケット「雪舟小僧さん」 1,300円

○加入施設(5施設)

島根県立石見美術館(コレクション展のみ)、医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発売(使用開始)の日から3日間、お一人様

1施設1回に限り有効。

4. 割引制度

下記に掲げる乗車券、観覧券等を提示した場合、割引制度が利用可能。

① 石見交通株式会社、中国JRバスが運行する東京からの高速バス往復乗車券

② 石見交通株式会社、阪神電気鉄道が運行する大阪からの高速バス往復乗車券

③ 石見交通株式会社、広島電鉄が運行する広島からの高速バス往復乗車券

④ 大田市以东島根県東部の各JR駅からJR益田駅までの往復乗車券

⑤ 萩・石見空港発着の航空券

⑥ 島根県立石見美術館を除くいわみ美術回廊加盟館の観覧券(半券)

⑦ 山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館の観覧券(半券)

⑧ 島根県いわみ芸術劇場で開催される催し物(当日のみ有効)の有料入場券(半券)

⑨ 提携館が発行する年間パスポート(期限内)

・足立美術館・医光寺・今井美術館・尾道市立美術館・サントリー美術館・津和野町立安野光雅美術館・島根県立古代出雲歴史博物館・島根県立美術館・浜田市世界子ども美術館・浜田市立石正美術館・広島県立美術館・広島市現代美術館・ひろしま美術館・益田市立雪舟の郷記念館・益田市立歴史民俗資料館・萬福寺・杜塾美術館・山口県立萩美術館・浦上記念館・山口県立美術館

⑩ 提携カード

・しまねカード(島根県広島事務所)・しまね子育て応援パスポート(島根県少子化対策推進室)・ちゅーピーくらぶ(株式会社中国新聞社)・ドゥブレ(財団法人広島勤労者職業福祉センター)・とっとり子育て応援パスポート(鳥取県子育て支援総室)・やわらぎカード(株式会社オーエムシーカード)・ゆめカード(株式会社ゆめカード)・JAカード(三菱UFJニコス株式会社)・JAF(社団法人日本自動車連盟)・SDカード(自動車安全運転センター)

所蔵作品一覽

日本画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
池田 蕉園	小松引	大正時代前期	絹本着色 掛幅装	139.4×51.2
池田 輝方	絵師多賀朝湖流さる	1919年	絹本着色 六曲屏風一双	右193.7×394.4 左193.9×396.0
伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	143.8×50.8
今尾 景年	花鳥図	明治時代～大正時代	絹本着色 六曲屏風一双	各156.0×349.5
今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	1900年	絹本着色 六曲屏風一双	各154.9×355.4
雲谷 等益	四季山水図	江戸時代初期(元和年間頃)	紙本墨画淡彩 八曲屏風一双	各85.1×354.0
雲谷 等益	山水図	江戸時代初期(寛永年間頃)	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各156.5×359.4
雲谷 等顔	山水人物花鳥図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩 六曲押絵貼屏風一双	各紙121.8×53.3
雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	30.9×57.9
雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期	絹本墨画淡彩 掛幅装三幅対	各103.3×34.5
雲谷 派	耕作図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩 六曲屏風一隻	152.2×346.2
榎本 千花俊	揚揚戲	1933年	絹本着色 額装	221.2×173.6
榎本 千花俊	池畔春興	1932年	絹本着色 額装	261.0×207.3
榎本 千花俊	口紅を描く	1935年	絹本着色 掛幅装	139×57
榎本 千花俊	春雪	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	131×42
岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図	1848年	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各159.4×363.0
海北 友松	祖師図(達磨・巖頭)	桃山時代	紙本墨画 掛幅装双幅	各106.5×50.6
柿内 青葉	池	1933年	絹本着色 掛幅装	128×42
狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本墨画 掛幅装	34.2×64.7
狩野 松栄	益田元祥像	1582～1592年頃	絹本着色 掛幅装	108.4×51.7
鎌木 清方	花見幕	昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	141.2×50.6
川村 曼舟	牧牛図	大正時代	絹本着色 六曲屏風一隻	152.0×356.0
菊池 華秋	雪晴	1938年	絹本着色 額装	189.8×202.2
菊池 隆志	室内	1934年	紙本着色 額装	146.4×164.4
菊池 隆志	初夏遊園	1928年	絹本着色 額装	206.0×112.8
北野 以悦	春	1931年	絹本着色 額装	191.0×142.0
北野 恒富	むすめ	1925年	紙本着色 額装	190.5×89.0
北野 恒富	狂女	大正時代～昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	130.0×50.0
啓孫	騎驢人物図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	91.0×31.0
近衛 信尹	渡唐天神図	桃山時代	紙本墨画 掛幅装	95.0×39.2
小早川 清	旗亭涼宵	1933年	絹本着色 額装	197.0×113.0
小早川 清	宵	1936年	絹本着色 額装	216.8×111.7
小堀 鞆音	舞楽図	明治時代末期～昭和時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各162.3×358.2
斎藤 等室	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	31.0×50.6
島崎 柳塙	汐風	明治時代後期	絹本着色 掛幅装	109.0×48.6
周恵	達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.7×28.0
曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画 掛幅装	134.8×52.2
曾我 宗丈	面壁達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.0×33.0
曾我 二直菴	鷲鷹図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装双幅	各118.0×51.8
曾田 友栢	達磨図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 掛幅装	27.1×23.6
尊俊	竜虎図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装双幅	各86.9×43.0
竹内 栖鳳	藤花薺花群犬図	1889年	紙本着色 六曲屏風一双	各155.0×360.0
田中 頼璋	白雲紅樹	1934年	絹本着色 額装	226.0×174.5
田中 頼璋	林和靖愛鶴図	1935年	絹本着色、軸	129.4×41.6
谷 文晁	滝図	1828年	絹本着色 掛幅装双幅	各96.7×35.4
寺崎 広業	竹裡館観月	明治時代後期～大正時代初期	絹本着色 掛幅装	139.6×70.8
等碩	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩 掛幅装	26.3×33.7
富岡 鉄斎	江山招隠図	1907年	絹本着色 掛幅装	111.0×42.6
中林 竹洞	湖山清遠図	1834～1837年	絹本墨画 掛幅装	144.2×53.5
中林 竹洞	秋舟鴛鴦図	1831年	絹本着色 掛幅装	128.7×42.4
中林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代後期	絹本着色 掛幅装	112.8×52.6
西 晴雲	湖南漁舟・緑陰仙居図	1928年	紙本着色 六曲屏風一双	各154.4×381.0
西 晴雲	四季花木図	1920～1925年頃	紙本着色 掛幅装四幅対	各167.8×47.3
橋本 明治	莊園	1934年	絹本着色 額装	233.6×142.2
橋本 明治	蓮を聴く	1936年	絹本着色 額装	156.8×221.8
長谷川派	武蔵野図	桃山時代～江戸時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各165.8×367.2
平福 百穂	七面鳥・鴨	1914年	紙本着色 掛幅装双幅	各124.8×59.1
広田 多津	ふたり	1938年	紙本着色 額装	204.6×135.3
不二木 阿古	爽朝	1941年	絹本着色 掛幅装	129×41

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治時代前期	絹本着色 額装	102.0×45.2
松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治時代末期～大正時代	絹本着色 掛幅装	125×71
松本 楓湖	八岐大蛇図	1909年	絹本着色 掛幅装	150×70
円山 応挙	柿本人麿像	1765年頃	紙本墨画 掛幅装	93.8×28.0
武藤 嘉門	ショーウィンドウ	1937年	紙本着色 額装	242.7×546.0
山田 喜作	真夏の港	1932年	絹本着色 額装	212.3×197.8
山田 喜作	湘南初夏	1931年	絹本着色 額装	245×174.5
山田 道安	芦雁図	室町時代末期～桃山時代初期	紙本墨画 掛幅装	各86.6×40.4
山本 栞谷	年中行事図	江戸時代末期	紙本着色 六曲押絵貼屏風一双	各139.0×304.2
山本 栞谷	瀧見観音図	江戸時代末期	紙本墨画淡彩 掛幅装	106.0×29.6
山本 栞谷	月下横臥図	1860年	絹本淡彩 掛幅装	159.0×50.7
山本 梅逸	山水図	1833年	紙本墨画 掛幅装	127.6×57.0
横山 大観	水温む	1954年	紙本墨画 額装	70.0×92.2
不詳	舞踊図	江戸時代初期	紙本金地着色 二曲屏風一隻	149.6×170.0
不詳	人麿像	江戸時代前期～中期	紙本金地着色 六曲屏風一隻	145.0×355.3
不詳	遊女柳橋扇面流図	江戸時代前期	紙本着色 六曲屏風一隻	108.6×343.0

油彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	芙蓉湖	1950年	油彩、カンヴァス	72.5×91.0
岩本 拓郎	無題	1978年	アクリル、シナベニヤ、角材	145.0×382.0
岩本 拓郎	無題	1979年	アクリル、シナベニヤ、角材	182.0×358.0
大下 藤次郎	野の道	1894～97年頃	油彩、カンヴァス	23.5×17.5
岡田 三郎助	黒き帯	1915年	油彩、カンヴァス	62.0×45.3
香月 泰男	ヴァンドーム広場	1973年	油彩、カンヴァス	91.0×48.0
香月 泰男	鯉と犬	1950年	油彩、カンヴァス	60.1×40.7
鹿子木 孟郎	加茂ノ森	1923年	油彩、カンヴァス	100.0×100.0
鹿子木 孟郎	舞子の浜	1914年	油彩、カンヴァス	76.0×40.0
川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正時代～昭和時代初期	油彩、絹本	23.0×74.0
岸田 劉生	静物	1920年	油彩、カンヴァス	39.6×52.0
黒田 清輝	ポプラの黄葉	1891年	油彩、カンヴァス	65.4×80.8
黒田 清輝	裸体	1889年	油彩、カンヴァス	80.0×43.8
児島 善三郎	椅子による	1925～28年頃	油彩、カンヴァス	130.3×97.0
小堀 四郎	ブルターニュの男	1930年	油彩、紙	41.0×32.8
椿 貞雄	冬瓜南瓜図	1947年	油彩、カンヴァス	37.7×90.9
寺戸 恒晴	持石海岸	1977年	油彩、紙	26.8×37.8
東郷 青児	婦人像	1930～35年頃	油彩、カンヴァス	65.0×53.0
堂本 尚郎	宇宙 I	1978年	アクリル、カンヴァス	200.0×600.0
中尾 彰	川村(冬景)	1923年	油彩、カンヴァス、額装	72.9×91.0
中尾 彰	山麓	1955年	油彩、カンヴァス、額装	73.0×116.5
中川 八郎	初秋の夕	1919年	油彩、カンヴァス	94.5×121.6
長原 孝太郎	風景	1921年	油彩、板	32.7×24.0
中村 不折	裸体	1903～05年頃	油彩、カンヴァス	99.8×79.7
中村 不折	裸婦	1900～20年頃	油彩、カンヴァス	80.0×60.7
原田 直次郎	男児肖像	1887～98年頃	油彩、カンヴァス	30.3×21.9
藤島 武二	西洋婦人像	1908～09年頃	油彩、カンヴァス	58.3×39.1
藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	1923年	油彩、カンヴァス	170.0×224.0
藤田 嗣治	婦人像	1939年	油彩、カンヴァス	57.6×71.2
満谷 国四郎	風景	1913～25年頃	油彩、カンヴァス	53.0×45.5
満谷 国四郎	雑木林	1922年	油彩、カンヴァス	45.5×53.3
宮 芳平	風景	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	32.0×41.0
宮 芳平	自画像	1920年	油彩、カンヴァス	53.3×45.7
安井 曾太郎	水浴図	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	91.0×72.0
山崎 修二	二人の少女	1931年	油彩、カンヴァス	130×96.5
山崎 修二	少女像	1931年	油彩、カンヴァス	100.0×81.0
山崎 修二	初冬	1936年	油彩、カンヴァス	130.0×161.0
山崎 修二	夏	1936年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	残雪のある庭	1938年	油彩、カンヴァス	111.0×144.0
山崎 修二	髪	1939年	油彩、カンヴァス	131.0×97.0
山崎 修二	風景(仮題)	1941年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	窓辺の静物	1950年	油彩、カンヴァス	91.0×116.5
山崎 修二	山懐の早春	1953年	油彩、カンヴァス	91.0×73.0
山崎 修二	緑の静物	1955年	油彩、カンヴァス	130.0×80.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
山崎 修二	港通りの家	1998年	油彩、カンヴァス	53.0×66.0
山中 徳次	木部海岸(大谷)	1936年頃	油彩、板	24.5×33.0
山本 鼎	筍	1938年	油彩、カンヴァス	41.2×53.3
吉田 博	風景	1911～20年頃	油彩、カンヴァス	60.6×50.0
和田 英作	風景	1914年	油彩、カンヴァス	52.2×71.6
和田 英作	海神	1918年	油彩、カンヴァス	53.0×41.0
ガブリエル・フォン・マックス	聖女テレゼ・メルル	1868年	油彩、カンヴァス	67.8×55.8
ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	19世紀末～20世紀初期	油彩、カンヴァス	85.4×65.2
ラウル・デュフィ	水上の祭	1920～22年頃	油彩、カンヴァス	81.8×100.2
ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	65.0×54.0

版画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
饒嘯	鳳凰 I	1983年	紙、シルクスクリーン	31.0×30.0
畦地 梅太郎	火の山	1973年	木版、紙	29.5×22.1
畦地 梅太郎	ささやき	1978年	木版、紙	25.0×26.0
畦地 梅太郎	園谷の残雪	1967年	木版、紙	46.6×37.3
畦地 梅太郎	鳥と山男	1983年	木版、紙	36.8×46.8
有元 利夫	1983年展覧会ポスター	1983年	銅版、紙	48.7×35.2
石井 柏亭	木場	1914年	木版、紙	24.0×18.0
織田 一磨	石見有福温泉	1925年	木版、紙	39.0×27.0
岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	1919年	木版、紙	70.0×25.5
小林 敬生	蘇生の刻—早春	1988年	木口木版、紙	35.7×25.3
笹島 喜平	不動明王No90	不詳	木版、紙	47.0×34.8
殿敷 侃	釘(仮題)	不詳	銅版、紙	26.9×31.3
杉浦 非水	産業組合中央会 第二次産業組合拡充三ヶ年計画	1937年	印刷、紙	81.0×57.0
杉浦 非水	東亜ペイント製造株式会社 銅化塗料ノーワン	1920年代	印刷、紙	65.3×37.8
杉浦 非水	宮崎県 日向の早熟 蔬菜と果実	1928年	印刷、紙	106.1×74.9
永瀬 義郎	折り	1956年	木版、紙(紺紙金刷)	51.0×38.0
永瀬 義郎	画家	1963年	木版、紙	61.0×43.5
永瀬 義郎	祭壇の処女	1975年	リトグラフ、紙	80.3×65.0
平塚 運一	裸婦百態「芝生」	1995年	木版、紙	22.0×18.0
古沢 岩美	裸婦(仮題)	不詳	銅版、紙	22.8×18.0
宮 芳平	自画像	1934年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	黒百合	1934年	エッチング、紙	12.2×9.0
宮 芳平	門	1934年	エッチング、紙	9.1×2.0
宮 芳平	八ヶ嶽	1934年	エッチング、紙	8.7×18.2
宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	御神木	1934年	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	水	1935年頃	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	雨 その1	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.4
宮 芳平	雨 その2	1935年頃	エッチング、紙	9.0×10.8
宮 芳平	コスモス	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	雲	1933年	エッチング、紙	10.0×12.0
宮 芳平	田舎(三日月)	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	茄子	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	おぼろの太陽	1935年頃	エッチング、紙	18.0×9.0
宮 芳平	松	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	昭子像	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	自画像(眼を病める)	1935年	エッチング、紙	11.8×9.0
宮 芳平	旧校舎(雪)	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	室内	1935年	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	月(望月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	コーヒーわかし	1935年	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	山(年賀状)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	ポプラと湖	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	枯野	1935年頃	エッチング、紙	6.0×6.3
宮 芳平	水辺	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
宮 芳平	山湖	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	郊外	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	叢	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山(冬の裏山)	1935年頃	エッチング、紙	10.0×8.0
宮 芳平	もろこしとトマト	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山と月	1935年頃	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	庭の花(すみれ)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(桜草)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(くりん草)	1935年頃	エッチング、紙	6.2×6.0
宮 芳平	茄子の木	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	裏山	1935年頃	エッチング、紙	12.0×18.0
宮 芳平	湖と乙女	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	湖と乙女(月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	実のなる木	1935年	エッチング、紙	8.8×12.0
アンリ・ド・トゥルーズ＝ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892～93年	リトグラフ、紙	80.8×60.8
ウィーン工房(フレール、リックス他)	「女性の生活」(20点組)	1916年	木版・一部水彩加筆、紙	39.5×29.5
ジャン＝エミール・ラブレール	マリイ・ローランサンの肖像	1914年	木版、紙	25.0×22.0
ジャン＝エミール・ラブレール	ビュット・ショーモン公園風景	1921年	エッチング、紙	20.0×23.0
ジョルジュ・ルパープ	『ポール・ボワレの作品』	1911年	ファッションプレート12枚 エキストラプレート3枚	
ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』	1925年	ファッションプレート20枚	57.0×38.5
ダゴベルト・ベッヒエ	着衣の少女	不詳	彩色、版画	30.0×22.5
テオフィル＝アレクサンデル・スタンラン	オートバイ・コミオ	1899年	リトグラフ、紙	200.0×140.0
ピエール・ボナール	雑誌『ルヴュ・ブランシュ』のためのポスター	1894年	リトグラフ、紙	80.0×62.0
ポール・イリーブ	『ポール・ボワレのドレス』	1908年	ファッションプレート10枚	
ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	木版、紙	21.0×64.0
ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	31.2×31.3
ロッテ・カルム	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ガビ・メーシュル	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ゲルトルト・ヴァインベルガー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ダゴベルト・ベッヒエ	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
フリッツィ・レーヴ	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
マックス・スニシェク	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
	『ガゼット・デュ・ボン・トン』	1912～25年	冊子69冊、ファッションプレート721枚	
	『モード・エ・マニエル・ドールジュルドウイ』	1912～22年	冊子7冊、ファッションプレート84枚	
	『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』	1912～14年	冊子80冊、ファッションプレート188枚	

水彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
五百城 文哉	富士図	1893~1906年頃	水彩、紙	62.0×94.0
大下 藤次郎	下駄屋の店先	1892年	水彩、紙	18.8×23.8
大下 藤次郎	貸家の裏口	1892年	水彩、紙	27.0×15.4
大下 藤次郎	風景習作1	1892年	水彩、紙	14.5×20.0
大下 藤次郎	人物習作1	1892年	水彩、紙	21.8×14.0
大下 藤次郎	呉服屋	1892年	水彩、紙	18.4×25.8
大下 藤次郎	風景習作2	1892年	水彩、紙	23.4×32.4
大下 藤次郎	門と人物1	1892年	水彩、紙	28.2×21.6
大下 藤次郎	西総田舎の景	1893年	水彩、紙	29.6×38.0
大下 藤次郎	風景習作3	1893年	水彩、紙	22.0×14.3
大下 藤次郎	風景習作4	1893年	水彩、紙	16.6×24.4
大下 藤次郎	風景習作5	1893年	水彩、紙	14.0×21.0
大下 藤次郎	門と人物2	1893年	水彩、紙	22.6×14.9
大下 藤次郎	門と人物3・小石川	1893年	水彩、紙	22.6×15.1
大下 藤次郎	橋のある風景	1893年	水彩、紙	13.7×20.9
大下 藤次郎	つり	1895年	水彩、紙	15.5×24.2
大下 藤次郎	京都近郊	1895年	水彩、紙	11.3×17.8
大下 藤次郎	川口	1895年	水彩、紙	12.3×17.4
大下 藤次郎	風景習作6・ 28年10月13日	1895年	水彩、紙	23.8×15.2
大下 藤次郎	風景習作7・ 28年10月17日	1895年	水彩、紙	15.2×22.2
大下 藤次郎	風景習作8・ 28年10月20日	1895年	水彩、紙	13.8×23.6
大下 藤次郎	穴森神社	1895年	水彩、紙	14.2×18.7
大下 藤次郎	武州七国峠	1895年	水彩、紙	13.9×24.1
大下 藤次郎	相州塩川瀑	1895年	水彩、紙	24.4×15.5
大下 藤次郎	八王子河原	1895年	水彩、紙	13.3×18.6
大下 藤次郎	荒川	1895年	水彩、紙	13.2×23.7
大下 藤次郎	戸山	1895年	水彩、紙	14.9×24.2
大下 藤次郎	塔のある風景(三重の塔)	1896年	水彩、紙	32.5×21.4
大下 藤次郎	日暮里	1896年	水彩、紙	18.3×29.8
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.4×32.8
大下 藤次郎	多摩川上流	1896年	水彩、紙	21.0×32.4
大下 藤次郎	小石川	1896年	水彩、紙	21.7×30.0
大下 藤次郎	館山	1896年	水彩、紙	21.2×32.6
大下 藤次郎	小丹波	1896年	水彩、紙	31.5×21.1
大下 藤次郎	仁和寺五重塔	1896年	水彩、紙	31.7×20.8
大下 藤次郎	天真院	1896年	水彩、紙	25.4×17.8
大下 藤次郎	仁和寺山門	1896年	水彩、紙	19.2×27.1
大下 藤次郎	賀茂	1896年	水彩、紙	32.3×20.3
大下 藤次郎	桜	1896年	水彩、紙	21.7×13.9
大下 藤次郎	境内	1896年	水彩、紙	15.3×21.6
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.8×32.2
大下 藤次郎	白丸	1896~1897年頃	水彩、紙	20.6×32.2
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	44.0×34.6
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	43.9×29.3
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	29.4×22.4
大下 藤次郎	富士を望む	1897年	水彩、紙	19.2×32.4
大下 藤次郎	日光	1897年	水彩、紙	25.6×39.2
大下 藤次郎	巢鴨の牛小屋	1897年	水彩、紙	20.6×32.6
大下 藤次郎	越ヶ谷の春色	1897年	水彩、紙	19.8×32.0
大下 藤次郎	綾瀬	1897年	水彩、紙	18.2×31.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.7×32.6
大下 藤次郎	相模(AKIYA SAGAMI)	1897年	水彩、紙	21.4×33.0
大下 藤次郎	ニューヘヴン	1897年	水彩、紙	30.6×20.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.4×32.5
大下 藤次郎	巢鴨	1897年	水彩、紙	18.2×30.0
大下 藤次郎	風景習作9	1897年	水彩、紙	20.4×31.0
大下 藤次郎	栗田	1897年	水彩、紙	15.7×31.4
大下 藤次郎	武蔵	1897年	水彩、紙	31.2×21.7
大下 藤次郎	浜辺の船	1898年	水彩、紙	19.2×33.0
大下 藤次郎	坂本	1898年	水彩、紙	24.9×38.1

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	宮の下	1898年	水彩、紙	25.4×39.4
大下 藤次郎	シドニー南端	1898年	水彩、紙	22.2×34.5
大下 藤次郎	シドニー、 ニューサウス・ウェールズ	1898年	水彩、紙	23.3×34.4
大下 藤次郎	シドニー	1898年	水彩、紙	22.6×33.2
大下 藤次郎	メルボルン港	1898年	水彩、紙	23.0×33.5
大下 藤次郎	モートン岬、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.2×34.5
大下 藤次郎	サンドゲート、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ロイヤルパーク、 メルボルン	1898年	水彩、紙	20.7×31.4
大下 藤次郎	ブリスバーン河	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ブリスバーン河	1898年	水彩、紙	22.5×34.5
大下 藤次郎	金剛甲板にて	1898年	水彩、紙	40.2×26.9
大下 藤次郎	シドニー湾	1898年	水彩、紙	22.4×34.4
大下 藤次郎	赤道直下にて	1898年	水彩、紙	21.9×34.4
大下 藤次郎	アトリエの画家	1898年	水彩、紙	33.4×22.3
大下 藤次郎	信州の夏	1899年	水彩、紙	50.0×71.5
大下 藤次郎	つつじ	1899年	水彩、紙	32.5×47.4
大下 藤次郎	峠の木	1899年	水彩、紙	30.8×20.6
大下 藤次郎	雲の観察・明治32年 9月13日・正午・南	1899年	水彩、紙	15.8×26.0
大下 藤次郎	雲の観察・9月下旬・ 西方午後5時	1899年	水彩、紙	17.3×25.7
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 11月21日朝 東)	1900年	水彩、紙	18.0×27.4
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 12月5日 西南方)	1900年	水彩、紙	18.2×27.2
大下 藤次郎	城跡	1903年	水彩、紙	27.7×38.8
大下 藤次郎	仁王門(山門)	1903~1911年頃	水彩、紙	22.1×33.6
大下 藤次郎	ポピー	1903~1911年頃	水彩、紙	31.2×45.8
大下 藤次郎	野の花	1903~1911年頃	水彩、紙	22.0×33.3
大下 藤次郎	せせらぎ	1903~1911年頃	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	暮景	1903~1911年頃	水彩、紙	18.0×34.3
大下 藤次郎	河原	1903~1911年頃	水彩、紙	22.2×32.8
大下 藤次郎	桜	1903~1911年頃	水彩、紙	19.0×29.5
大下 藤次郎	夕日	1903~1911年頃	水彩、紙	13.1×19.3
大下 藤次郎	湖上の雲	1903~1911年頃	水彩、紙	22.8×34.2
大下 藤次郎	入江	1903~1911年頃	水彩、紙	23.0×34.0
大下 藤次郎	山の眺め	1903~1911年頃	水彩、紙	33.6×23.1
大下 藤次郎	浜辺の松	1903~1911年頃	水彩、紙	36.4×25.2
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.4×22.4
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.9×22.2
大下 藤次郎	河原	1904年	水彩、紙	52.0×74.5
大下 藤次郎	寄居	1904年	水彩、紙	22.4×34.1
大下 藤次郎	秋の雲	1904年	水彩、紙	32.9×49.7
大下 藤次郎	林間	1904年	水彩、紙	22.3×33.8
大下 藤次郎	木立	1904年	水彩、紙	34.0×22.4
大下 藤次郎	村の寺	1904年	水彩、紙	29.8×19.9
大下 藤次郎	天ヶ瀬	1904年	水彩、紙	17.6×26.5
大下 藤次郎	早春	1904年	水彩、紙	22.9×33.7
大下 藤次郎	風景	1904年	水彩、紙	22.0×34.0
大下 藤次郎	秋谷の漁村	1905年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	浪	1905年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1906年	水彩、紙	22.9×34.1
大下 藤次郎	風景	1906年	水彩、紙	10.3×20.8
大下 藤次郎	船のある風景	1906年	水彩、紙	10.4×20.8
大下 藤次郎	水辺風景5	1906年	水彩、紙	22.8×33.9
大下 藤次郎	多摩川	1906年頃	水彩、紙	22.6×32.7
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1907年	水彩、紙	34.2×51.9
大下 藤次郎	多摩川畔	1907年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	波	1907年	水彩、紙	26.1×46.4
大下 藤次郎	甲州駒ヶ岳	1907年	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	猪苗代	1907年	水彩、紙	66.7×48.2
大下 藤次郎	穂高山の残雪	1907年	水彩、紙	22.2×33.2

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	檜原湖の秋	1907年	水彩、紙	61.2×97.2
大下 藤次郎	猪苗代	1907年頃	水彩、紙	23.5×33.9
大下 藤次郎	飯坂	1907年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	湖水を望む	1907年頃	水彩、紙	22.9×34.8
大下 藤次郎	徳本小屋のほとり	1907年頃	水彩、紙	21.9×33.2
大下 藤次郎	興津	1907年頃	水彩、紙	22.5×33.2
大下 藤次郎	浮き雲	1907～1911年頃	水彩、紙	31.3×45.6
大下 藤次郎	生け花	1907～1911年頃	水彩、紙	33.7×22.8
大下 藤次郎	秋海棠	1907～1911年頃	水彩、紙	34.8×22.4
大下 藤次郎	森	1907～1911年頃	水彩、紙	25.7×36.5
大下 藤次郎	山あいの道	1907～1911年頃	水彩、紙	25.6×36.5
大下 藤次郎	高原	1907～1911年頃	水彩、紙	27.6×39.8
大下 藤次郎	秋の夕	1907～1911年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	山上の眺め	1908年	水彩、紙	22.3×32.6
大下 藤次郎	残雪	1908年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	水芭蕉	1908年	水彩、紙	33.2×22.5
大下 藤次郎	松	1908年	水彩、紙	31.2×46.2
大下 藤次郎	波の音	1908年	水彩、紙	22.0×33.1
大下 藤次郎	富士を望む	1909年	水彩、紙	30.5×45.4
大下 藤次郎	静物 林檎	1909年	水彩、紙	33.6×50.3
大下 藤次郎	庭の一隅(コスモス)	1909年	水彩、紙	26.4×37.0
大下 藤次郎	西山峠	1909年	水彩、紙	32.9×22.2
大下 藤次郎	浜辺の家	1910年	水彩、紙	25.7×36.6
大下 藤次郎	小豆島	1910年	水彩、紙	25.4×36.5
大下 藤次郎	初夏	1910年頃	水彩、紙	25.9×36.6
大下 藤次郎	宍道湖の黄昏	1911年	水彩、紙	25.6×36.8
大下 藤次郎	美寿賀城跡	1911年	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	秩父琴平山	不詳	水彩、紙	17.5×11.4
大下 藤次郎	宿場	不詳	水彩、紙	21.9×33.1
大下 藤次郎	船のある風景	不詳	水彩、紙	22.6×33.0
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	22.2×32.9
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	27.9×35.5
大下 藤次郎	帆船	不詳	水彩、紙	34.3×22.9
大下 藤次郎	入江	不詳	水彩、紙	11.0×17.9
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	13.4×18.5
大下 藤次郎	舟のある風景	不詳	水彩、紙	13.8×20.2
大下 藤次郎	池	不詳	水彩、紙	15.0×23.2
大下 藤次郎	川	不詳	水彩、紙	22.8×34.4
大下 藤次郎	紫陽花	不詳	水彩、紙	32.2×22.2
大下 藤次郎	海	不詳	水彩、紙	23.0×33.7
大下 藤次郎	樹林	不詳	水彩、紙	20.7×31.1
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	14.2×20.4
大下 藤次郎	木立	不詳	水彩、紙	22.0×33.0
大下 藤次郎	朝	不詳	水彩、紙	23.0×33.9
大下 藤次郎	緑陰	不詳	水彩、紙	25.4×36.9
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	16.2×24.4
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	15.3×38.4
大下 藤次郎	風景習作10	不詳	水彩、紙	15.4×23.4
大下 藤次郎	風景習作11	不詳	水彩、紙	14.8×22.1
大下 藤次郎	菊花	不詳	水彩、紙	34.0×23.0
大下 藤次郎	水辺風景1	不詳	水彩、紙	22.4×32.8
大下 藤次郎	水辺風景2	不詳	水彩、紙	22.0×33.2
大下 藤次郎	水辺風景3	不詳	水彩、紙	22.3×33.0
大下 藤次郎	雪の山1	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	水辺風景4	不詳	水彩、紙	21.9×32.2
大下 藤次郎	庭園	不詳	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	水辺風景6	不詳	水彩、紙	33.2×22.1
大下 藤次郎	坂道の家並み	不詳	水彩、紙	37.0×25.4
大下 藤次郎	釣鐘	不詳	水彩、紙	26.2×17.7
大下 藤次郎	崖	不詳	水彩、紙	33.0×22.3
大下 藤次郎	水辺の小屋	不詳	水彩、紙	33.7×23.4
大下 藤次郎	雪の山2	不詳	水彩、紙	22.2×33.0
大下 藤次郎	水辺の山	不詳	水彩、紙	30.7×46.2
大下 藤次郎	雪の山3	不詳	水彩、紙	25.8×36.5

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	水辺の木立	不詳	水彩、紙	30.6×46.4
大下 藤次郎	雪の山4	不詳	水彩、紙	31.4×46.2
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	樹木	不詳	水彩、紙	32.7×22.6
大下 藤次郎	樹木習作	不詳	水彩、紙	33.5×22.1
大下 藤次郎	船着き場	不詳	水彩、紙	23.6×15.8
大下 藤次郎	寺の境内	不詳	水彩、紙	14.0×17.6
大下 藤次郎	秋の川辺	不詳	水彩、紙	15.2×23.4
大下 藤次郎	海洋	不詳	水彩、紙	29.8×50.4
大下 藤次郎	溪流	不詳	水彩、紙	22.4×32.9
大下 藤次郎	金色夜叉絵葉書下絵 5点	不詳	水彩、紙	22.3×33.2
大橋 正堯	農家	1896年	水彩、紙	9.1×14.4
加賀羅 聡	三浦浩著『津和野物語』挿絵	1986年	水彩、紙	21.8×17.4
草間 彌生	(18C)	1958年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.7
草間 彌生	(18D)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	58.4×43.3
草間 彌生	(18J)	1954年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	(18L)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.6
草間 彌生	(18M)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.8×53.8
草間 彌生	(18Q)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	FLOWER Q.S.A	1954年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×33.4
草間 彌生	HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ・パステル、紙	28.0×28.0
草間 彌生	No.235.Q.2	1953年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×30.7
草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ・パステル、紙	29.8×24.8
草間 彌生	帽子	1975年	フォトコラージュ・水彩・パステル、紙	39.5×54.5
後藤 工志	風景	1912～1929年頃	水彩、紙	15.7×21.7
丸山 晚霞	百合	大正3年(1914)頃	水彩、紙	34.8×26.0
三宅 克己	農村風景	1896年	水彩、紙	28.5×48.5
三宅 克己	伊豆風景	1926～1945年	水彩、紙	49.0×65.8
マリア・リカルツ	無題(青いドレスに青い帽子、赤い星印の上に立つ女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6
マリア・リカルツ	無題(扇を持つピンクのドレスを着た女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6

素描

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	馬	1892年	鉛筆、紙	17.6×14.0
大下 藤次郎	高田千歳町	1892年	鉛筆、紙	28.5×38.3
大下 藤次郎	十二社裏	1893年	鉛筆、紙	24.8×18.7
大下 藤次郎	越前堀	1893年	鉛筆、紙	19.4×25.4
大下 藤次郎	四ッ谷 谷町	1893年	鉛筆、紙	29.2×37.8
大下 藤次郎	小石川白山御殿側	1893年	鉛筆、紙	29.4×38.1
大下 藤次郎	護国寺内	1893年	鉛筆・水彩、紙	25.0×18.9
大下 藤次郎	椿	1894年	鉛筆、紙	19.5×16.9
大下 藤次郎	京都途上所見	1895年	鉛筆、紙	11.2×17.6
大下 藤次郎	国内風景スケッチ 98年10月20日	1895年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	京の端居	1896年	鉛筆・水彩、紙	11.2×16.6
大下 藤次郎	民家の庭先	1897年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	軍艦金剛にて①(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.3×16.6、9.6×16.8、9.6×17.0
大下 藤次郎	軍艦金剛にて②(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.2×17.3、9.3×15.2、9.4×17.1
大下 藤次郎	軍艦金剛にて③(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.4×16.8、9.4×17.2、9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(甲板)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.6
大下 藤次郎	金剛スケッチ(雨浴)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.9
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古安達ヶ原)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×17.0
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古太閤記)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(掃除)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×14.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(お茶番)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	人物スケッチ(シドニー)	1898年	鉛筆・水彩、紙	17.3×9.5
大下 藤次郎	碓永川	1898年	鉛筆・水彩、紙	11.2×17.8

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	フィジー人物スケッチ	1898年	鉛筆、紙	14.8×9.5
大下 藤次郎	渋谷	不詳	鉛筆、紙	19.7×23.8
大下 藤次郎	南品川	不詳	鉛筆、紙	29.3×38.0
大下 藤次郎	麻布二之橋	不詳	鉛筆、紙	28.7×38.4
大下 藤次郎	牛込	不詳	鉛筆、紙	29.0×38.1
大下 藤次郎	富士山スケッチ	不詳	鉛筆、紙	24.0×35.8
大下 藤次郎	二十八番観音	不詳	鉛筆・水彩、紙	17.8×11.2
大下 藤次郎	風景スケッチ 鳥居	不詳	鉛筆・水彩、紙	19.8×15.6
大下 藤次郎	室内	不詳	鉛筆・水彩、紙	8.6×13.7
大下 藤次郎	kitami	不詳	鉛筆、紙	14.0×8.6
大下 藤次郎	風景スケッチ 鎌倉	不詳	鉛筆、紙	13.8×8.6
大下 藤次郎	風景スケッチ 二日市	不詳	鉛筆、紙	8.6×14.0
大下 藤次郎	人物スケッチ 26点	1892～1897年頃	鉛筆・水彩、紙	
岸田 劉生	内藤夫人の像	1919年	木炭・パステル、紙	37.8×30.5
須田 国太郎	大濱	1950年頃	鉛筆、紙	28.5×42.0
須田 国太郎	源平布引瀧の図	不詳	鉛筆、紙	25.5×34.5
須田 国太郎	南座 羽左の実盛	不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
須田 国太郎	将棋の図1	不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
須田 国太郎	将棋の図2	不詳	鉛筆、紙	24.5×35.5
宮 芳平	樹木	1896年	コンテ、紙	18.5×28.4
宮 芳平	村里	1933年	コンテ、紙	18.5×28.2
宮 芳平	はげのある風景	1928年	鉛筆、紙	25.2×19.0
宮 芳平	冬の木	1932年	鉛筆、紙	25.2×18.4

写真

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
森村 泰昌	「美に至る病 女優になった私」(48点組)	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	各120.0×95.0
アーヴィン・ブリュメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1984年印刷	ダイ・トランスファー・プリント	各50.8×40.1
ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	40.0×50.0
ウィリアム・クライン	煙+ヴェール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	60.0×50.0
ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち、パリ	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.0×40.0
エドワード・スタイケン	ナティカ・ナスト	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
エドワード・スタイケン	F. A. ワイマン夫人	1931年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.0×20.0
エドワード・スタイケン	無題	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
サラ・ムーン	『ヴォーグ』より	1973年	ダイ・トランスファー・プリント	19.7×30.0
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ロレッタ・ヤング	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.3×20.3
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	イリナ・バラノヴァとニニ・テイラード	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	26.1×32.8
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ドラマティック・イブニング・ケープ	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	22.0×28.4
セシル・ビートン	エドワード朝様式の室内にいるメアリー・テイラー、『ヴォーグ』より	1935年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.2
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.28)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.10)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.7
ダイアン・アーバス	サウス・カロライナ	1968年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	39.5×38.2
ダイアン・アーバス	舞踏場ダンス ジュニア州チャンピオン、 ニューヨーク州ヨンカース	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.2×37.2
ダイアン・アーバス	楽屋の風刺劇喜劇女優 アトランティック シティ、ニュージャージー	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.6×37.5
ダイアン・アーバス	無題14	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.3×37.7
ダイアン・アーバス	無題18	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×37.4
ダイアン・アーバス	バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人	1967年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.9×37.2
ダイアン・アーバス	五番街のパレードの男、ニューヨーク	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×36.8
ダイアン・アーバス	恐怖の家、コニー・アイランド、ニューヨーク	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.4×37.3
バロン・ド・メイヤー	ミスタンゲット	1920年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.4
バロン・ド・メイヤー	コンデ・ナスト夫人	1925年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.7
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.6×20.5
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	20.4×30.6
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.5×20.4
ベルナルド・フォコン	到着 〈夏休み〉より	1978年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	悪魔のミントシロップ 〈夏休み〉より	1980年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	島の祭り 〈時の不確かな進化〉より	1983年	フレッソン・プリント	60.0×60.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ベルナルド・フォコン	アントワヌ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッゾン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	小さな木 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッゾン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ミュケナイの門 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッゾン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ディミトリ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッゾン・プリント	60.0×60.0
ホルスト P. ホルスト	白い袖、バリ	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会 『ハーバース・バザー』1938年9月号	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
マーティン・ムンカッチ	ルシール・プロコウ 『ハーバース・バザー』1933年12月号	1933年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	35.6×27.9
マーティン・ムンカッチ	『ハーバース・バザー』1936年6月号	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
メルヴィン・ソコルスキー	デルボーに捧ぐ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	58.5×47.3
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.0×17.9
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	16.2×12.5
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	18.4×12.6
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.1×18.0
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	19.2×12.9

工芸

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
阿部 裕幸	根付 明暗	2005年	猪牙	長8.9 幅2.0
巖水	石見根付 扇面草図	江戸時代	象牙	長9.9
穴戸 濤雲	根付 柿本人麿	2005年	猪牙	長6.0 幅2.1
高木 喜峰	根付 迷い道	2005年	猪牙	長6.0 幅1.8
田中 俊暁	石見根付 おろち	2007年	猪牙	長1.0 幅4.5
富永	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	8.5×2.4×1.2
富春	石見根付 蓮葉に蓑亀	1792年	鯨の歯	4.1×2.5
富春	石見根付 亀	江戸時代後期	木刻	長6.1
富春	石見根付 鮑に蟹	1795年	象牙	高1.5 幅4.8 奥行3.0
永原 雲永	色絵桐紋秋草図蓋茶碗	江戸時代末期	陶器	高7.9 口径11.0 高台径4.2
永原 英造	色絵金銀彩唐草文鉢	19世紀後半	陶器	高10.0 口径19.5 底径10.3
中村 松間齋	猛禽図高蒔絵印籠	江戸時代末期	高蒔絵	高7.2 幅6.7 奥行2.8
前田 中	根付 番	2005年	猪牙	長5.1 幅1.8
龍水	石見根付 牛	江戸時代	木	長5.6
和地 一風	根付 月下の祈り	2005年	猪牙・ベッ甲・海松	長9.9 幅1.8
不詳	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	長8.3
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1912年デザイン	陶製、釉薬	高15.0
ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙	長4.6
ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916年	銀、象牙	3.4×3.4
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの箱	1920～21年	鍛金・銀	高5.0 径4.2

彫刻

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	102.0×52.0×20.0
草間 彌生	「銀色の希死」より シルバーシューズ	1976年	靴、詰め物をした縫製布、彩色	23.0×8.6×19.0
草間 彌生	ジェネシス 創世記	1993～94年	詰め物をした縫製布、木、彩色	299.7×480.1×30.0
草間 彌生	南瓜	1998年	F.R.P(強化プラスチック)、 塩ビ系塗装	200.0×250.0×250.0
藪内佐斗司	どこかものたりない 不思議な人物たち	1982年	檜	向かって右 160.0×114.0×112.0 向かって左 132.0×173.0×243.0
藪内佐斗司	ろーりんぐまん	1984年	檜	153.0×258.0×60.0
米原 雲海	仙丹	1910年	木	高34.0

服飾

作家名	作品名	制作年	材質
森 英恵	イブニング・コート、ショートドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のコート。ドレスは、帯地と絹サテン。
森 英恵	ジャケット、ディナー・ドレス	1965年春夏	西陣織りの帯地を用いたジャケット。シルクサテンのドレス。ドレスの背には大きなりボン飾り。
森 英恵	ジャンプスーツ、カフタン	1966年	菊を同柄でプリントした綾絹と絹シフォンのジャンプ・スーツとカフタン。絹サテンのベルト。
森 英恵	イブニング・コート、ドレス	1968年	帯地風に仕立てた西陣織のイブニング・コート。赤と白の絹サテンのロングドレス。赤い絹サテンのベルト付。
森 英恵	ジャケット、ショートイブニング・ドレス	1968年秋冬	漢字柄を織り込んだ金色の西陣織りジャケット。金色の糸で手編みしたドレス。
森 英恵	デイ・ドレス	1970年代前半	シルク・シフォンとシルク・サテンに幾何学的な図案をプリント。ワンピース・ドレス。
森 英恵	カフタン、ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。同柄の絹シフォンのストール。
森 英恵	イブニング・ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。ネックにビーズ刺繍。
森 英恵	イブニング・ドレス「花の白いドレス」	1981年	白い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ。
森 英恵	イブニング・ドレス	1981年	黒い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ。
森 英恵	ジャケット、タイトスカート	1989年秋冬	黒色ウール地に黒色シルクサテンと黒色ウール地の網代編みをあしらったジャケット。黒色ウールのタイトスカート。
森 英恵	イブニング・ドレス「赤い蝶のドレス」	1990年	赤い絹クレープのワンピース・ドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス	2002年春夏	青を基調に、ピンクや白を差し色として、花や鳥の刺繍を全面に施したロングドレス。クルーネック、長袖のボディコンシャスでシンプルなフォルム。裾にスリット。左肩にシルク・チュールでコサージュ飾り。
森 英恵	イブニング・ドレス「蒔絵を思わせる赤いサテンのイブニング・ドレス」	1994年秋冬	刺繍とプリントで秋草をあしらった赤い絹サテンのロングドレス。
森 英恵	ジャンプスーツ	2004年秋冬	背面に役者絵を染めた、深い青色のシルクサテンでできたジャンプスーツ。腰に濃紺のブレードでベルト飾り。
森 英恵	ジャケット、タイトスカート、ストール	2004年秋冬	秋の草花を染めた縮緬でできたテイラード・ジャケット、袖にスリット飾り。ストール付き。同素材のタイトスカート。
森 英恵	カフタン、イブニング・ドレス	2004年秋冬	羽ばたく鶴がプリントされた金色シルクサテンのカフタン。同素材でできたベア・トップのロングドレス。
森 英恵	ウェディングドレス	2004年春夏	チュールリボンのフリル飾りをスカート、胸元に配した白色シルクサテンのウェディング・ドレス。胸元に桜色のコサージュ飾り付き。
森 英恵	イブニング・ドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996年	ピンク色の絹のワンピース・ドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」	1996年	墨絵風の柄をプリントした絹シフォン、絹サテンのワンピース・ドレス。
森 英恵	コート、イブニング・ドレス	1997年秋冬	豹柄のフェイクファーをパッチワークした黒色ウールのロングコート。同柄をパッチワークしたベルトがついたウールニットのドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス「ベージュにりんごの花のドレス」	1998年春夏	ベージュ地にりんごの花をプリントした絹シフォンのロングドレス。マーメイドライン、ノースリーブ。スパンゲルによる刺繍。
森 英恵	イブニング・ドレス「コーラル色の花を縫いとったレースのドレス」	1998年秋冬	チュール地に珊瑚色の花の刺繍を施した、ワンショルダーのロングドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス	1999年春夏	明るいうグレーのシルクシフォンに、白、黒、チャコールグレーの変わり水玉を刺繍したロングドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス「プリーツをあしらったウールのスーツ」	2001年春夏	白いウールのジャケット、背中にプリーツ飾り。飾りピン付き。白いウールのアコーディオンプリーツのスカート。
森 英恵	「浮世絵ジャケットとリボンで編んだスカート」	2001年秋冬	銀糸を織り込んだ地に浮世絵柄を刺繍したジャケット、裾にフリル。緑、ピンク、茶のリボンを格子に編んだフレアスカート。
森 英恵	「黒い羽を縫いとったロイヤルブルーのスーツ」	2002年秋冬	花柄の地模様のある青色の綾絹でできたジャケットと膝丈のスカート。襟元、袖さき、背に黒い羽の縫い取り刺繍。
森 英恵	カクテル・ドレス「レースのドレスに軽いボレロ」	2004年春夏	黒い絹レースでできたノースリーブのショートドレス。胸元に小花の刺繍、腰にギャザー飾り。チュール地に格子状の黒いテープで螺旋状に刺繍したボレロ。
森 英恵	カクテル・ドレス「銀色のアンサンブル」	2004年春夏	裾と胸元に銀色のバラをあしらった黒い絹チュール地のショートドレス。同柄のバラモチーフを全面に刺繍した黒い絹チュールのボレロ。
森 英恵	イブニング・ドレス「墨絵にオレンジ色の花を添えたシフォンのドレス」	2004年春夏	墨絵とオレンジ色のバラをプリントした絹シフォンのロングドレス。腰にモザイク状のベルト飾り。
森 英恵	イブニング・ドレス「蝶とタイガーと波をそめた白い絹のドレス」	2004年春夏	蝶と虎と波をプリントした絹シフォンのロングドレス。裾と袖口に同布で刺繍、蝶と虎にはスパンコール刺繍、背にボタン飾り。
アリックス・グレ	イブニング・ドレス	1958年	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス。細かくたたまれたプリーツ。
アンドレ・クレージュ	ブーツ	1960年代後半	白い革、VELCROのファスナー付き。

作家名	作品名	制作年	材質
アンドレ・クレージュ	ジャンプスーツ	1970年	青と白のウール。マンダリン・カラー。茶革のトリミング、折り返しのあるカフス。
アンドレ・クレージュ	イブニング・ドレス	1970年頃	白いウール地のワンピース・ドレス。裏地は白い絹。
アンドレ・クレージュ	デイ・アンサンブル	1965～1967年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツーピース・ドレス。裏地はクリーム色の絹。
アンドレ・クレージュ	スーツ、ブーツ、小物(カメラ)	1960年代後半～1970年	フェイクのエナメル(ビニール製)。丈の短いジャケット、ボティス中央とカフスに白いボタン、白いエナメルのロゴ・マーク、ヒップボーンのミニスカート。銀色の革製のブーツ。アクセサリーとして日本製カメラ(ミノルタ製)。
イヴ・サンローラン	カクテル・ドレス、ケープ	1967～1968年	カクテル・ドレスとケープのアンサンブル。ボティスは黄色の絹オーガンザ、ピンク、黄色のパイエット飾り等で刺繍。スカート、ケープには黄色のオストリッチ・フェザー。
イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス「夜の音楽」	1956年	ダーク・グレーのシルク・グログラン地。Vネックライン、七分丈のラグラン・スリーヴ、トラペーズラインのスカート、4重に重ねたベチコートには、ホース・ヘアー・バンド。
イヴ・サンローラン	イブニング・スーツ	1967年頃	黒のサテンによりトリミングされた黒いウールのイブニング・スーツ。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ショール付イブニング・ドレス「サロン」	1992年	透けた黒のストレッチ素材。共布のショール付き。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	イブニング・ドレス「18世紀スタイル」	1992年	金色の革。ボーンの入ったボティス。皮のスカート。スカーフは白の絹ゴーズ、太陽のモチーフを金色でプリント。プラット・フォーム・シューズは、金色の皮、ヒールには赤のエナメル。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ジャケット、パンツ、シャツ「リバティコレクション」	1994年	グレー、白、赤のタータンのウール。ロング丈のジャケット、ベスト、折り返しのついたパンツ。チェックの綿のシャツ。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ドレス、靴	1990年	黒色絹ベルベットのストレッチ素材のホルセット、パッドの入ったバスル付きガーター風のボトム、17cmヒールのプラット・フォーム・シューズ。
エルザ・スカパレリ	イブニング・ドレス	1938年	ショッキングピンク地にプリントを施した絹シフォンのワンピース・ドレス。ショッキングピンクのアンダードレス。
エルザ・スカパレリ	水着	1930年代後半	綿とレーヨンの混紡。幾何学模様。ホルターネックブラ。
エルザ・スカパレリ	イブニング・ドレス	1939年	クリーム色のサテン・シルク。衿はフェイク(衿の形をしたアップリケ・ワーク)。肩にプラスチック・ジップ。
エルメス	水着	1940～1950年代	幾何学的な魚の模様のスパンデックス。ボーン入り。
ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1927年頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレス。バイアスカット。黒の絹のスリッパ。
ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1920年代後半	黒い絹クレープ・デ・シンにシャンティイレース地を重ねたワンピース・ドレス。サテン地のリボン。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン	1954年	アイボリーの絹ファイユのストラップレス・ドレス。植物のモチーフをビーズ刺繍。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン、ストール、靴	1954年	淡い青地に濃い水玉模様のプリント、絹シフォンのストラップレス・ドレス。襟元にボー飾り。背面にバスル風形状の飾り。共布のストールと靴。
クリスチャン・ディオール	デイ・ドレス	1949年	黒のウール。厚みのある開襟カラー。ジャケットに飾りポケット。巻きスカート。
クリスチャン・ディオール	ディナー・ドレス「カラカス」	1953年	バラのプリント地の絹シフォンのツーピース・ドレス。裏地はピンクの絹オーガンザ。内側にはボーンの入ったチュール地とシフォンのホルセット。巻きスカート、シース型のアンダースカート付。
クリスチャン・ディオール	コート	1955年頃	グレーの絹ファイユ地。大きな襟と七分丈のラグラン・スリーヴ。後ろは大きくVの字に開きボウ飾り有り。両脇にポケット。背中中央にボックスプリーツ。裏地はグレーの絹。
クリスチャン・ディオール	カクテル・ドレス	1956年	茶の絹タフタ。ウエストにベルト。
クリスチャン・ディオール /イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス	1958年	銀の絹サテン、裏地は絹ゴーズ。七分丈のラグラン・スリーヴ。幅広の帯風のベルト。ボティスの内側にはチュール地のボーン入りホルセットとガーター。スカートにはチュール地の3段のベチコート。
クリスチャン・ディオール /マルク・ボアン	ディナー・ドレス	1961年	ピーコック・ブルーの絹。裏地は青の絹オーガンザ。七分丈スリーヴ。左右が不均等なボレロ風ジャケット。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1950～1951年	濃い青の絹タフタのカクテル・ドレスとジャケット。ドレスはホルター・ネック、前面にボタン、バルーンスカート。ジャケットは肩幅の狭いシルエット。ベルト付き。ビーズ付き濃紺の靴。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1961年	クリーム色のシフォン。トラペーズラインのドレス。
クリストバル・バレンシアガ	ケープ	1946年	黒の絹ファイユ地にホース・ヘアー、銀のスパンクル、人造宝石の刺繍。
クリストバル・バレンシアガ	ドレス	1949年	黒のウールに緑の絹タフタのワンピース・ドレス。
クリストバル・バレンシアガ	コート・ドレス	1958年	淡いグレーのモワレのコート・ドレス。マンダリンカラー。袖には金色に着色した木製釦。アンダースカート付。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒のシャンティイレースの「ベビー・ドール・ドレス」。黒の絹のスリッパ・ドレス。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒いバラのモチーフのある白いレース地のワンピース・ドレス「ベビー・ドール・ドレス」。絹シフォンのアンダードレス付。
クレア・マッカーディル	水着	1945年頃	黒色と白色のストライプのジャージー。
ザンドラ・ローズ	フード付きカフタン	1969年	黒、黄、緑で円状の模様がスクリーンプリントされたフード付きカフタン。
ジェームス・ガラノス	パンツ・スーツ	1970年	アイボリーのケミカル・レース。ジャケット、ベスト、ファスター付きフレア・ボトムのパンツ。

作家名	作品名	制作年	材質
シャルル=フレデリック・ウォルト	ボールガウン	1897年	アイボリーの絹サテン、ジゴ袖のツーピース・ドレス。金糸で刺繍の施されたベージュのラメ、ボディとスカートに稲妻と雲のデザイン。雲のデザインの薄い青色のトレーン。
ジャン=フィリップ・ウォルト	ウェディング・ドレス	1916年	さまざまな種類のブリュッセル・レースを組み合わせたドレス。
ジャンヌ・ランバン	イブニング・ドレス	1928年	黒の絹チュールのワンピース・ドレス。ボディとスカート上部に金銀のスパングルなどによる刺繍。
ジャンヌ・ランバン	ドレス	1936年	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。袖に白いフェルト地のアップリケ・ワーク。バイアスカット。
ジルベルト・エイドリアン	デイ・ドレス	1940年代	赤茶と緑の玉虫色のウール。肩パッド付きのジャケット。スリットのあるタイト・スカート。
スザンヌ・タルボット	イブニング・コート	1925年頃	黒い絹の菌型コート。椰子の葉と花々を刺繍したテキスタイル。黒の毛皮のトリミング。裏地は黒のベルベット。
ステーンブラザーズ	レセプション・ドレス	1900～1905年頃	黒いネット・レース、アイボリーの絹サテン、絹シフォン、絹タフタを重ねている。S字ライン。
ダゴベルト・ベッヒエ	カフタン	1919年頃	絹に色を濃淡にぼかした縞模様プリント「レインボー」。
ダゴベルト・ベッヒエ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ。
ダゴベルト・ベッヒエ	テーブルセンター	1919～1920年	絹。チュールにアップリケ。
チャールズ・ジェームス	ディナー・ドレス「スパイラルドレス」	1951年	ルビー・レッドの絹ファイユ。スカートにくるみ釦、ファスナー。
ニナ・リッチ	イブニング・ドレス	1948年	紺と白の絹。開襟カラー。両肩下にポケットのある短いマント風ジャケット。前面にくるみ釦。クリノリン型のスカート。チュール・ネットの下着付き。
ハーバート・レヴィン	靴「カブキ・シューズ」	1964年	青色ベルベット。木製ソールは金色にペイント。
バーバラ・フラニッキ―/ビバ	パンツ・スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテラード・ジャケット、ヒップ・ボーンフレアーパンツ。
バーバラ・フラニッキ―/ビバ	パンツ・スーツ	1970年頃	ト音記号をプリントしたウールと綿のニットでできた、テラードジャケット、ヒップボーンフレアーパンツ。
パコ・ラバンヌ	イブニング・ドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具でつなぎ合わせたミニ・ドレス。
ピエール・バルマン	イブニング・ドレス	1955年頃	黒の絹ベルベットと絹ファイユ地。後ろ身頃にファスナー、その上にくるみ釦飾り付き。チュール地とホースヘアを6段に重ねたオリジナルのベチコート付き。
ビバ	スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテラード・ジャケット、ヒップボーンフレアー・パンツ。
ベス・レヴィン	サンダル「ネイキッド・シューズ」	1960年代	革製サンダル。プラスチック製のシダのモチーフのデコレーション。
ポール・ポワレ	イブニング・ドレス	1913年	黄色の絹ゴーズとプリーツのあるグリーン地のシフォン。銀ブレードの縁飾り、バンド部分にベイズリー模様を銀糸やスパングルで刺繍。裏地はライム・グリーン地の絹シフォン。
ポール・ポワレ	ドレス	1920年代後半	シュミーズ風赤紫色の絹クレープ・デ・シンのワンピース・ドレスに、藤色と紫色のプリーツのあるオーバードレス。前身頃とウエストに、オリエンタル風モチーフを刺繍。
ポール・ポワレ	「ガーデン・パーティ・ドレス」	1911年	アイボリー色のオーガンジー。ボディとスカート裾に花弁の形をアップリケ、中央のバラはステンシルによるペイント。裏地の裾に黒色の絹ベルベット。
ポール・ポワレ	ドライブ用コート	1910年頃	アイボリー色のシャンタン絹地。Aライン、ラグランスリーブ、丸襟、骨のボタン。
ポール・ポワレ	デイ・ドレス	1925年	絹グログラン地に海辺のシーンをプリント。Vネックの襟元、ロウ・ウエスト。
ポール・ポワレ	デイ・ドレス「ブリトンヌ」	1921年	紺色のウール、青緑色のベルベット地、中国風の刺繍が施された長い袖、ボディの中央にフックファスナー、ウエスト前部にゴム。
ポール・ポワレ	カフタン・コート「イスファハン」	1908年	緑色の絹サテン、裏地には茶色の絹サテン、中東風の模様をゴールド・ギルド糸刺繍。袖の縁取りに使われた紐にはタッセル飾り付き。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「バイエル」	1928年頃	絹にプリント。ウエストに二つのポケット。黒の絹の縁。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「エロス」	1926年頃	絹にプリント。襟元にヒダ飾りのついたスクエアのネックライン。伸縮性のある袖口。2つのポケット。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「ゼレニカ」	1929年	絹にプリント。濃い青の絹で縁取られたウエストまで届くV字の襟。袖も青の絹で縁取り。
マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1920年頃	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。ボートネック、ラグラン・スリーブ、プリーツスカート。
マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1934年頃	赤緋色のクレープ。ワンピース・ドレス。バイアス・カット。
マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス、スリッパ、ストール	1938年	黒いチュール地に金色のぶどうのモチーフのワンピース・ドレス。サーキュラー・スカート。ホルター・ネック。黒い絹サテンのアンダー・ドレス付。黒いチュールのストール。
マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス	1938年	ドレスとアンダードレスの2ピース。ピンクのシルク・シフォン地のオーバードレス、シフォンと絹地のアンダー・ドレス。
マリア・モナチ・ガレンガ	ティーガウン	1910年代	赤茶色の絹ベルベット地、直線断ちのドレス、ロング・スリーブス、肩にヴェネツィアンビーズ。ドレスに鳥と植物模様、袖に幾何学模様が金でステンシルワーク。
マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ・ワーク。
マリアノ・フォルチュニ	コート	1912年以降	深緑と錆赤のベルベットにピンクと金色でプリント。金でルネサンス風文様がプリントされた錆赤のベルベットでトリミング。錆赤のロングタイ。絹のライニング。
マリアノ・フォルチュニ	チュニック「タバード」	1910年代	透けた黒の絹ゴーズ。金色のステンシル・ワーク。脇、裾にトンボ玉付き。

作家名	作品名	制作年	材質
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	白の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。ベージュと赤銅色の飾りヒモ付き。
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	赤の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。
メンバーシェ	イブニング・ドレス	1940年	黒の絹クレープ。背中に深いVカット。ラグラン・スリーヴ。
リバティ商会	コート		青色の絹ベルベット。ライニングは絹のシルバー・ラメ。フロントにくるみボタン、襟に絹製の紐、裾に長いタッスル飾り。
リバティ商会	ティーガウン	1908年	ブルーグレーのクレープ。茶がかったグレーの絹シフォンでトリミング。襟に中国風刺繍。
リバティ商会	バッグ	1910年代	異国風のモチーフのニードルワーク、緑色の絹地のライニング。
ルディ・ガーンライヒ	ミニ・ドレス、ビキニス、ブーツ	1967年	ピンクのウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガーンライヒ	ミニ・ドレス、ビキニス、ブーツ	1967年	ライム・グリーンとブルーのウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガーンライヒ	パンツ・スーツ	1960年代後半	ライム・グリーンとブルーのジグザグパターンのウール。ボタン付きベルト。
ルディ・ガーンライヒ	水着「モノキニ」	1964年	ヘリングボーンパターンのウール、綿、ラバーの混紡。
レドファン	コート	1920年代	金糸を織り込んだ黒い絹。シダ植物と花の模様交差するパターン。襟元と袖に毛皮。袖はカフタン風。裏地はベージュの絹ベルベット。
作者不詳	ペーパー・ドレス「スーパードレス」	1966年頃	「キャンベル・スーパ・カン」のプリントを施したセルロースと綿の不織布。
作者不詳	ビーチ・ウェア	1910～1920年代	白色の絹ボンジー。袖無しのボディス、パンツ。
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。
作者不詳	女性用乗馬服	1888年頃	ダーク・グリーンとブルーのウール。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
作者不詳	女性用乗馬服	1890年頃	グレーのツイード。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1910年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
作者不詳	女性用乗馬服	1920年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
作者不詳	女性用乗馬服	1930年代後半	青色のウール。ジャケット、ジョッパーズのパンツ。
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1900年頃	紺色のウール。ジャケット、ブルマー、カラー。ルースなブラウス風のボディス、セーラー・カラー、カフス付の長い袖、隠れた釦ファスナー。
作者不詳	水浴着	1905～1910年頃	濃紺のウール。上着、ブルマー、スカート。
作者不詳	水着	1920年頃	青色と赤色のストライプのウールニット。右肩に釦ファスナー。
作者不詳	プレイスーツ	1920年代初頭	綿にプリント。ジャケット、パンツ。
作者不詳	水着	1920年代	青、黒、白のストライプのウールのニット。
作者不詳	テニス・ウェア	1926年頃	白色綿。Vネック、ノースリーブ、肩2本ダーツ。
作者不詳	スキー・スーツ	1940年代	ウールとナイロンの混紡のジャンプスーツ。
作者不詳	ネックレス	1920年頃	ピンク、緑、銀色のストライプと小花模様のビーズ・ワーク。両端にタッスルの飾り。
作者不詳	イブニング用シューズ	1920年頃	花のモチーフを銀糸をつかいブロケード織り。
作者不詳	海水浴用シューズ	1920年頃	セージ・グリーンと黒のゴム製。銀色にペイントされた羽根模様。
作者不詳	プレスレット	1930年頃	銀。
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。
作者不詳	女兒用ワンピース・ドレス	1880年頃	青色綿のサマー・ドレス。全体に白糸のミシン刺しゅうと手刺しゅう。レースの飾り。両脇に大きな飾りポケット。背中に貝ボタンの装飾。
作者不詳	女兒用ワンピース・ドレス	1880年頃	小花模様を織り込んだベージュ色の絹のワンピース・ドレス。前身頃に細かな装飾。襟とスカートにスカラップ(ホタテ貝の貝殻)型の縁飾り。後方に大きなボウ飾り。
作者不詳	女兒用ワンピース・ドレス	明治23年(1890)頃	クリーム色の絹のワンピース・ドレス。高い位置にウエストライン。大きくふくらんだ袖。全体にレースの差し込みと刺しゅうの装飾。付属品としてドレスと共布の薄手の絹と、グログラン(横紋のある平織地)の絹の帽子。
作者不詳	女兒用サマー・ドレス	明治13～23年(1880～1890)頃	赤色と白色の細かいチェック地の綿サマー・ドレス。ピンタックのある白色綿ブラウスと合わせて着用。襟、袖、スカート裾に白糸で手刺しゅう。

テキスタイル

作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(cm)
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 46点	1912～1928年		
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1913年頃	ステンシル、絹ベルベット	290.0×307.0
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1920年頃	ステンシル、絹ベルベット	356.0×356.0
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 14点	1922～1930年代		
ダゴベルト・ベッヒェ	「ウンダーバウム」	1911～16年	プリント、絹	90.0×70.0
フェリス・リックス＝ウエノ	「クレムリン」	1929年	プリント、絹	74.0×94.0

テキスタイル・デザイン

作家名	作品名	制作年	技法、素材
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 68点	1912～1928年	水彩、紙
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン 74点	1922～1930年代	水彩、紙

ファッション雑誌、書籍

書名	出版年	サイズ(cm)	備考
『20世紀現代産業装飾芸術百科事典』	1925年	各28.3×23.2	全12冊
『フェミナ』	1904～34年	各35.0×28.2	88冊、欠号あり
『レ・モード』	1901～13年	各35.5×27.0	1～156号合本
『アール・グー・ボーテ』	1922～33年	各31.4×24.0	40冊、欠号あり
『婦人グラフ』	1924～28年	各32.8×24.4	25冊、欠号あり

平成29年度 新収蔵作品一覧

購入

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
1	服飾	作者不詳	女兒用コート・ドレス	明治13年(1880)頃	赤色の絹グログランのコート・ドレス。ピンク色の絹ファイユの胸当て。セーラー・カラーと大きな飾りポケットの装飾。七宝のボタン。フランス製。“Au Printemps Paris”とラベルあり。	
2	服飾	作者不詳	男児服	明治10～23年(1870年代後半～1880年代)	青色のウールのジャケット。飾りボタンの装飾。赤いシルクのライニング。フランス製。“AU LOUVRE PARIS RAYON 53”とラベルあり。	

寄贈

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
1	版画	殿敷 侃	不明(ノコ)	不詳	アクアチント、紙 ED: 1/30	14.5×24.4
2	版画	殿敷 侃	不明(釣針)	不詳	アクアチント、紙 ED: 19/40	4.2×4.4
3	版画	殿敷 侃	クシ	不詳	アクアチント、紙 ED: 8/20	4.8×8.8
4	版画	殿敷 侃	不明(くし(長柄))	不詳	アクアチント、紙 ED: 42/45	19.2×14.2
5	版画	殿敷 侃	不明(新聞)	昭和56年(1981)頃	シルクスクリーン、新聞紙	163.2×81.3×3.0
6	版画	殿敷 侃	新聞	昭和56年(1981)	シルクスクリーン、新聞紙	163.3×81.2×3.0

所蔵作品貸出実績

展覧会名、会場、会期	作家名、作品名
「没後70年 北野恒富展」 あべのハルカス美術館 平成29年6月6日～7月17日 千葉市美術館 平成29年11月3日～12月17日	北野恒富《狂女》 北野恒富《むすめ》 北野以悦《春》 不二木阿古《爽朝》
「椿貞夫 歿後60年記念 師・劉生、そして家族とともに」 千葉市美術館 平成29年6月7日～7月30日	椿貞夫《冬瓜南瓜図》
世界遺産登録10周年記念「石見銀山展—銀が世界を変えた—」 島根県立古代出雲歴史博物館 平成29年7月14日～9月3日	《舞踊図屏風》 《遊楽美人図》 《武蔵野図屏風》
富山県美術館開館記念展 Part1 「生命と美の物語 LIFE—楽園をもとめて」 富山県美術館 平成29年8月26日～11月5日	菊池隆志《室内》 橋本明治《蓮を聴く》 ガブリエル・フォン・マックス《聖女マリア・テレゼ・モールの死》

入館者数一覧・パスポート会員数一覧

1. 入場者数

	グラントワ入場者数	美術館			美術館合計	ホール			ホール合計
		企画展	コレクション展	その他		大ホール	小ホール	その他	
4月	27,594	1,045	1,228	0	2,273	3,686	1,118	2,071	6,875
5月	28,105	2,881	2,729	22	5,632	3,475	1,645	4,275	9,395
6月	30,023	2,741	2,747	0	5,488	3,778	2,367	2,944	9,089
7月	27,547	0	1,087	36	1,123	4,643	3,059	2,665	10,367
8月	44,376	2,593	2,478	15	5,086	8,041	3,575	6,383	17,999
9月	33,557	3,090	3,456	0	6,546	2,618	2,281	4,868	9,767
10月	48,278	8,539	7,824	64	16,427	6,343	3,737	16,763	26,843
11月	23,907	2,752	2,706	152	5,610	1,354	2,295	5,566	9,215
12月	26,233	2,454	2,115	44	4,613	4,882	3,774	2,989	11,645
1月	21,763	3,438	2,902	26	6,366	4,188	1,993	1,623	7,804
2月	24,465	978	1,420	1,429	3,827	5,748	1,314	2,861	9,923
3月	23,567	0	901	914	1,815	2,358	1,578	2,062	5,998
合計	359,415	30,511	31,593	2,702	64,806	51,114	28,736	55,070	134,920

2. 観覧者数

	企画展							
	前売券	当日券				ミュージアムパスポート	招待券	小計
		個人	割引券	団体・割引	無料券			
4月	102	139	44	48	77	387	248	1,045
5月	151	467	124	183	504	940	512	2,881
6月	107	334	122	141	568	760	709	2,741
7月	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	113	553	32	268	172	849	606	2,593
9月	117	244	19	182	513	792	1,223	3,090
10月	219	666	67	567	4,878	1,134	1,008	8,539
11月	119	487	36	341	275	566	928	2,752
12月	117	337	103	287	319	788	503	2,454
1月	214	592	208	470	353	798	803	3,438
2月	26	135	62	129	102	206	318	978
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,285	3,954	817	2,616	7,761	7,220	6,858	30,511

	コレクション展							
	前売券	当日券				ミュージアムパスポート	招待券	小計
		別納券	個人	団体・割引	無料券			
4月	102	2	218	118	96	433	259	1,228
5月	151	10	380	232	504	940	512	2,729
6月	107	0	370	220	573	768	709	2,747
7月	0	1	321	82	509	116	58	1,087
8月	113	0	448	273	174	863	607	2,478
9月	117	0	269	171	763	862	1,274	3,456
10月	219	6	304	275	4,878	1,134	1,008	7,824
11月	119	25	286	229	390	697	960	2,706
12月	117	0	189	195	319	798	497	2,115
1月	214	0	365	365	353	798	807	2,902
2月	26	0	160	119	140	642	333	1,420
3月	0	0	235	89	72	454	51	901
合計	1,285	44	3,545	2,368	8,771	8,505	7,075	31,593

3. 企画展観覧者数

名称	会期	日数	観覧者数
キャプテン・クック探検航海と『バンクス花譜集』展	平成29年4月22日～6月26日	58	6,667
没後70年 北野恒富展 妖艶・秀麗、はんなりー美人画の革新	平成29年8月5日～9月18日	40	5,305
石見の戦国武将ー戦乱と交易の中世ー	平成29年9月30日～11月13日	40	11,669
エドワード・ゴッリーの優雅な秘密	平成29年12月2日～30年2月5日	53	6,870
合計			30,511

4. パスポート会員数一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1,286	1,283	1,253	1,231	1,214	1,214	1,199	1,184	1,194	1,183	1,166	1,155

収支概要

■収支概要

(1) 支出予算	単位：千円
センター運営費	21,521
指定管理委託料	330,114
展覧会事業費	47,184
企画展示費	41,392
常設展示費	1,756
特別コレクション展示費	4,036
教育普及費	1,184
教育普及(誘客促進)費	586
調査研究費	1,769
情報提供事業費	896
美術品保存修復事業費	977
美術品収集事業	1,470
センター利用促進事業費	1,000
合 計	406,701

※2月補正額

(2) 収入実績	単位：千円
企画展	7,561
常設展	1,182
パスポート	2,996
目的外使用料	5,143
合 計	16,882

※図録販売収入など雑入は含まず

島根県芸術文化センター条例をここに公布する。

島根県芸術文化センター条例

(趣旨)

第1条 この条例は、島根県芸術文化センターの設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 多様で質の高い美術、音楽、演劇その他の芸術文化の鑑賞及び創造の機会を提供し、もって芸術文化の振興及び県民生活の向上を図るため、島根県芸術文化センター（以下「センター」という。）を益田市に設置する。

2 センターは、次に掲げる施設をもって構成する。

- (1) 島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）
- (2) 島根県立いわみ芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する教育及び普及並びに調査研究に関すること。
- (3) センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）で別表第1に掲げるもの（以下「有料施設等」という。）を一般の利用に供すること。
- (4) 音楽、演劇その他の鑑賞を目的とした事業に関すること。
- (5) 芸術文化に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的を達成するために必要な業務に関すること。

(職員)

第4条 センターに、センター長その他の職員を置く。

(指定管理者による管理)

第5条 センターの管理は、法人その他の団体であって、知事及び教育委員会（以下「知事等」という。）が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 有料施設等の利用の許可に関する業務
- (2) 美術館の観覧料の徴収に関する業務
- (3) 施設等の維持管理に関する業務
- (4) センターを利用した第3条第4号及び第5号の業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する事務のうち、知事等が必要と認める業務

(指定管理者の指定の申請等)

第7条 知事等は、指定管理者を指定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、公募するものとする。

2 第5条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他規則及び教育委員会規則（以下「規則等」という。）で定める書類を添付して、知事等が定める期日までに知事等に提出しなければならない。

(指定管理者の指定)

第8条 知事等は、次の各号に掲げる基準をいずれも満たすもののうち、センターの管理を行わせるのに最も適した団体を候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書の内容が、住民の平等な利用が図られるものであること及びサービスの向上が図られるものであること。
- (2) 事業計画書の内容が、複合施設としてのセンターの効用を最大限に発揮させるものであること。
- (3) 事業計画書の内容が、施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること及び管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) 当該団体が、事業計画書に沿った管理を安定して行う財政的基礎及び人的能力を有するものであること。

(事業報告書の作成及び提出)

第9条 指定管理者は、規則等で定める日までに、センターの管理の業務に関し、規則等で定める内容を記載した事業報告書を作成し、知事等に提出しなければならない。

(業務報告の聴取等)

第10条 知事又は教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対し、その管理の業務又は経理の状況に関し定期に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第11条 指定管理者が前条の指示に従わないとき、その他指定管理者の責めに帰すべき事由により当該指定管理者による管理を継続することができないと認めるときは、知事等はその指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部の停止を命じ、又は知事若しくは教育委員会は期間を定めて管理の業務の一部の停止を命ずることができる。

- 2 前項の規定により指定管理者の指定が取り消され新たな指定管理者がセンターの管理を行うまでの期間又は指定管理者が管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられた期間におけるセンターの管理は、必要に応じて知事又は教育委員会が行うものとする。この場合において、次条から第18条まで、第23条及び第24条の規定中指定管理者の権限とされているものについては、知事又は教育委員会の権限とする。
- 3 第1項の規定により指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じて、知事等は其の賠償の責めを負わない。

(開館時間等)

第12条 センターの開館時間は、午前9時から午後10時までとする。

2 センターの利用時間は、次の各号に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定めるところによる。

- (1) 美術館 午前9時から午後5時30分まで
- (2) 芸術劇場 午前9時から午後10時まで

3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、開館時間又は利用時間を変更することができる。

(休館日)

第13条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、これを変更することができる。

- (1) 毎月第2火曜日及び第4火曜日（美術館にあっては、毎週火曜日）
- (2) 12月30日から翌年の1月3日まで

2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日当たるときは、その翌日以降の最初の休日でない日を休館日とする。

(平17条例39・一部改正)

(利用の許可等)

第14条 有料施設等を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 指定管理者は、有料施設等の利用の目的、方法等が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないものとする。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。
- (2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の財産上の利益になるおそれがあると認められるとき。
- (3) 長期間にわたる継続利用により他の利用を妨げるおそれがあると認められるとき。
- (4) センターの施設又は設備を損壊するおそれがあると認められるとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの管理に支障があると認められるとき又は規則で定める事由に該当すると認められるとき。

3 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

(許可の取消し等)

第15条 指定管理者は、前条第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）が、次の各号のいずれかに該当するときは、又は天災地変その他センターの管理上特に必要があるときは、許可を取り消し、同条第3項の規定により許可に付した条件を変更し、又は利用の中止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則等の規定に違反したとき。
- (2) 前条第3項の規定により許可に付した条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。

(利用料金)

第16条 利用者は、有料施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に支払わなければならない。

2 利用料金は、指定管理者が認めた場合を除き、第14条第1項の許可をするときに徴収する。

3 利用料金は、指定管理者にその収入として収受させる。

4 利用料金は、別表第1に掲げる基準額に0.8を乗じて得た額から当該基準額に1.2を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。

(利用料金の減免)

第17条 指定管理者は、公益上特に必要があると認めるときは、利用料金を減免することができる。

(利用料金の不還付)

第18条 既に納入された利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 利用者が、その責めに帰することができない理由により有料施設等を利用することができなくなったとき。
- (2) 指定管理者が、センターの管理上特に必要があるため第15条の規定により利用の許可を取り消したとき。
- (3) 利用者が、利用開始の前日までに指定管理者が定める日までに利用の中止を申し出たとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第19条 利用者は、有料施設等の利用の権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(観覧料)

第20条 美術館に展示する美術品等を観覧しようとする者（次に掲げる者を除く。）は、別表第2又は別表第3に定める観覧料を納付しなければならない。

- (1) 未就学児
- (2) 常設展（常設展示室における展示をいう。以下同じ。）を観覧しようとする小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生

徒並びにこれらに準ずる者

(観覧料の減免)

第21条 教育委員会は、公益上特に必要があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料の不還付)

第22条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(指定管理者の指示)

第23条 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、センターを利用する者に対し、当該利用する者が遵守すべき事項に関し必要な指示をすることができる。

(入館の制限)

第24条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、センターへの入館を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊するおそれがある者
- (2) 他人に危害を加え、又は迷惑になる行為をする者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、センターの管理上支障があると認められる者

(損害賠償)

第25条 指定管理者又はセンターを利用する者は、故意又は過失により、センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊し、又は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(秘密保持義務)

第26条 指定管理者若しくは指定管理者であったもの又は第6条の業務に従事している者若しくは従事していた者は、その業務に関して知り得た管理上の秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

(原状回復義務)

第27条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は第11条第1項の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定め管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理をしなくなった施設等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事又は教育委員会の承認を受けたときは、この限りでない。

2 利用者は、有料施設等の利用が終わったとき、又は第15条の規定により許可を取り消され、若しくは利用の中止を命ぜられたときは、その利用した有料施設等を原状に復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。

(センター協議会)

第28条 センターにセンター協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、センターの運営に関しセンター長の諮問に応ずるとともに、センター長に対して意見を述べる機関とする。

3 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第29条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則等で定める。

(罰則)

第30条 知事は、詐欺その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科することができる。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。ただし、次項及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

2 第8条に規定する指定及びこれに関し必要なその他の行為は、この条例の施行前においても第7条の規定の例により行うことができる。

3 センターの供用開始の日以後の利用に係る有料施設等の利用の許可に関し必要な準備行為は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前においても行うことができる。

(供用開始)

4 センターは、知事が別に定める日から供用を開始する。

(知事が別に定める日＝平成17年10月8日)

(経過措置)

5 施行日から前項に規定する供用を開始する日までの間は、第12条、第13条及び第28条の規定は、適用しない。

附 則（平成17年条例第39号）

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

ただし、第2条の規定は、公布の日から施行する。

附 則（平成26年条例第1号）抄

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

別表第1（第3条関係）
（平26条例1・一部改正）

1 施設の基準額

(1) 大ホール等

区分			基準額					
			午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後10時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後10時まで	午前9時から 午後10時まで
大ホール	1階席 及び 2階席	平日	円 31,510	円 42,020	円 52,520	円 63,040	円 84,050	円 105,060
		土、日曜日 及び休日	37,810	50,430	63,030	75,640	100,860	126,080
	1階席	平日	21,010	28,010	35,020	42,020	56,030	70,040
		土、日曜日 及び休日	25,210	33,610	42,020	50,430	67,230	84,050
小ホール	平日	8,400	11,200	14,000	16,800	22,410	28,010	
	土、日曜日 及び休日	10,080	13,430	16,800	20,160	26,880	33,610	
スタジオ1			4,750	6,330	7,920	9,500	12,670	15,850
スタジオ2			970	1,300	1,630	1,950	2,610	3,270
大ホール大楽屋1			2,120	2,830	3,550	4,260	5,680	7,110
大ホール大楽屋2			2,120	2,830	3,550	4,260	5,680	7,110
大ホール中楽屋1			850	1,140	1,420	1,700	2,280	2,850
大ホール中楽屋2			850	1,140	1,420	1,700	2,280	2,850
大ホール中楽屋3			850	1,140	1,420	1,700	2,280	2,850
大ホール中楽屋4			850	1,140	1,420	1,700	2,280	2,850
大ホール小楽屋1			590	800	990	1,200	1,600	2,000
大ホール小楽屋2			590	800	990	1,200	1,600	2,000
小ホール中楽屋1			780	1,030	1,300	1,560	2,080	2,610
小ホール中楽屋2			780	1,030	1,300	1,560	2,080	2,610
小ホール小楽屋1			590	800	990	1,200	1,600	2,000
小ホール小楽屋2			590	800	990	1,200	1,600	2,000
多目的ギャラリー			3,930	5,250	6,570	7,880	10,510	13,140

備考

- 1 入場料その他これに類する料金（以下「入場料」という。）を徴収して大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に、次に掲げる入場料の額（入場料の額に2以上の区分があるときは、そのうちの最高額）の区分に応じた額を加算した額とする。
 - ア 3,000円以下のもの 10割相当額（徴収する入場料の額が1,000円以下で、かつ、営利を目的としない場合にあつては、5割相当額）
 - イ 3,000円を超え、5,000円以下のもの 15割相当額
 - ウ 5,000円を超えるもの 20割相当額
- 2 入場料を徴収しないが営利を目的として、大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に10割相当額を加算した額とし、入場料を徴収し、又は入場料を徴収しないが営利を目的としてスタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 3 楽屋を他の用途に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 4 この表に定める利用時間を超えて利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（前3号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）に、1時間までごとに、当該基準額の1時間当たりの額を加算した額とする。
- 5 大ホール、小ホール、スタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを準備のために利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（備考第1号若しくは第2号又は前号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の5割相当額とする。
- 6 冷暖房期間（11月1日から翌年の3月31日まで及び6月1日から9月30日までの間をいう。）において冷暖房料を徴収する場合の基準額は、この表に定める基準額（前各号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の3割相当額とする。
- 7 休日とは、国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう（（2）の表において同じ。）。
- 8 備考第1号から第6号までにおいて算出した額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

(2) その他

区分	単位	基準額
屋外施設	1平方メートルにつき1日までごと	7円

備考

- 「屋外施設」とは、前庭広場、中庭広場及び駐車場をいう。
- 屋外施設は、知事が定める用途に限り、利用することができる。
- 屋外施設を日曜日、土曜日又は休日に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に2割相当額を加算した額とする。
- 「1日」とは、午前9時から午後10時までをいう。

2 設備の基準額

種別	単位	基準額
舞台大道具及び小道具	1回1点につき	知事が定める額
舞台関係設備	1回1点につき	知事が定める額
音響関係設備	1回1点につき	知事が定める額
楽器	1回1点につき	知事が定める額
映写機	1回1点につき	知事が定める額
その他設備器具	1回1点につき	知事が定める額

備考 「1回」とは、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで又は午後6時から午後10時までのそれぞれの時間帯における利用をいう。

別表第2 (第20条関係)

区分		観覧料の額 (1人1回につき)	
		個人の場合	団体 (20人以上の場合をいう。) の場合その他教育委員会規則で定める割引制度に該当する場合
常設展	大学の学生又はこれに準ずる者	200円	160円
	その他の者	300円	240円
企画展		その都度教育委員会が定める額	

備考

- 「企画展」とは、常設展以外の展示で特別の企画に基づくものをいう。
- 常設展と企画展とを同日中に観覧しようとする者の常設展の観覧料の額は、この表に定める額の5割相当額とする。

別表第3 (第20条関係)

区分	年間観覧料 (同一人が1年間に常設展又は企画展を観覧する場合の観覧料) の額
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	1,500円以内で教育委員会が定める額
大学の学生又はこれに準ずる者	3,000円以内で教育委員会が定める額
その他の者	5,000円以内で教育委員会が定める額

島根県立石見美術館管理規則

平成16年11月5日
島根県教育委員会規則第29号島根県立石見美術館管理規則をここに公布する。
島根県立石見美術館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、島根県芸術文化センター条例（平成16年島根県条例第51号。以下「条例」という。）第29条に基づき、島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者の申請に関する書類)

第2条 条例第7条第2項の申請書は、指定管理者指定申請書（様式第1号）によらなければならない。

2 条例第7条第2項の教育委員会規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款、寄附行為、規約その他これらに準ずる書類
- (2) 法人にあっては、当該法人の登記事項証明書
- (3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の事業計画書及び収支予算書並びに過去2年間の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録又はこれらに準ずる書類
- (4) 役員の名簿及び略歴を記載した書類
- (5) 団体の概要を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める書類（平17教委規則14・一部改正）

(事業報告書の内容等)

第3条 条例第9条の規則等で定める日は、毎会計年度終了後60日とする。ただし、条例第11条第1項の規定により指定管理者の指定を取消された場合は、その取消の日から60日とし、その報告の対象となる期間は当該取消の前日までとする。

2 条例第9条の規則等で定める内容は、次のとおりとする。

- (1) 美術館の管理の体制
- (2) 美術館の管理業務の実施状況及び使用の実績
- (3) 美術館の管理に要した経費の収支状況
- (4) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し委員会が必要と認める事項

(観覧料の納付)

第4条 観覧料は、前納とする。ただし、委員会が特に認めた場合は、後納とすることができる。

(年間観覧券)

第5条 年間観覧料を支払った者に対しては、年間観覧券を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券を交付した日から起算して1年間とする。

2 年間観覧券の使用は、同一人に限るものとする。

(観覧料の減免)

第6条 次の各号に掲げる者（条例別表第2個人の場合の欄に該当する場合に限る。）が、美術館の展示する美術品及び美術に関する資料を観覧しようとするときは、条例第21条の規定により、条例別表第2個人の場合の欄に定める額（以下この項において「観覧料の額」という。）から当該各号に定める額を減免することができる。

- (1) 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者で、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する者 観覧料の全額
- (2) 前号に掲げる者を引率する教職員 観覧料の額の全額
- (3) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の身体障害者手帳、療養手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害者と判定された者に対して交付される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（以下次項において「障害者」という。） 観覧料の額の全額
- (4) 障害者の付添人（原則として障害者の人数と同じ人数までに限る。） 観覧料の額の全額
- (5) 前各号に掲げるもののほか、委員会が特別の理由があると認める者 委員会が別に定める額

2 前項の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書（様式第2号）を提出し、委員会の承認を受けなければならない。ただし、前項第3号及び第4号に規定する者については、この限りでない。

(観覧料の割引制度)

第7条 条例別表第2に規定する教育委員会規則で定める割引制度は、次に掲げる事項とする。

- (1) 他の観光施設等の管理者等と共同で発行する共通割引券を利用して観覧する場合
- (2) 別に定める者が運営する交通機関を利用する者が、別に定める乗車券等を提示して観覧する場合
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の利用を促進するものとして特に必要と認める場合

(センター協議会)

第8条 センター協議会に関し必要な事項は、別に定める。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年教委規則第14号）

この規則は、公布の日から施行する。

様式第1号（第2条関係）

指定管理者指定申請書

年 月 日

様

所在地

申請者 名称

代表者氏名

印

島根県芸術文化センターの指定管理者について指定を受けたいので、島根県芸術文化センター条例第7条第2項の規定に基づき下記のとおり申請します。

記

団体名			
代表者職・氏名			
主たる事務所の所在地			
設立年月日	年 月 日	構成員の 人数	人
資本金			円
提携団体（他団体と連携して管理を行う場合に記入すること。）			

島根県立石見美術館観覧料減免申請書

年 月 日

様

住所〒

（団体にあっては、主たる事務所の所在地）

申請者 氏名

（団体にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号

（自宅及び勤務先）

下記のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。

記

観覧期日	年 月 日（ ）曜日		
展覧会名			
減免を申請する理由	<input type="checkbox"/> 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者が、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する場合 <input type="checkbox"/> 上記の者を教職員が引率する場合 <input type="checkbox"/> その他の場合 （ ）		
区分	正規の観覧料	※ 減免率	※ 減免後の観覧料
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	円× 人＝ 円	%	円
上記を引率する教職員	円× 人＝ 円	%	円
その他の者	円× 人＝ 円	%	円
合計	円		円

（注） ※印欄は、記載しないでください。

施設概要

■島根県芸術文化センター（島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場）

[所在地] 島根県益田市有明町5番15号
 [設計期間] 2001年4月～2002年7月
 [工事期間] 2002年11月～2005年3月

[設計] 内藤廣建築設計事務所
 [構造設計] 空間工学研究所
 [設備設計] 明野設備研究所
 [コンサルタント]

- 設計協力：江角彰宣・みずほ設計
- 舞台機構：シアターワークショップ
- 舞台照明：シアターワークショップ
- 舞台音響：唐澤誠建築音響設計事務所
- サイン：矢萩喜從郎
- 共同監理：島根県益田土木建築事務所

[敷地面積] 36,564.16㎡
 [建築面積] 14,068.15㎡
 [延床面積] 19,252.45㎡
 1階：13,313.01㎡、2階：2,893.78㎡
 地下1階：3,045.66㎡
 [建蔽率] 38.4%（許容：60%）
 [容積率] 52.6%（許容：200%）
 [用途] 美術館・劇場
 [規模] 地上2階 地下1階
 [最高高さ] 32.24m
 [構造] RC造、一部PC、S造

[設備]

- 空調設備、空調方式
 ホール・美術館：単一ダクト方式
 事務・ホール楽屋：ファンコイルユニット、単一ダクト方式
 レストラン・ホール調整室：空冷パッケージ、全熱交換器方式
- 熱源
 冷熱源：吸収式冷温水機、ブライン冷凍機（氷蓄熱・追掛）、
 空冷ヒートポンプチラー方式
 氷製氷時は深夜電力利用（蓄熱製氷方式・ダイナミック型）
 温熱源：吸収式冷温水機、空冷ヒートポンプチラー方式、
 ボイラー方式
- 衛生設備
 給水：受水槽、加圧給水ポンプ方式
 給湯：楽屋・レストラン厨房＝中央式（ガス給湯器）、
 その他：局所式（電気温水器）
 排水：建物内＝汚・雑排水合流方式
 建物外＝合併浄化槽方式（放流水BOD 20mg/L以下）
- 電気設備
 受電方式：高圧3相3線6.6KV 1回線
 設備容量：6250kVA
 契約電力：1500kVA
 予備電源：高圧ガスタービン発電機 750kVA
- 防災設備
 消火設備：全館スプリンクラー設備
 （ホール舞台部：開放型、その他：閉鎖型）
 美術館展示室・収蔵庫＝ハロゲン化物消火設備
 （ハロンバンク登録）
 補助散水栓
 排煙：自然排煙、機械式排煙
 その他：自動火災報知設備、非常放送設備、誘導灯設備、
 非常用照明
 昇降機：乗用エレベーター、荷物用エレベーター
 特殊設備：水景設備（中庭）＝オーバーフロー循環方式・
 砂濾過方式

[施工]

- 建築：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 空調：新菱冷熱・電設サービス・技研設備特別共同企業体
- 衛生：新日本空調・吉村設備・角田工業特別共同企業体
- 強電：中電工・北陽・山代特別共同企業体
- 弱電：栗原工業
- 舞台機構：森平舞台機構
- 舞台照明：丸茂電機
- 舞台音響：ヤマハサウンドテック
- 非常用発電：東芝
- エレベーター：東芝エレベーター
- 浄化槽：アルファプランニングワーク
- 外構：大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 植栽：田部、大畑建設
- アスファルト舗装：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 屋根・外壁石州瓦：
 施工＝益田窯業
 製造＝益田窯業、木村窯業、シバオ
 瓦ファスニングシステム（外壁石州瓦取付）
 ＝シマムラ
- 外壁タイル：
 施工＝協和タイル
 製造＝株式会社 スカラ
- 特殊照明：ヤマギワ

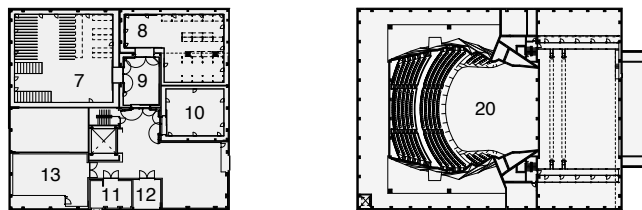
〔諸室面積一覧〕

石見美術館	
●展示前室	255.2㎡
●展示室A	388.8㎡
●展示室B	202.5㎡
●展示室C	307.8㎡
●展示室D	1091.5㎡
●美術館ロビー	498.2㎡
●搬入荷解スペース(展示倉庫含む)	282.5㎡
●美術館搬入口	178.6㎡
●収蔵庫1	290.3㎡
●収蔵庫2	189.0㎡
●収蔵庫前室	61.1㎡
●一時保管庫	101.2㎡
●修復室	35.6㎡
●隔離室	22.8㎡
●写真室	99.8㎡
●学芸員室	61.8㎡
●研究資料室	47.7㎡
共用・管理部門	
●応接室	43.0㎡
●センター長室	22.9㎡
●副センター長室	22.9㎡
●ホール館長室	22.9㎡
●事務室	170.2㎡
●講義室	102.1㎡
●ボランティア室	43.4㎡
●アテンダント控室	20.2㎡
●救護室	7.4㎡
●授乳室	10.3㎡
●AV機械室	23.6㎡
●中央監視室	47.3㎡
●清掃員室	16.8㎡
●回廊	1358.3㎡
●中庭広場	2079.3㎡
●美術館中庭	170.5㎡
●事務中庭	220.5㎡
●多目的ギャラリー	182.4㎡
●ミュージアムショップ	89.0㎡
●レストラン	182.6㎡

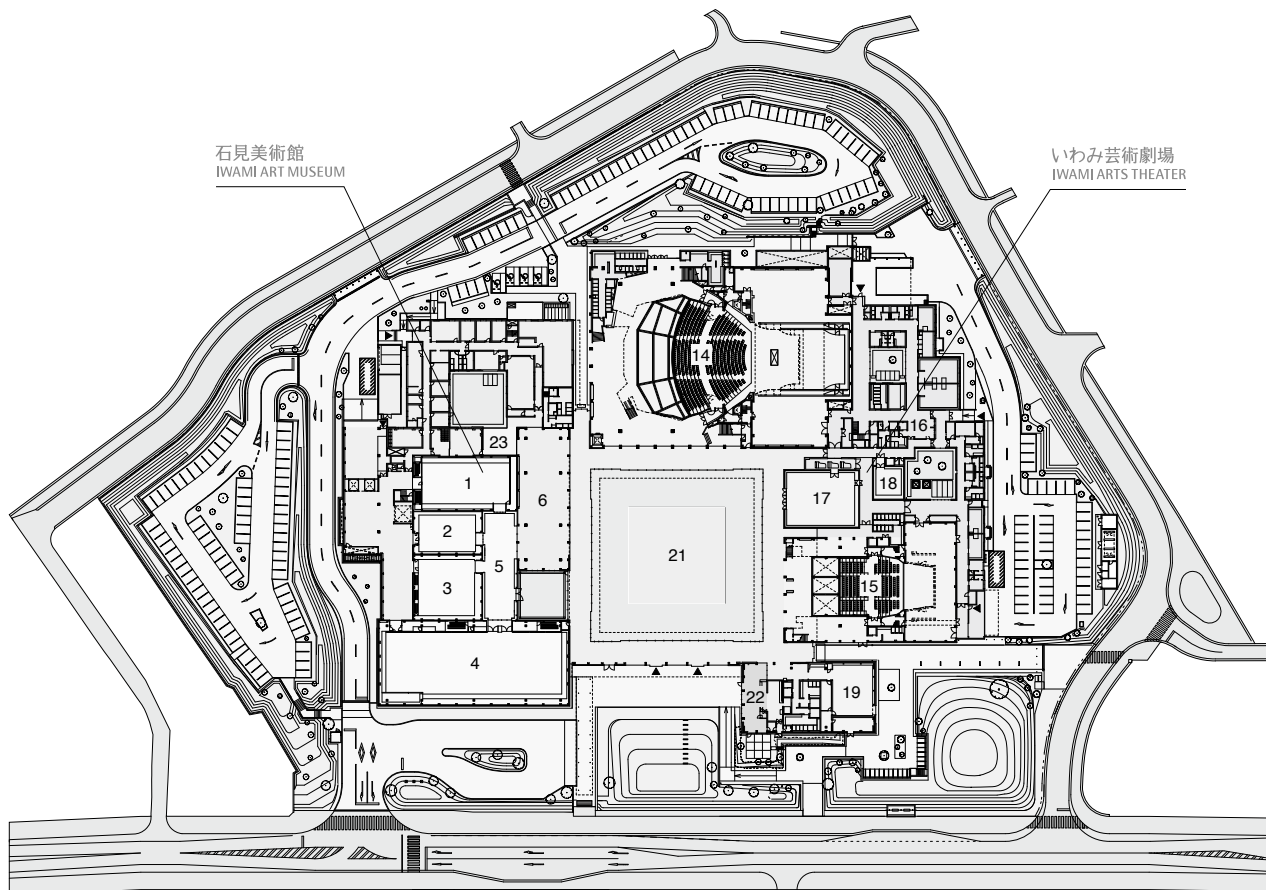
いわみ芸術劇場	
大ホール	
●ホワイエ 1F/2F	1436.5㎡
●客席 1F/2F	1153.3㎡
●舞台	1965.3㎡
●親子室	15.1㎡
●要約筆記室	14.7㎡
●調光操作室	29.8㎡
●音響調整室	24.4㎡
●奈落	138.7㎡
●オーケストラピット	89.9㎡
●客席ワゴン収納庫	197.7㎡
●小楽屋1	19.6㎡
●小楽屋2	19.6㎡
●中楽屋1	31.0㎡
●中楽屋2	30.9㎡
●中楽屋3	32.0㎡
●中楽屋4	32.0㎡
●大楽屋1	73.4㎡
●大楽屋2	74.0㎡
●楽屋サロン	106.7㎡
●主催者控室	10.3㎡
●楽屋中庭	86.6㎡
小ホール	
●ホワイエ 1F/2F	478.4㎡
●客席	394.6㎡
●舞台	416.6㎡
●調光操作室	27.3㎡
●音響調整室	26.8㎡
●投映室	12.9㎡
●小楽屋1	16.4㎡
●小楽屋2	16.4㎡
●中楽屋1	27.7㎡
●中楽屋2	27.5㎡
●ラウンジ	74.0㎡
●主催者控室	10.9㎡
●楽屋中庭	174.2㎡
●楽屋ロビー	43.0㎡
●楽屋事務室	15.8㎡
●スタジオ1	256.4㎡
●スタジオ2	70.9㎡
●ピアノ庫	42.4㎡
●スタジオロッカー室	14.1㎡

[平面図]

2F



1F



石見美術館

- | | |
|----------|----------|
| 1:展示室 A | 8:収蔵庫 2 |
| 2:展示室 B | 9:収蔵庫前室 |
| 3:展示室 C | 10:一時保管庫 |
| 4:展示室 D | 11:修復室 |
| 5:展示前室 | 12:隔離室 |
| 6:美術館ロビー | 13:写真室 |
| 7:収蔵庫 1 | |

いわみ芸術劇場

- | | |
|----------------|---------------|
| 14:大ホール | 21:中庭広場 |
| 15:小ホール | 22:レストラン |
| 16:楽屋 | 23:ミュージアムショップ |
| 17:スタジオ 1 | |
| 18:スタジオ 2 | |
| 19:多目的ギャラリー | |
| 20:大ホール 2 F 客席 | |

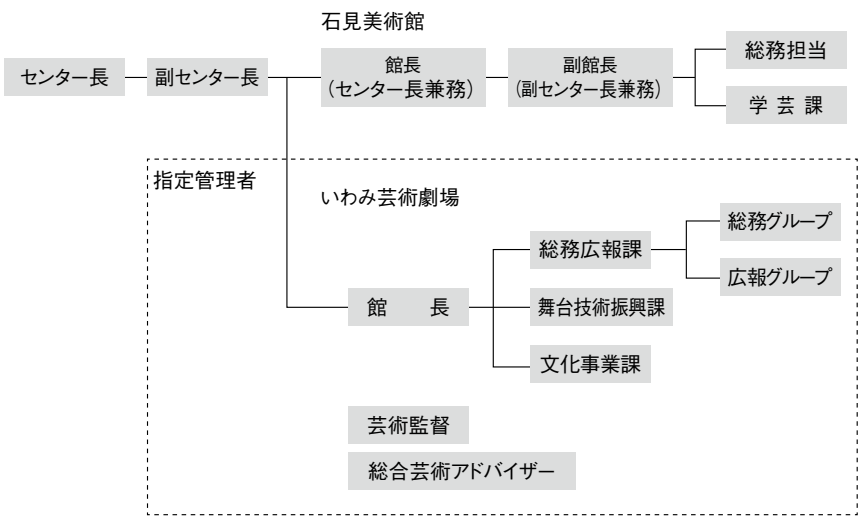
運営組織体制

施設名称
 島根県芸術文化センター(島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場)

組織体制

島根県芸術文化センター協議会
 協議会委員(14名)

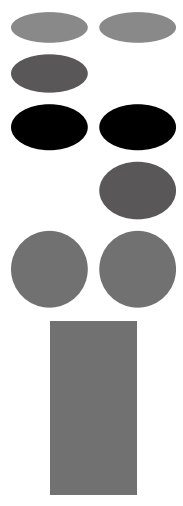
島根県芸術文化センター



シンボルマーク

このシンボルマークは、島根県を示すアルファベットの「S」と石見を示すアルファベットの「I」で構成され、また日本海の遠望を連想させる奥行きも加味してデザインされたものである。アルファベットの「I」のオレンジ色のイメージは石州瓦の色を連想させるだけでなく、他の色との組み合わせで色彩豊かにすることで、美術館とホールの文化施設を晴れやかに謳い上げることをイメージさせる。

矢萩喜従郎



利用案内

開館(利用)時間

石見美術館：10:00-18:30(展示室への入場は18:00まで)
 いわみ芸術劇場：9:00-22:00

休館日

石見美術館：毎週火曜日、年末年始
 いわみ芸術劇場：毎月第2火曜日及び第4火曜日、年末年始
 (火曜日が祝日の場合は、その翌日以降の最初の休日でない日が休館日)
 ※催しにあわせて休館日を変更する場合があります。

石見美術館観覧料

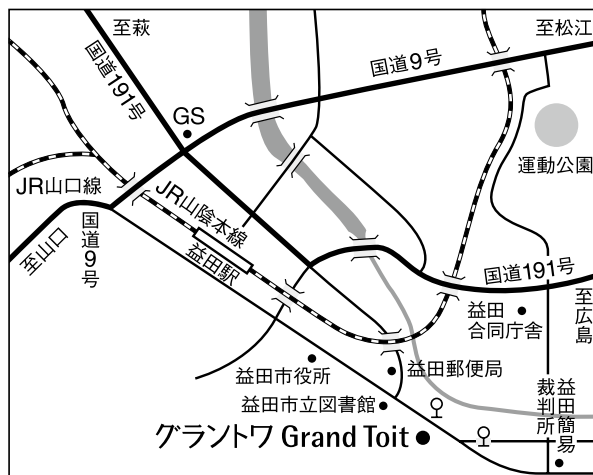
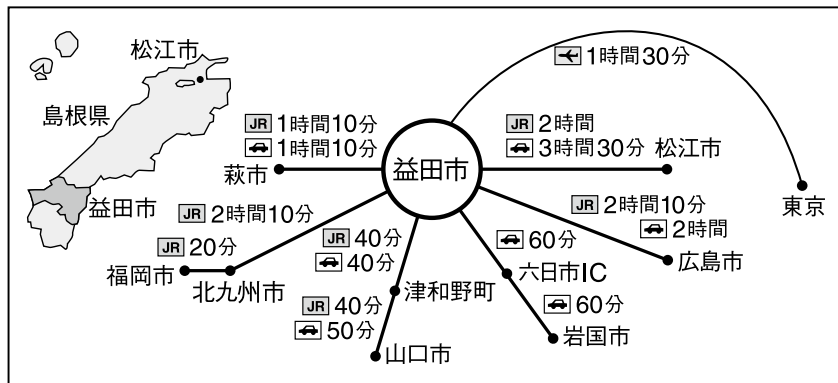
コレクション展：一般300(240)円/大学生200(160)円/高校生以下は無料
 企画展：一般 1000(800)円/大学生600(450)円/小中高生300(250)円
 ()内は20名以上の団体料金
 ・コレクション展と企画展とを同時に観覧する場合は、コレクション展の観覧料が半額になります。
 ・中高生(引率者含む)の学校教育活動による観覧は無料。(事前にセンターにご連絡下さい)
 ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保険手帳をお持ちの方及びその介助者は観覧無料。

いわみ芸術劇場利用料

センターへ直接お問い合わせ下さい。

交通案内

- ・石見交通バス「グラントワ前」下車 徒歩1分
- ・JR益田駅から 徒歩15分
- ・萩・石見空港からJR益田駅まで連絡バス 約15分
- ・浜田自動車道浜田ICから自動車 約50分
- ・JR新山口駅からJR益田駅まで特急 約90分
- ・◎駐車場あります(200台・無料)
- ・※ただし土日祝などイベント開催時は駐車場の混雑が予想されます。



平成31年3月29日発行

発行 **島根県立石見美術館**

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

TEL0856-31-1860(代表) FAX0856-31-1884(代表)

E-mail : zaidan@grandtoit.jp <http://www.grandtoit.jp>



島根県芸術文化センター
SHIMANE ARTS CENTER
石見美術館
IWAMI ART MUSEUM